

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
Takayuki Matsumoto, Kazuki Kakimoto, Naoki Hosoe, Makotoitsuru Ooi, Hideaki Hozumi, Tomonori Yano, Rintaro Moroi, Masanao Nakamura, Tadayuki Oshima, Naoki Ohmiya, Masaaki Higashiyama		Ryota Hokari Tadakazu Hisamatsu	Atlas of Cronkheite-Canada Syndrome	Springer Nature	Japan	178	2022
松浦稔、久松理一	『ステロイド抵抗・依存性UCの寛解導入治療に最適な薬剤は？—どの薬剤から始めるのが良いか？』	編集 竹原徹郎	消化器内科診療 Controversy	中外医学社	東京	353-357	2023
齋藤大祐、久松理一	Ⅲ章 消化器疾患 C. 腸 6. 潰瘍性大腸炎	山本博徳, 瀬戸泰之, 吉治仁志	消化器疾患最新の治療 2023-2024	株式会社南江堂	東京	182-185	2022
久松理一	腸管免疫を標的とした IBD 分子標的治療薬の開発	久松理一	日本臨牀 2022 年 3 月号特集 炎症性腸疾患 update	日本臨牀社	東京	370-371	2022
齋藤大祐、久松理一	炎症性腸疾患の治療	久松理一	日本臨牀 2022 年 3 月号特集 炎症性腸疾患 update	日本臨牀社	東京	427-432	2022
三好潤、久松理一	炎症性腸疾患における接着分子を標的とした分子標的治療薬	久松理一	日本臨牀 2022 年 3 月号特集 炎症性腸疾患 update	日本臨牀社	東京	455-460	2022
松浦稔、久松理一	IBD における皮膚疾患	監修 久松理一	日本臨牀 2022 年 3 月号特集「炎症性腸疾患 update」	日本臨牀社	東京	510-514	2022
久松理一	腸管型における TNF 阻害薬と副腎皮質ステロイドの使い分け	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベータレット病	日本医事新報社	東京	113-115	2022
久松理一 (ガイドライン評価委員会委員長)		編集 日本消化器病学会 協力学会 日本消化管学会, 日本大腸肛門病学会 協力機関 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班	炎症性腸疾患 (IBD) 診療ガイドライン 2020 改訂第 2 版	南江堂	東京		2020
Takayuki Matsumoto, Kazuki Kakimoto, Naoki Hosoe, Makotoitsuru Ooi, Hideaki Hozumi, Tomonori Yano, Rintaro Moroi, Masanao Nakamura, Tadayuki Oshima, Naoki Ohmiya, Masaaki Higashiyama		Ryota Hokari Tadakazu Hisamatsu	Atlas of Cronkheite-Canada Syndrome	Springer Nature	Japan	178	2022
仲瀬裕志	吸収不良症候群	総編集 福井次矢, 高木誠, 小室一成	今日の治療指針 私はこう治療している 2023	医学書院	東京	490	2023
仲瀬裕志	Mediterranean fever (MEFV) 遺伝子関連腸炎と炎症性腸疾患の臨床所見・内視鏡所見・発症機序に違いはあるか?	編集 竹原徹郎	消化器内科診療 Controversy	中外医学社	東京	387-391	2023
仲瀬裕志	潰瘍性大腸炎 クローン病 虚血性大腸炎、放射線性腸炎、抗生物質関連大腸炎	編集 井村裕夫	第 5 版わかりやすい内科学	文光堂	東京	468-477	2023

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
仲瀬裕志	腸結核、腸型パーチエット病	総編集 福井次矢, 高木誠, 小室一成	今日の治療指針 私はこう治療している 2022	医学書院	東京	500-502	2022
林優希, 仲瀬裕志	COVID-19 感染拡大下における IBD 診療		日本臨牀 炎症性腸疾患 update	日本臨牀	大阪	492-498	2022
仲瀬裕志	COVID-19 と消化管疾患 (炎症性腸疾患を含めて)		消化器クリニカル アップデート	医学図書出版	東京	173-178	2021
仲瀬裕志	IBD 診療ガイドライン総論—作成方法と活用促進の方策を含めて—	日本消化器病学会	日本消化器病学会誌	杏林舎	東京	591-597	2021
山本博徳、矢野智則、荒木昭博、江崎幹宏、大塚和朗、大宮直木、岡志郎、仲瀬裕志、馬場重樹、平井郁仁、細江直樹、松田知己、三井啓吾、渡辺憲治、緒方晴彦、勝木伸一、松本主之、藤城光弘、藤本一真、井上晴洋、久松理一、日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡学会ガイドライン委員会、ワーキング委員会、日本炎症性腸疾患学会、日本消化管学会、日本消化器病学会、日本小腸学会、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班	クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン (小腸内視鏡診療ガイドライン追補)	日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会誌	日本消化器内視鏡学会	東京	2255-2275	2021
仲瀬裕志	炎症性腸疾患における新規薬剤の使い分け	総編集 渡辺守	医学のあゆみ	医歯薬出版株式会社	東京	1042-1046	2021
仲瀬裕志	クローン病	総編集 福井次矢, 高木誠, 小室一成	今日の治療指針 私はこう治療している 2021	医学書院	東京	507-510	2021
渡辺 守, 仲瀬裕志, 井上詠, 内野基、江崎幹宏、小林拓、猿田雅之、新崎信一郎、杉本健、中村志郎、畑 敬介、平井郁仁、平岡佐規子、藤井俊光、松浦稔、松岡克善、渡辺憲治、久松理一、伊藤俊之、長沼誠	炎症性腸疾患 (IBD) ガイドライン改訂第 2 版	日本消化器病学会	炎症性腸疾患 (IBD) ガイドライン改訂第 2 版	南江堂	東京		2020
仲瀬裕志	急性腹症	総編集 永井良三	今日の診断指針 第 8 版	医学書院	東京	370-372	2020
仲瀬裕志	潰瘍性大腸炎	仲瀬裕志	最適治療を極める! 改訂第 2 版	医学と看護社	東京	1-94	2020
仲瀬裕志	「免疫・炎症疾患の全て」 消化器疾患 炎症性腸疾患 (IBD)	総編集 竹内勤	日本医師会雑誌	日本医師会	東京	229-232	2020
仲瀬裕志	基礎と臨床から炎症性腸疾患を診る	総編集 仲瀬裕志	Pharma Media	メディカルレビュー	東京	7-73	2020
仲瀬裕志, 松本主之, 松浦稔, 飯島英樹, 松岡克善, 大宮直木, 石原俊治, 平井郁仁, 我妻康平, 横山佳宏, 久松理一	COVID-19 パンデミック状況下における炎症性腸疾患の管理に関する専門家の意見 JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE : 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患政策研究事業) 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班	日本消化管学会	日本消化管学会雑誌	杏林舎	東京	1-10	2020
仲瀬裕志	病態からみえてきた炎症性腸疾患治療—現在そして未来にむけて—	総編集 竹内勤	日本内科学会雑誌	日本内科学会	東京	1759-1762	2020
横山佳浩, 仲瀬裕志	家族性地中海熱の消化器病変	総編集 日比紀文	IBD Research	先端医学社	東京	249-254	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
仲瀬裕志, 平野雄大 我妻康平	特集 生活習慣病と腸内細菌 炎症性腸疾患と腸内細菌	総編集 平田健一	Progress in Medicine	ライフ・ サイエンス	東京	257-261	2020
桑原 隆一、池内 浩基	第5章 外科治療		潰瘍性大腸炎の診 察ガイド 第4版	株式会社文光 堂		51-61	2021
中村志郎, 平田有基, 宮崎 孝子, 柿本一城, 西川浩樹	2. IBD の治療における成分栄養剤の 位置付け	鍋谷圭宏, 久松 理一, 土岐祐一 郎, 伊藤鉄英	成分栄養剤のこれ までとこれから	先端医学社	東京	57-65	2023
猿田雅之	潰瘍性大腸炎	福井次矢, 高 木 誠, 小室一 成	今日の治療指針 2023年版	医学書院	東京	483-486	2023
猿田雅之	ステロイド抵抗性・依存性クローン 病の寛解導入治療に最適な薬剤 は?-どの薬剤から始めるのがよい か?	竹原徹郎	消化器内科診療 Controversy	中外医学社	東京	358-363	2023
宮崎亮佑, 猿田雅之	1章 炎症性腸疾患の概要 ①炎症性腸疾患(IBD)とは	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	2-12	2023
澁谷尚希, 猿田雅之	2章 診断 ②IBDを疑う患者に対す る問診	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	34-41	2023
猿田雅之	2章 診断 ⑤IBDを疑う患者の検査 (3)IBD患者における放射線診断検 査	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	71-79	2023
猿田雅之	3章 外来でのフォローアップ ESSENCE: 私が実際の外来診療で配 慮していること	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	118-121	2023
宮崎亮佑, 猿田雅之	3章 外来でのフォローアップ ② IBDの治療-外来診療のできるIBDの 管理 コラム⑥: 漢方はIBDに有効 か	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	141-145	2023
猿田雅之	3章 外来でのフォローアップ ③ フォローアップの仕方 (4)5-ASA 製 剤の内服管理	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	166-169	2023
猿田雅之	3章 外来でのフォローアップ ④ 逆紹介されてからこんな時どう する? > (6)「最近, 便回数が多い 」という訴え-炎症? IBS 的要 素?	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	201-203	2023
澁谷尚希, 猿田雅之	3章 外来でのフォローアップ ④ 逆紹介されてからこんな時どう する? > コラム⑩: IBD と発癌	猿田雅之	慈恵医大猿田式 診療所で見極める IBD診療	日本医事新報 社	東京	231-236	2023
猿田雅之	クローン病	福井 次矢, 高 木 誠, 小室一 成	今日の治療指針 2022年版	医学書院	東京	497-500	2022
猿田雅之	FRQ3-1 生物学的製剤や免疫調節薬 で寛解維持が得られているCDに5- ASA 製剤の併用は有用か?	日本消化器病 学会	炎症性腸疾患 (IBD)診療ガイド ライン2020	南江堂	東京	71	2020
猿田雅之	BQ3-6 プデソニド注腸フォームは UCに有用か?	日本消化器病 学会	炎症性腸疾患 (IBD)診療ガイド ライン2020	南江堂	東京	74	2020
猿田雅之	BQ3-7 ステロイド(プレドニゾロ ン, プデソニド)はCDの寛解導入 に有用か?	日本消化器病 学会	炎症性腸疾患 (IBD)診療ガイド ライン2020	南江堂	東京	75-76	2020
猿田雅之	第12章 社会支援	NPO 法人 日 本炎症性腸疾 患協会(CCFJ)	潰瘍性大腸炎の診 療ガイド第4版	文光堂	東京	104-111	2021
丸山友希, 猿田雅之	II. 主要な消化器症状へのアプロ ーチ 4. 下痢	小池和彦, 山 本博徳, 瀬戸 泰之	消化器疾患最新の 治療 2021-2022	南江堂	東京	62-66	2021
櫻井俊之, 猿田雅之	IPEX 症候群	瓦谷秀治	消化管症候群(第 3版)	日本臨牀	東京	246-250	2020
清水俊明.	IV炎症性腸疾患の治療 炎症性腸 疾患のマネージメント-Special situation- 小児から成人への 移行期治療.		日本臨牀 80:487- 491.				2022

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の 編者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
伊藤夏希, 清水俊明	49 小児炎症性腸疾患	五十嵐隆 (監), 神川晃 ほか (編)	これだけは知って おきたい!よくみ る小児疾患 101-ベ テランに学ぶ初期 対応と処方の実際 - [第2版] .	総合医学社	東京	234-239	2021
平井郁仁	AA型アミロイドーシスに伴う微細 病変を全消化管に認めた長期罹患 のクローン病患者の一例	山田俊幸	AAアミロイドーシ ス診療ファイル 難治性炎症診療の エッセンス	金芳堂	東京	p82-86	2022
平井郁仁	腸管Behçet病、単純性潰瘍	監修: 下瀬川 徹 / 渡辺 守 編集: 木下芳 一 / 金子周一 / 樫田博史 / 村上和成 / 安 藤 朗 / 糸井 隆夫	専門医のための消 化器病学 第3版	医学書院	東京	210-214	2021
平井郁仁	11. 内視鏡的拡張術 ①クローン病 狭窄病変への考え方と EBD の適 応、②EBD の方法、③EBD の治療成 績と合併症	NPO法人 日本 炎症性腸疾患 協会 (CCFJ)	クローン病の診療 ガイドライン 第3 版	文光堂	東京	64-66	2021
平井郁仁	第1章 診断と分類 1. 概念・疫学、2. 診断へのアプ ローチ、3. 診断確定と鑑別疾患、 4. 病態 (病型、病期、重症度) の 分類	NPO法人 日本 炎症性腸疾患 協会 (CCFJ)	潰瘍性大腸炎の診 療ガイドライン 第4版	文光堂	東京	10-16	2021
長沼誠	炎症性腸疾患に対する免疫調整 薬・免疫抑制薬	梅澤俊彦	外来診療必携 消 化管治療薬使いこ なし術 効き目を 知る・使いどころ を知る・処方の前 後を考える	日本医事新報 社	東京	, 184-191	2022
長沼誠, 福井寿朗	第1章ベーチェット病の臨床 8. 腸 管病変	岳野光洋	現場がエキスパー トに聞きたいベー チェット病	日本医事新報 社	東京	40-47	2022
長沼誠 他	C.腸 8. 虚血性腸炎	山本博徳, 瀬 戸泰之, 吉治 仁志	消化器疾患最新の 治療2023-2024	株式会社南江 堂	東京	194-196	2022
長沼誠	糞便微生物移植	下瀬川徹, 渡 辺守, 木下芳 一, 金子周一, 樫田博史, 村 上和成, 安藤 朗, 糸井隆夫	専門医のための消 化器病学 第3版	医学書院	東京	184-185	2021
高橋賢一、羽根田祥、舟山裕 士	6. ストーマ閉鎖法 2. 合併症の少ないストーマ閉鎖法 と皮膚縫合法	幸田圭史	専門医必携 スト ーマ手術手技	中外医学社	東京	120-129	2022
高橋賢一、羽根田祥	G. 皮膚軟部組織感染症 1. Fournier 壊疽	藤田次郎、館 田一博、大毛 宏喜	感染症 最新の治 療 2022-2024	南江堂	東京	161-163	2022
高橋賢一	第10章 高齢者	NPO法人 日本 炎症性腸疾患 協会 (CCFJ)	クローン病の診療 ガイド 第3版	文光堂	東京	123-127	2021
渡辺憲治	MDS合併腸管型ベーチェット病の治 療	岳野光洋	現場がエキスパー トに聞きたいベー チェット病	日本医事新報 社	東京	116-118	2023
渡辺憲治	IBD関連癌に対する適切なスクリー ニング方法は?	竹原徹郎	消化器内科診療 Controversy	中外医学社	東京	368-374	2022
渡辺 守、仲瀬裕志、井上 詠、 内野 基、江崎幹宏、小林 拓、 猿田雅之、新崎信一郎、杉本 健、中村志郎、畑 啓介、平 井郁仁、平岡佐規子、藤井俊 光、松浦 稔、松岡克善、渡 辺憲治	炎症性腸疾患 (IBD) 診療ガイドライ ン 2020	日本消化器病 学会 理事長 小池和彦	炎症性腸疾患 (IBD) 診療ガイド ライン 2020	南江堂	東京		2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamamoto T, Nakase H, Watanabe K, Shinzaki S, Takatsu N, Fujii T, Okamoto R, Matsuoka K, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Shiga H, Bamba S, Mikami Y, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, Matsumoto T, Maemoto A, Murata Y, Yoshigoe S, Nagasaka S, Yajima T, <u>Hisamatsu T</u> ; iCREST-CD Study Group.	Diagnosis and Clinical Features of Perianal Lesions in Newly Diagnosed Crohn's Disease: Subgroup Analysis from Inception Cohort Registry Study of Patients with Crohn's Disease (iCREST-CD).	J Crohns Colitis.	Mar 4	jjad038. doi: 10.1093/ecc o- jcc/jjad038 .	2023
Nakase H, Esaki M, Hirai F, Kobayashi T, Matsuoka K, Matsuura M, Naganuma M, Saruta M, Tsuchiya K, Uchino M, Watanabe K, <u>Hisamatsu T</u> ; TRADE consensus group.	Treatment escalation and de-escalation decisions in Crohn's disease: Delphi consensus recommendations from Japan, 2021.	J Gastroenterol.	Apr;58(4)	313-345.	2023 Epub 2023 Feb 11
Ishige T, Shimizu T, Watanabe K, Arai K, Kamei K, Kudo T, Kunisaki R, Tokuhara D, Naganuma M, Mizuochi T, Murashima A, Inoki Y, Iwata N, Iwama I, Koinuma S, Shimizu H, Jimbo K, Takaki Y, Takahashi S, Cho Y, Nambu R, Nishida D, Hagiwara SI, Hikita N, Fujikawa H, Hosoi K, Hosomi S, Mikami Y, Miyoshi J, Yagi R, Yokoyama Y, <u>Hisamatsu T</u> .	Expert consensus on vaccination in patients with inflammatory bowel disease in Japan.	J Gastroenterol.	Feb;58(2)	135-157.	2023
Nakase H, Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, Saruta M, Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, <u>Hisamatsu T</u> .	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey.	J Gastroenterol.	Mar;58(3)	205-216.	2023
Matsuura M, Saito D, Miyoshi J, <u>Hisamatsu T</u> .	Possible Role of Image-Enhanced Endoscopy in the Evaluation of Mucosal Healing of Ulcerative Colitis.	Digestion.	104(1):	42-50.	2023
Hibi T, Motoya S, <u>Hisamatsu T</u> , Hirai F, Watanabe K, Matsuoka K, Saruta M, Kobayashi T, Feagan BG, Tasset C, Besuyen R, Yun C, Crans G, Zhang J, Kondo A, Watanabe M.	Efficacy and safety of filgotinib as induction and maintenance therapy for Japanese patients with moderately to severely active ulcerative colitis: a post-hoc analysis of the phase 2b/3 SELECTION trial.	Intest Res.	Jan;21(1)	110-125.	2023
Dubinsky MC, Clemow DB, Hunter Gibble T, Li X, Vermeire S, <u>Hisamatsu T</u> , Travis SPL.	Clinical Effect of Mirikizumab Treatment on Bowel Urgency in Patients with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis and the Clinical Relevance of Bowel Urgency Improvement for Disease Remission.	Crohns Colitis 360.	Dec 13;5(1)	otac044.doi : 10.1093/cro col/otac044 .	2022
Kumagai H, Shimizu T, Iwama I, Hagiwara SI, Kudo T, Takahashi M, Saito T, Kunisaki R, Uchino M, Hiraoka S, Naganuma M, Sugimoto K, Miyoshi J, Shibuya T, <u>Hisamatsu T</u> .	A consensus statement on health-care transition for childhood-onset inflammatory bowel disease patients.	Pediatr Int.	Jan;64(1)	e15241.	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Matsuoka K, Fujii T, Okamoto R, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Watanabe K, Shiga H, Takatsu N, Bamba S, Mikami Y, Yamamoto T, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, Matsumoto T, Nakase H, Maemoto A, Shinzaki S, Murata Y, Yoshigoe S, Sasaki A, Yajima T, <u>Hisamatsu T.</u>	Characteristics of adult patients newly diagnosed with Crohn's disease: interim analysis of the nation-wide inception cohort registry study of patients with Crohn's disease in Japan (iCREST-CD).	J Gastroenterol.	Nov;57(11)	867-878.	2022
Seki S, Tanaka G, Kimura T, Hayashida M, Miyoshi J, Matsuura M, Sakurai H, <u>Hisamatsu T.</u>	Functional analysis of mutant SLC02A1 transporters found in patients with chronic enteropathy associated with SLC02A1.	J Gastroenterol Hepatol.	Sep;37(9)	1776-1784.	2022
Kita T, Ashizuka S, Takeda T, Matsumoto T, Ohmiya N, Nakase H, Motoya S, Ohi H, Mitsuyama K, <u>Hisamatsu T.</u> , Kanmura S, Kato N, Ishihara S, Nakamura M, Moriyama T, Saruta M, Nozaki R, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Kitamura K.	Adrenomedullin for biologic-resistant Crohn's disease: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2a clinical trial.	J Gastroenterol Hepatol.	Nov;37(11)	2051-2059.	2022
Matsuoka K, <u>Hisamatsu T.</u> , Kim HJ, Ye BD, Arai S, Hoshi M, Yuasa H, Tabira J, Toyozumi S, Shi N, Woo JS, Hibi T.	Safety and efficacy of long-term tofacitinib treatment in East Asian patients with ulcerative colitis in OCTAVE Open.	J Gastroenterol Hepatol.	Oct;37(10)	1884-1892.	2022
Ferrante M, Panaccione R, Baert F, Bossuyt P, Colombel JF, Danese S, Dubinsky M, Feagan BG, <u>Hisamatsu T.</u> , Lim A, Lindsay JO, Loftus EV Jr, Panés J, Peyrin-Biroulet L, Ran Z, Rubin DT, Sandborn WJ, Schreiber S, Neimark E, Song A, Kligys K, Pang Y, Pivorunas V, Berg S, Duan WR, Huang B, Kalabic J, Liao X, Robinson A, Wallace K, D'Haens G.	Risankizumab as maintenance therapy for moderately to severely active Crohn's disease: results from the multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, withdrawal phase 3 FORTIFY maintenance trial.	Lancet.	May 28;399(10340)	2031-2046.	2022
D'Haens G, Panaccione R, Baert F, Bossuyt P, Colombel JF, Danese S, Dubinsky M, Feagan BG, <u>Hisamatsu T.</u> , Lim A, Lindsay JO, Loftus EV Jr, Panés J, Peyrin-Biroulet L, Ran Z, Rubin DT, Sandborn WJ, Schreiber S, Neimark E, Song A, Kligys K, Pang Y, Pivorunas V, Berg S, Duan WR, Huang B, Kalabic J, Liao X, Robinson A, Wallace K, Ferrante M.	Risankizumab as induction therapy for Crohn's disease: results from the phase 3 ADVANCE and MOTIVATE induction trials.	Lancet.	May 28;399(10340) :	2015-2030.	2022
Ozaki R, Saito D, Mizukawa Y, <u>Hisamatsu T.</u>	Ulcerative colitis complicated with linear immunoglobulin A bullous dermatosis.	BMJ Case Rep.	May 17;15(5)	e248814.	2022
Ono K, Kishimoto M, Deshpande GA, Fukui S, Kawaai S, Sawada H, Matsuura M, Rodriguez VR, Proft F, Tada K, Tamura N, Taniguchi Y, Hirata A, Kameda H, Tsuji S, Kaneko Y, Dobashi H, Okano T, Haji Y, Morita A, Okada M, Komagata Y, Medina CL, Molto A, Dougados M, <u>Hisamatsu T.</u> , Tomita T, Kaname S.	Clinical characteristics of patients with spondyloarthritis and inflammatory bowel disease versus inflammatory bowel disease-related arthritis.	Rheumatol Int.	Oct;42(10)	1751-1766.	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Matsuoka K, Nagano K, Nagasaki S, Murata Y, <u>Hisamatsu T.</u>	Symptom Improvement of ulcerative colitis after an Induction dose of Ustekinumab in Japanese clinical practice (SIRIUS), measured using patient-reported outcomes: a prospective observational study.	BMJ Open. 2022	May 4;12(5)	e060081.	2022
Matsuoka K, Watanabe M, Ohmori T, Nakajima K, Ishida T, Ishiguro Y, Kanke K, Kobayashi K, Hirai F, Watanabe K, Mizusawa H, Kishida S, Miura Y, Ohta A, Kajioka T, Hibi T; AJM300 Study Group (<u>Hisamatsu T.</u>).	AJM300 (carotegrast methyl), an oral antagonist of $\alpha 4$ -integrin, as induction therapy for patients with moderately active ulcerative colitis: a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 study.	Lancet Gastroenterol Hepatol. 7	Jul;7(7)	648-657.	2022
Kishi M, Hirai F, Takatsu N, Hisabe T, Takada Y, Beppu T, Takeuchi K, Naganuma M, Ohtsuka K, Watanabe K, Matsumoto T, Esaki M, Koganei K, Sugita A, Hata K, Futami K, Ajioka Y, Tanabe H, Iwashita A, Shimizu H, Arai K, Suzuki Y, <u>Hisamatsu T.</u>	A review on the current status and definitions of activity indices in inflammatory bowel disease: how to use indices for precise evaluation.	J Gastroenterol.	Apr;57(4)	246-266.	2022
Hayashi Y, Nakase H, <u>Hisamatsu T.</u> ; J-COSMOS group.	Should we continue or discontinue inflammatory bowel disease medication in patients with COVID-19?	Gastroenterology.	Mar 11	S0016-5085(22)00239-6.	2022
Abreu MT, Rowbotham DS, Danese S, Sandborn WJ, Miao Y, Zhang H, Tikhonov I, Panaccione R, <u>Hisamatsu T.</u> , Scherl EJ, Leong RW, Arasaradnam RP, Afif W, Peyrin-Biroulet L, Sands BE, Marano C.	Efficacy and Safety of Maintenance Ustekinumab for Ulcerative Colitis Through 3 Years: UNIFI Long-term Extension.	J Crohns Colitis.	Aug 30;16(8)	1222-1234	2022
Nakase H, Hayashi Y, Hirayama D, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Abukawa D, <u>Hisamatsu T.</u> ; J-COSMOS group.	Interim analysis of a multicenter registry study of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-COSMOS).	J Gastroenterol.	Mar;57(3):	174-184.	2022
Ariake C, Hosoe N, Sakurai H, Tojo A, Hayashi Y, Ji Limpias Kamiya K, Sujino T, Takabayashi K, Kosaki K, Seki S, <u>Hisamatsu T.</u> , Ogata H, Kanai T.	A Case of Chronic Enteropathy Associated with Solute Carrier Organic Anion Transporter Family, Member 2A1 (SLC02A1) with Positive Immunohistochemistry for SLC02A1 Protein.	Intern Med.	Sep 1;61(17)	2607-2611	2022
Sandborn WJ, D'Haens GR, Reinisch W, Panés J, Chan D, Gonzalez S, Weisel K, Germinaro M, Frustaci ME, Yang Z, Adedokun OJ, Han C, Panaccione R, <u>Hisamatsu T.</u>	Danese S, Rubin DT, Sands BE, Afzali A, Andrews JM, Feagan BG; GALAXI-1 Investigators. Guselkumab for the Treatment of Crohn's Disease: Induction Results From the Phase 2 GALAXI-1 Study.	Gastroenterology.	May;162(6)	1650-1664.	2022
Sandborn WJ, D'Haens GR, Reinisch W, Panés J, Chan D, Gonzalez S, Weisel K, Germinaro M, Frustaci ME, Yang Z, Adedokun OJ, Han C, Panaccione R, <u>Hisamatsu T.</u> , Danese S, Rubin DT, Sands BE, Afzali A, Andrews JM, Feagan BG; GALAXI-1 Investigators.	Guselkumab for the Treatment of Crohn's Disease: Induction Results From the Phase 2 GALAXI-1 Study.	Gastroenterology.	May;162(6)	1650-1664	2022
<u>久松理一</u>	炎症性腸疾患の薬物治療	東京都病院薬剤師会雑誌	Vol. 72, No. 1	9-18	2023
<u>久松理一</u>	シンポジウム 3 分子標的治療が変える内科学 分子標的治療登場による炎症性腸疾患診療のパラダイムシフト	日本内科学会雑誌	第 111 巻第 9 号	1811-1817	2022
Miyoshi J, Ozaki R, Yonezawa H, Mori H, Kawamura N, Matsuura M, <u>Hisamatsu T.</u>	Ratio of submucosal thickness to total bowel wall thickness as a new sonographic parameter to estimate endoscopic remission of ulcerative colitis.	J Gastroenterol.	Feb;57(2)	82-89	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Matsuura M, Matsumoto T, Naito Y, Saitoh Y, Kanai T, Suzuki Y, Tanaka S, Ogata H, <u>Hisamatsu T.</u>	Advanced endoscopy for the management of inflammatory digestive diseases: Review of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society core session.	Dig Endosc.	May;34(4)	729-735	2022
Suzuki K, Kakuta Y, Naito T, Takagawa T, Hanai H, Araki H, Sasaki Y, Sakuraba H, Sasaki M, <u>Hisamatsu T.</u> , Motoya S, Matsumoto T, Onodera M, Ishiguro Y, Nakase H, Andoh A, Hiraoka S, Shinozaki M, Fujii T, Katsurada T, Kobayashi T, Fujiya M, Otsuka T, Oshima N, Suzuki Y, Sato Y, Hokari R, Noguchi M, Ohta Y, Matsuura M, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kudo H, Minegishi N, Okamoto D, Shimoyama Y, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Li D, McGovern DPB, Kinouchi Y, Masamune A; MENDEL study group.	Genetic Background of Mesalamine-induced Fever and Diarrhea in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Inflamm Bowel Dis.	Jan 5;28(1).	21-31	2022
Miyoshi J, Matsuura M, <u>Hisamatsu T.</u>	Safety evaluation of ustekinumab for moderate-to-severe ulcerative colitis.	Expert Opin Drug Saf.	Jan;21(1).	1-8	2022
Kakuta Y, Iwaki H, Umeno J, Kawai Y, Kawahara M, Takagawa T, Shimoyama Y, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Watanabe K, Nakamura S, Nakase H, Sasaki M, Hanai H, Fuyuno Y, Hirano A, Matsumoto T, Kudo H, Minegishi N, Nakamura M, <u>Hisamatsu T.</u> , Andoh A, Nagasaki M, Tokunaga K, Kinouchi Y; MENDEL study group, Masamune A.	Crohn's disease and early exposure to thiopurines are independent risk factors for mosaic chromosomal alterations in patients with inflammatory bowel diseases.	J Crohns Colitis.	May 10;16(4)	643-655	2022
Morikubo H, Kobayashi T, Fukuda T, Nagahama T, <u>Hisamatsu T.</u> , Hibi T.	Development of algorithms for identifying patients with Crohn's disease in the Japanese health insurance claims database.	PLoS One.	Oct 13. 16(10).	e0258537	2021
Ando K, Fujiya M, Watanabe K, Hiraoka S, Shiga H, Tanaka S, Iijima H, Mizushima T, Kobayashi T, Nagahori M, Ikeuchi H, Kato S, Torisu T, Kobayashi K, Higashiyama M, Fukui T, Kagaya T, Esaki M, Yanai S, Abukawa D, Naganuma M, Motoya S, Saruta M, Bamba S, Sasaki M, Uchiyama K, Fukuda K, Suzuki H, Nakase H, Shimizu T, Iizuka M, Watanabe M, Suzuki Y, <u>Hisamatsu T.</u>	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan.	J Gastroenterol.	Dec;56(12).	1062-1079	2021
Miura M, Shimizu H, Saito D, Miyoshi J, Matsuura M, Kudo T, Hirayama D, Yoshida M, Arai K, Iwama I, Nakase H, Shimizu T, <u>Hisamatsu T.</u>	Multicenter, cross-sectional, observational study on Epstein-Barr viral infection status and thiopurine use by age group in patients with inflammatory bowel disease in Japan (EBISU study).	J Gastroenterol.	Dec;56(12).	1080-1091	2021
<u>Hisamatsu T.</u>	Management of inflammatory bowel disease during the COVID-19 pandemic.	Immunol Med.	Sep 16.	1-8	2021
Saito D, Matsuura M, Ozaki R, Tokunaga S, Minowa S, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hayashida M, Miyoshi J, <u>Hisamatsu T.</u>	Clinical response of vedolizumab at week 6 predicted endoscopic remission at week 24 in ulcerative colitis.	JGH Open.	Aug 26;5(9)	1056-1062	2021
Morikubo H, Kobayashi T, Ozaki R, Okabayashi S, Kuronuma S, Takeuchi O, Shiba T, Kiyohara H, Matsubayashi M, Sagami S, Nakano M, Ikezaki O, <u>Hisamatsu T.</u> , Tanaka Y, Hibi T.	Differential effects of mesalazine formulations on thiopurine metabolism through thiopurine S-methyltransferase inhibition.	J Gastroenterol Hepatol.	Aug;36(8).	2116-2124	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Miyoshi J, <u>Hisamatsu T.</u>	The impact of maternal exposure to antibiotics on the development of child gut microbiome.	Immunol Med.	Aug 15.	1-6	2021
Miyoshi J, Maeda T, Matsuoka K, Saito D, Miyoshi S, Matsuura M, Okamoto S, Tamura S, <u>Hisamatsu T.</u>	Machine learning using clinical data at baseline predicts the efficacy of vedolizumab at week 22 in patients with ulcerative colitis.	Sci Rep.	Aug 12;11(1).	16440	2021
Itabashi M, Ikeuchi H, Kimura H, Fukushima K, Fujii H, Nezu R, Kitaro Futami K, Sugita A, Suzuki Y, <u>Hisamatsu T</u> on behalf of the Research Group for Intractable Inflammatory Bowel Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan (RGIBD)	Perioperative venous thromboembolism in ulcerative colitis: a multicenter prospective study in Japan.	Crohn's & Colitis 360.	3	1-7	2021
Sakuraba A, Nemoto N, Hibi N, Ozaki R, Tokunaga S, Kikuchi O, Minowa S, Mitsui T, Miura M, Saito D, Hayashida M, Miyoshi J, Matsuura M, Yoneyama M, Ohnishi H, <u>Hisamatsu T.</u>	Extent of disease affects the usefulness of fecal biomarkers in ulcerative colitis.	BMC Gastroenterol.	May 1;21(1).	197. doi: 10.1186/s12876-021-01788-4.	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, Kobayashi T, Saruta M, Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, Naganuma M, <u>Hisamatsu T.</u> , Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020.	J Gastroenterol.	Jun;56(6).	489-526	2021
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, <u>Hisamatsu T.</u> , Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T: HAYABUSA Study Group.	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial.	Lancet Gastroenterol Hepatol.	Jun;6(6).	429-437	2021
Morikubo H, Kobayashi T, Ozaki R, Okabayashi S, Kuronuma S, Takeuchi O, Shiba T, Kiyohara H, Matsubayashi M, Sagami S, Nakano M, Ikezaki O, <u>Hisamatsu T.</u> , Tanaka Y, Hibi T.	Differential effects of mesalazine formulations on thiopurine metabolism through thiopurine S-methyltransferase inhibition.	J Gastroenterol Hepatol.	Aug;36(8).	2116-2124	2021
Matsuoka K, Igarashi A, Sato N, Isono Y, Gouda M, Iwasaki K, Shoji A, <u>Hisamatsu T.</u>	Trends in corticosteroid prescriptions for ulcerative colitis and factors associated with long-term corticosteroid use: analysis using Japanese claims data from 2006 to 2016.	J Crohns Colitis.	Mar 5;15(3).	358-366	2021
松浦稔, 齋藤大祐, <u>久松理一</u>	IBDの診断および治療における内視鏡の役割 今月のテーマ 炎症性腸疾患 (IBD) の診療ガイドライン (GL) を読み解く	日本消化器病学会雑誌	118(7)	:607-617	2021
<u>久松理一</u>	腸管バーチエット病に診断と治療 広義の炎症性腸疾患 (IBD) —重要疾患の最新知見と罹患部位による鑑別診断— 企画編集 大川清孝	消化器内科	vol. 3 No. 9	36-42	2021
三好 潤, 松浦 稔, 齋藤大祐, <u>久松理一</u>	家族性地中海熱類縁疾患: MEFV 遺伝子関連腸炎	消化器・肝臓内科	第9巻6号	580-584	2021
三好 潤, 松浦 稔, 齋藤大祐, <u>久松理一</u>	潰瘍性大腸炎の診断基準と鑑別診断 特集 IBDの診断と治療 企画編集 渡邊 守	消化器内科	Vol. 3 No. 4	12-20	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
久松理一	炎症性腸疾患の診かた 特集 炎症性腸疾患診療の新たな展開	月刊 臨牀と研究 別冊	第98巻5号	1-4	2021
Tsuzuki Y, Aoyagi R, Miyaguchi K, Ashitani K, Ohgo H, Yamaoka M, Ishizawa K, Kayano H, Hisamatsu T, Umeno J, Hosoe N, Matsumoto T, Nakamoto H, Imaeda H.	Chronic Enteropathy Associated with SLC02A1 with Pachydermoperiostosis.	Intern Med.	59(24)	3147-3154.	2020
Hisamatsu T, Kim HJ, Motoya S, Suzuki Y, Ohnishi Y, Fujii N, Matsushima N, Zheng R, Marano CW.	Efficacy and safety of ustekinumab in East Asian patients with moderately to severely active ulcerative colitis: a subpopulation analysis of global phase 3 induction and maintenance studies (UNIFI).	Intest Res.	Oct;19(4)	386-397	2021
Hisamatsu T, Suzuki Y, Kobayashi M, Hagiwara T, Kawaberi T, Ogata H, Matsui T, Watanabe M, Hibi T.	Long-term safety and effectiveness of adalimumab in Japanese patients with Crohn's disease: 3-year results from a real-world study.	Intest Res.	Oct;19(4)	408-418	2021
Panaccione R, Danese S, Sandborn WJ, O'Brien CD, Zhou Y, Zhang H, Adedokun OJ, Tikhonov I, Targan S, Abreu MT, Hisamatsu T, Scherl EJ, Leong RW, Rowbotham DS, Arasaradnam RP, Sands BE, Marano C.	Ustekinumab is effective and safe for ulcerative colitis through 2 years of maintenance therapy.	Aliment Pharmacol Ther.	Dec;52(11-12)	1658-1675	2020
Nakase H, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Wagatsuma K, Yokoyama Y, Hisamatsu T.	Expert Opinions on the Current Therapeutic Management of Inflammatory Bowel Disease during the COVID-19 Pandemic: Japan IBD COVID-19 Taskforce, Intractable Diseases, the Health and Labor Sciences Research.	Digestion.	Sep 4	1-9	2020
Miyoshi J, Saito D, Nakamura M, Miura M, Mitsui T, Kudo T, Murakami S, Matsuura M, Hisamatsu T.	Half-Elemental Diet Shifts the Human Intestinal Bacterial Compositions and Metabolites: A Pilot Study with Healthy Individuals.	Gastroenterol Res Pract.	Aug 6	2020:708693 9	2020
Hata K, Ishihara S, Ajioka Y, Mitsuyama K, Watanabe K, Hanai H, Kunisaki R, Nakase H, Matsuda K, Iwakiri R, Hida N, Tanaka S, Takeuchi Y, Shinozaki M, Ogata N, Moriichi K, Hirai F, Sugihara K, Hisamatsu T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T.	Long-Term Follow-Up of Targeted Biopsy Yield (LOFTY Study) in Ulcerative Colitis Surveillance Colonoscopy.	J Clin Med.	Jul 18;9(7)	E2286	2020
Nakase H, Matsumoto T, Watanabe K, Hisamatsu T.	The shining DIAMOND for evidence-based treatment strategies for Crohn's disease.	J Gastroenterol.	Sep;55(9)	824-832	2020
Kikuchi O, Saito D, Miura M, Wada H, Ozaki R, Tokunaga S, Minowa S, Fukuyama M, Mitsui T, Sakuraba A, Hayashida M, Miyoshi J, Matsuura M, Ohyama M, Hisamatsu T.	Two cases in which tofacitinib effectively treated both ulcerative colitis and alopecia areata.	Clin J Gastroenterol.	Oct;13(5)	788-793	2020
Ling KL, Hilmi I, Raja Ali RA, Leong RWL, Leung WK, Ng SC, Wu KC, Chen MH, Ran ZH, Hisamatsu T, Ahuja V, Makharia GK, Banerjee R, Wei SC, Wu DC, Pisesongsap P, Ye BD, Sollano J, Simadibrata M, Chuah SW, Ooi CJ.	Asian Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) Inflammatory Bowel Disease (IBD) Working Party guidelines on IBD management during the COVID-19 pandemic.	JGH Open.	Jun 5;4(3)	320-323	2020
Watanabe K, Tanida S, Inoue N, Kunisaki R, Kobayashi K, Nagahori M, Arai K, Uchino M, Koganei K, Kobayashi T, Takeno M, Ueno F, Matsumoto T, Mizuki N, Suzuki Y, Hisamatsu T.	Evidence-based diagnosis and clinical practice guidelines for intestinal Behçet's disease 2020 edited by Intractable Diseases, the Health and Labour Sciences Research Grants.	J Gastroenterol.	Jul;55(7)	679-700	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hisamatsu T.	Enteral nutrition in the biologic era: learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow.	Intest Res.	Apr:18(2)	139-140	2020
Hayashida M, Miyoshi J, Mitsui T, Miura M, Saito D, Sakuraba A, Kawashima S, Ikegaya N, Fukuoka K, Karube M, Komagata Y, Kaname S, Okada AA, Fujimori S, Matsuura M, Hisamatsu T.	Elevated fecal calprotectin and lactoferrin are associated with small intestinal lesions in patients with Behçet disease.	J Gastroenterol Hepatol..	2020 Aug:35(8)	1340-1346	2020
Adedokun OJ, Xu Z, Marano C, O'Brien C, Szapary P, Zhang H, Johanns J, Leong RW, Hisamatsu T, van Assche G, Danese S, Abreu MT, Sands BE, Sandborn WJ.	Ustekinumab Pharmacokinetics and Exposure Response in a Phase 3 Randomized Trial of Patients With Ulcerative Colitis: Ustekinumab PK and exposure-response in UC.	Clin Gastroenterol Hepatol.	Sep:18(10)	2244-2255	2020
仲瀬裕志, 松本主之, 松浦 稔, 飯島英樹, 松岡克善, 大宮直木, 石原俊治, 平井郁仁, 久松理一	COVID-19 パンデミック状況下における炎症性腸疾患の管理に関する専門家の意見 JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE : 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業) 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班	日本消化管学会誌	2020年4巻1号	15-24-	2020
松浦 稔, 久松理一	抗 TNF- α 抗体製剤との併用における免疫調節薬の意義と問題点 今月のテーマ 炎症性腸疾患における免疫調節薬の有用性と課題	日本消化器病学会雑誌	117(3)	214-223	2020
Andoh A, Nishida A.	Alteration of the Gut Microbiome in Inflammatory Bowel Disease.	Digestion	104	16-23	2023
Imai T, Inoue R, Nishida A, Yokota Y, Morishima S, Kawahara M, Kusada H, Tamaki H, Andoh A.	Features of the gut prokaryotic virome of Japanese patients with Crohn's disease.	J Gastroenterol.	57	559-570	2022
Andoh A, Nishida A.	Pro- and anti-inflammatory roles of interleukin (IL)-33, IL-36, and IL-38 in inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol.	105	69-78	2023
Hirayama H, Morita Y, Imai T, Takahashi K, Yoshida A, Bamba S, Inatomi O, Andoh A.	Ustekinumab trough levels predicting laboratory and endoscopic remission in patients with Crohn's disease. BMC Gastroenterol. 2022 22; 195.	BMC Gastroenterol.	22	195	2022
Andoh A, Nishida A.	Molecular Basis of Intestinal Fibrosis in Inflammatory Bowel Disease.	Inflammatory Intestinal Disease		doi: 10.1159/000528312	2023
Yamashita N, Imai T, Kawahara M, Inatomi O, Andoh A.	Low immunogenicity of vedolizumab determined by a simple drug-tolerant assay in patients with ulcerative colitis.	J Clin Biochem Nutr.	70	72-78	2022
Ohno M, Imai T, Chatani M, Nishida A, Inatomi O, Kawahara M, Hoshino T, Andoh A.	The anti-inflammatory and protective role of interleukin-38 in inflammatory bowel disease.	J Clin Biochem Nutr.	70	64-71	2022
Andoh A, Kawahara M, Imai T, Tatsumi G, Inatomi O, Kakuta Y.	Thiopurine pharmacogenomics and pregnancy in inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol.	56	881-890	2021
Fukumoto Y, Kobayashi Y, Takemura S, Maeda K, Nakamura F, Inatomi O, Andoh A, Ban H.	A case of appendix adenocarcinoma associated with ulcerative colitis	Clin Case Rep	9	e04768	2021
Miyake Y, Tanaka K, Nagata C, Furukawa S, Andoh A, Yokoyama T, Yoshimura N, Mori K, Ninomiya T, Yamamoto Y, Takeshita E, Ikeda Y, Saito M, Ohashi K, Imaeda H, Kakimoto K, Higuchi K, Nunoi H, Mizukami Y, Suzuki S, Hiraoka S, Okada H, Kawasaki K, Higashiyama M, Hokari R, Miura H, Miyake T, Kumagi T, Kato H, Hato N, Sayama K, Hiasa Y; Japan Ulcerative Colitis Study Group.	Dietary intake of vegetables, fruit, and antioxidants and risk of ulcerative colitis: A case-control study in Japan	Nutrition	91-92	111378	2021
Higashiyama M, Miura S, Hokari R.	Modulation by luminal factors on the functions and migration of intestinal innate immunity.	Front Immunol.		PMID: 36860849	2023

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Akita Y, Higashiyama M, Kurihara C, Ito S, Nishii S, Mizoguchi A, Inaba K, Tanemoto R, Sugihara N, Hanawa Y, Wada A, Horiuchi K, Okada Y, Narimatsu K, Komoto S, Tomita K, Takei F, Satoh Y, Saruta M, <u>Hokari R.</u>	Ameliorating Role of Hydrogen-Rich Water Against NSAID-Induced Enteropathy via Reduction of ROS and Production of Short-Chain Fatty Acids.	Dig Dis Sci.	7	1-11	2022
Okada Y, Sugihara N, Nishii S, Itoh S, Mizoguchi A, Tanemoto R, Horiuchi K, Tomioka A, Nishimura H, Higashiyama M, Narimatsu K, Kurihara C, Tomita K, Miura S, Tsuzuki Y, <u>Hokari R.</u>	Transgenerational impacts of oral probiotic administration in pregnant mice on offspring gut immune cells and colitis susceptibility.	J Gastroenterol Hepatol.	38	311-320	2023
Inaba K, Higashiyama M, Watanabe C, Tomioka A, Ito S, Tanemoto R, Mizoguchi A, Nishii S, Wada A, Sugihara N, Hanawa Y, Horiuchi K, Akita Y, Okada Y, Kurihara C, Narimatsu K, Komoto S, Tomita K, Karasuyama H, Satoh T, <u>Hokari R.</u>	Proinflammatory role of basophils in oxazolone-induced chronic intestinal inflammation.	J Gastroenterol Hepatol.	37	1768-1775	2022
Hanawa Y*, Higashiyama Masaaki, Kurihara Chie, Tanemoto Rina, Ito Suguru*, Mizoguchi Akinori*, Nishii Shin*, Wada Akinori*, Inaba Kenichi, Sugihara Nao*, Horiuchi Kazuki*, Okada Yoshikiyo, Narimatsu Kazuyuki, Komoto Shunsuke*, Tomita Kengo, <u>Hokari Ryota</u>	Acesulfame potassium induces dysbiosis and intestinal injury with enhanced lymphocyte migration to intestinal mucosa	J Gastroenterol Hepatol	36(11)	3140-3148	2022
Okada Yoshikiyo, Tsuzuki Yoshikazu, Sugihara Nao*, Nishii Shin*, Shibuya Naoki, Mizoguchi Akinori*, Itoh Suguru*, Tanemoto Rina, Inaba Kenichi, Hanawa Yoshinori*, Horiuchi Kazuki*, Wada Akinori*, Higashiyama Masaaki, Watanabe Chikako, Kurihara Chie, Komoto Shunsuke*, Tomita Kengo, Miura Soichiro*, Ryota <u>Hokari</u>	Novel probiotic yeast from Miso promotes regulatory dendritic cell IL-10 production and attenuates DSS- induced colitis in mice	J Gastroenterol Hepatol	56(9)	829-842	2021
Watanabe C, Nagahori M, Fujii T, Yokoyama K, Yoshimura N, Kobayashi T, Yamagami H, Kitamura K, Takashi K, Nakamura S, Naganuma M, Ishihara S, Esaki M, Yonezawa M, Kunisaki R, Sakuraba A, Kuji N, Miura S, Hibi T, Suzuki Y, <u>Hokari R</u>	Non-adherence to Medications in Pregnant Ulcerative Colitis Patients Contributes to Disease Flares and Ad-verse Pregnancy Outcomes	Dig Dis Sci	66(2)	577-586	2021
HoriuchiKazuki*, HigashiyamaMasaa ki, KuriharaChie, MatsumuraKouji, TanemotoRina, ItoSuguru*, Mizoguchi Akinori*, Nishii Shin*, Wada Akinori*, Inaba Kenichi, Sugihara Nao*, Hanawa Yoshinori*, Shibuya Naoki, Okada Yoshikiyo, Watanabe Chikako, Koumoto Shunsuke, Tomita Kengo, Ryota <u>Hokari</u>	Intestinal inflammations increase efflux of innate lymphoid cells from the intestinal mucosa to the mesenteric lymph nodes through lymph-collecting ducts	Microcirculation		e-pub	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Wada A, Higashiyama M, Kurihara C, Ito S, Tanemoto R, Mizoguchi A, Nishii S, Inaba K, Sugihara N, Hanawa Y, Horiuchi K, Shibuya N, Akiyama M, Okada Y, Watanabe C, Komoto S, Tomita K, Takei F, <u>Hokari R.</u>	Protective Effect of Luminal Uric Acid Against Indomethacin-Induced Enteropathy: Role of Antioxidant Effect and Gut Microbiota.	Dig Dis Sci.		Epub ahead of print.	2021
Fukudo S, Okumura T, Inamori M, Okuyama Y, Kanazawa M, Kamiya T, Sato K, Shiotani A, Naito Y, Fujikawa Y, <u>Hokari R.</u> Masaoka T, Fujimoto K, Kaneko H, Torii A, Matsueda K, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for irritable bowel syndrome	J Gastroenterol	56(3)	193-217	2020
<u>Hokari R.</u> Higashiyama M.	Extremely low prevalence of Celiac disease in Japan: Eternal silence or just the calm before the storm?	JGH Open.	4(4):	554-555	2020
Shirakabe K, Higashiyama M, Shibuya N, Horiuchi K, Saruta M, <u>Hokari R.</u>	Microscopic Observation of Lymphocyte Dynamics in Rat Peyer's Patches.	J Vis Exp.	25:	160	2020
Higashiyama M, Komoto S, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Miura S, <u>Hokari R.</u>	Relation of geriatric nutritional risk index with clinical risks in elderly-onset ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol.	36(1):	163-170	2020
Watanabe C, Nagahori M, Fujii T, Yokoyama K, Yoshimura N, Kobayashi T, Yamagami H, Kitamura K, Takashi K, Nakamura S, Naganuma M, Ishihara S, Esaki M, Yonezawa M, Kunisaki R, Sakuraba A, Kuji N, Miura S, Hibi T, Suzuki Y, <u>Hokari R.</u>	Non-adherence to Medications in Pregnant Ulcerative Colitis Patients Contributes to Disease Flares and Adverse Pregnancy Outcomes.	Dig Dis Sci.	66(2):5	77-586.	2020
<u>穂苅量太</u>	クローンカイトカナダ 症候群	日本消化器病学会雑誌	119	191-200	2022
Ohwada S, Ishigami K, Yokoyama Y, Kazama T, Masaki Y, Takahashi M, Yoshii S, Yamano H, Chiba H, <u>Nakase H.</u>	Immune-related colitis and pancreatitis treated with infliximab	Clin J Gastroenterol	16	73-80	2023
Yamakawa T, Kitamoto H, Nojima M, Kazama T, Wagatsuma K, Ishigami K, Yamamoto S, Honzawa Y, Matsuura M, Seno H, <u>Nakase H.</u>	The association between antigenemia, histology with immunohistochemistry, and mucosal PCR in the diagnosis of ulcerative colitis with concomitant human cytomegalovirus infection	J Gastroenterol	58	44-52	2023
<u>Nakase H.</u> Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, Saruta M, Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, Hisamatsu T.	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey	J Gastroenterol	58	205-216	2023
Miyake T, Yoshii S, <u>Nakase H.</u>	Endoscopic full-thickness resection using an over-the-scope clip for colon cancer within a diverticulum	Dig Endosc	35	e30-e32	2023
<u>Nakase H.</u>	Acute severe ulcerative colitis: optimal strategies for drug therapy	Gut and Live	17	49-57	2023
Kazama T, Yamano H, <u>Nakase H.</u>	Ischemia-reperfusion injury suggestive of chronic mesenteric ischemia: real-time capture by colonoscopy	Dig Endosc	34	e28-e29	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kakuta Y, Iwaki H, Umeno J, Kawai Y, Kawahara M, Takagawa T, Shimoyama Y, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Watanabe K, Nakamura S, Nakase H, Sasaki M, Hanai H, Fuyuno Y, Hirano A, Matsumoto T, Kubo H, Minegishi N, Nakamura M, Hisamatsu T, Andoh A, Nagasaki M, Tokunaga K, Kinouchi Y, Masamune A, MENDEL Study Group.	Crohn's Disease and early exposure to thiopurines are independent risk factors for mosaic chromosomal alterations in patients with inflammatory bowel diseases	J Crohns Colitis	16	643-655	2022
Nakase H, Hayashi Y, Hirayama D, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Abukawa D, Hisamatsu T, J-COSMOS group.	Interim analysis of a multicenter registry study of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-COSMOS)	J Gastroenterol	57	174-184	2022
Shimizu H, Ebana R, Kudo T, Sato T, Hara T, Hosoi K, Usami M, Yoshida M, Takeuchi I, Nakase H, Iwama I, Arai K, Shimizu T.	Both fecal calprotectin and fecal immunochemical tests are useful in children with inflammatory bowel disease	J Gastroenterol	57	344-356	2022
Danese S, Vermeire S, Zhou W, Pangan AL, Siffledeen J, Greenbloom S, He' buterne X, D' Haens G, Nakase H, Pane' s J, Higgins PDR, Juillerat P, Lindsay JO, Loftus EV Jr, Sandborn WJ, Reinisch W, Chen MH, Sanchez Gonzalez Y, Huang B, Xie W, Liu J, Weinreich MA, Panaccione R.	Upadacitinib as induction and maintenance therapy for moderately to severely active ulcerative colitis: results from three phase 3, multicentre, double-blind, randomised trials	Lancet	399	2113-2128	2022
Hayashi Y, Nakase H, Hisamatsu T, J-COSMOS GROUP.	Should we continue or discontinue inflammatory bowel disease medication in patients with coronavirus disease 2019 ?	Gastroenterology	163	338-339	2022
Iwamura C, Hirahara K, Kiuchi M, Ikehara S, Azuma K, Shimada T, Kuriyama S, Ohki S, Yamamoto E, Inaba Y, Shiko Y, Aoki A, Kokubo K, Hirasawa R, Hishiyama T, Tsuji K, Nagaoka T, Ishikawa S, Kojima A, Mito H, Hase R, Kasahara Y, Kuriyama N, Tsukamoto T, Nakamura S, Urushibara T, Kaneda S, Sakao S, Tobiume M, Suzuki Y, Tsujiwaki M, Kubo T, Hasegawa T, Nakase H, Nishida O, Takahashi K, Baba K, Iizumi Y, Okazaki T, Kimura M, Yoshino I, Igari H, Nakajima H, Suzuki T, Hanaoka H, Nakada T, Ikehara Y, Yokote K, Nakayama T.	Elevated My19 reflects the My19-containing microthrombi in SARS-CoV-2-induced lung exudative vasculitis and predicts COVID-19 severity	Proc Natl Acad Sci USA	119	e2203437119	2022
Matsuoka K, Fujii T, Okamoto R, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Watanabe K, Shiga H, Takatsu N, Bamba S, Mikami Y, Yamamoto T, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, Matsumoto T, Nakase H, Maemoto A, Shinzaki S, Murata Y, Yoshigoe S, Sasaki A, Yajima T, Hisamatsu T.	Characteristics of adult patients newly diagnosed with Crohn's disease: interim analysis of the nation-wide inception cohort registry study of patients with Crohn's disease in Japan (iCREST-CD)	J Gastroenterol	57	867-878	2022
Yamakawa T, Ishigami K, Takizawa A, Takada Y, Ohwada S, Yokoyama Y, Kazama T, Hirayama D, Yoshii S, Yamano H, Ohizumi R, Bunya N, Sugawara T, Tsujisaki M, Sugita S, Takahashi S, Narimatsu E, Nakase H.	Extensive mucosal sloughing of the small intestine and colon in a patient with severe COVID-19	DEN Open	2	e12	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yumemi T, Yoshii S, Yamakawa T, Hayashi Y, Miyake T, Yokoyama Y, Sudo G, Mitsuhashi K, Nojima M, Yamano H, <u>Nakase H.</u>	Red blood cell distribution width as a novel marker for predicting bleeding after endoscopic resection for early gastric cancer	DEN Open	3	e123	2022
Yokoyama Y, Suzuki R, <u>Nakase H.</u>	Slingshot technique: unique technique for removing an esophageal stent that migrated into the stomach	Dig Endosc	34	e134-e136	2022
Kita T, Ashizuka S, Takeda T, Matsumoto T, Ohmiya N, <u>Nakase H.</u> , Motoya S, Ohi H, Mitsuyama K, Hisamatsu T, Kanmura S, Kato N, Ishihara S, Nakamura M, Moriyama T, Saruta M, Nozaki R, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Kitamura K.	Adrenomedullin for biologic-resistant Crohn's disease: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2a clinical trial	J Gastroenterol Hepatol	37	2051-2059	2022
Yamakawa T, Ishigami K, Ohwada S, Kazama T, Hirayama D, Yoshii S, Yamano H, <u>Nakase H.</u>	An older patient with active ulcerative colitis and coronavirus disease 2019 (COVID-19) pneumonia successfully treated with the combination of anti-TNF α therapy and azathioprine	Clin J Gastroenterol	23	1-6	2022
Yamamoto H, Yano T, Araki A, Esaki M, Ohtsuka K, Ohmiya N, Oka S, <u>Nakase H.</u> , Bamba S, Hirai F, Hosoe N, Matsuda T, Mitsui K, Watanabe K, Ogata H, Katsuki S, Matsumoto T, Fujishiro M, Fujimoto K, Inoue H.	Guidelines for endoscopic balloon dilation in treating Crohn's disease-associated small intestinal strictures (supplement to the Clinical Practice Guidelines for enteroscopy)	Dig Endosc	34	1278-1296	2022
Ohwada S, Todaka A, <u>Nakase H.</u> , Shirasu H, Kawakami T, Hamauchi S, Tsushima T, Yokota T, Onozawa Y, Yasui H, Yamazaki K.	The effectiveness and safety of gemcitabine plus nab-paclitaxel in elderly patients with advanced pancreatic cancer: a single-center retrospective cohort study	Invest New Drugs	40	1106-1116	2022
横山佳浩, <u>仲瀬裕志</u>	UCに対する経口分子標的薬-JAK阻害薬、カロテグラストメチルはUCのどの場面で使うのか？(JAK3剤の使い分けも含め)	臨床消化器内科	38	407-412	2023
<u>仲瀬裕志</u>	MEFV遺伝子関連腸炎	日本消化器病学会雑誌	119	210-216	2022
<u>仲瀬裕志</u> , 本澤有介	Artificial intelligenceを用いた潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価	胃と腸	57	201-207	2022
横山佳浩, <u>仲瀬裕志</u>	ベトリズマブ	臨床免疫・アレルギー科	77	471-475	2022
<u>仲瀬裕志</u>	潰瘍性大腸炎の病態と治療薬—多様な内科治療の作用機序を知る—	消化器内科	4	4-8	2022
横山佳浩, <u>仲瀬裕志</u>	クローン病類似の回腸末端病変を呈した家族性地中海熱の一例	IBD Research	16	104-108	2022
<u>仲瀬裕志</u>	家族性地中海熱	日本臨牀増刊号 小腸疾患	80	496-501	2022
我妻康平, 横山佳浩, 平山大輔, <u>仲瀬裕志</u>	家族性地中海熱遺伝子関連腸炎	臨床免疫・アレルギー科	78	582-588	2022
林優希, 横山佳浩, 風間友江, 平山大輔, <u>仲瀬裕志</u>	新しい医療体制である遠隔連携診療についての報告—北海道におけるICTを利用した炎症性腸疾患の遠隔連携診療ネットワークの構築と運用事業—	日本消化器病学会雑誌	119	830-838	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Suzuki K, Kakuta Y, Naito T, Takagawa T, Hanai H, Araki H, Sasaki Y, Sakuraba H, Sasaki M, Hisamatsu T, Motoya S, Matsumoto T, Onodera M, Ishiguro Y, Nakase H, Andoh A, Hiraoka S, Shinozaki M, Fujii T, Katsurada T, Kobayashi T, Fujiya M, Otsuka T, Oshima N, Suzuki Y, Sato Y, Hokari R, Noguchi M, Ohta Y, Matsuura M, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kudo H, Minegishi N, Okamoto D, Shimoyama Y, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Li D, McGovern DPB, Kinouchi Y, Masamune A, MENDEL study group.	Genetic background of mesalamine-induced fever and diarrhea in Japanese patients with inflammatory bowel disease.	Inflamm Bowel Dis	28	21-31	2022
Nakase H, Sato N, Mizuno N, Ikawa Y.	The influence of cytokines on the complex pathology of ulcerative colitis.	Autoimmun Rev	21	103017	2022
Yamakawa T, Ishigami K, Takizawa A, Takada Y, Ohwada S, Yokoyama Y, Kazama T, Hirayama D, Yoshii S, Yamano H, Ohizumi R, Bunya N, Sugawara T, Tsujiwaki M, Sugita S, Takahashi S, Narimatsu E, Nakase H.	Extensive mucosal sloughing of the small intestine and colon in a patient with severe COVID-19.	DEN open	2	e42	2022
Hayashi Y, Nakase H.	The molecular mechanisms of intestinal inflammation and fibrosis in Crohn's disease.	Front Physiol	11	845078	2022
Hayashi Y, Wagatsuma K, Nojima M, Yamakawa T, Ichimiya T, Yokoyama Y, Kazama T, Hirayama D, Nakase H.	The characteristics of gastrointestinal symptoms in patients with severe COVID-19: a systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol	23	1-12	2021
Kita T, Ashizuka S, Ohmiya N, Yamamoto T, Kanai T, Motoya S, Hirai F, Nakase H, Moriyama T, Nakamura M, Suzuki Y, Kanmura S, Kabayashi T, Ohi H, Nozaki R, Mitsuyama K, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Hibi T, Kitamura K.	A drenomedullin for steroid-resistant ulcerative colitis: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase-2a clinical trial.	J Gastroenterol	56	147-157	2021
Takayama K, Ito K, Matsui A, Yamashita T, Kawakami K, Hirayama D, Kishimoto W, Nakase H, Mizuguchi H.	In vivo gene expression profile of human intestinal epithelial cells: from the viewpoint of drug metabolism and pharmacokinetics.	Drug Metab Dispos	49	221-232	2021
Yokota J, Yamashita T, Inui T, Nomoto R, Kishimoto W, Nakase H, Mizuguchi H.	Comparison of culture media for human intestinal organoids from the viewpoint of pharmacokinetic studies.	Biochem Biophys Res Commun	566	115-122	2021
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, on behalf of the HAYABUSA Study Group.	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial.	Lancet Gastroenterol Hepatol	6	429-437	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, Kobayashi T, Saruta M, Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fujii T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, Naganuma M, Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020.	J Gastroenterol	56	489-526	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamashita T, Inui T, Yokota J, Kawakami K, Morinaga G, Takatani M, Hirayama D, Nomoto R, Ito K, Cui Y, Ruez S, Harada K, Kishimoto W, <u>Nakase H</u> , Mizuguchi H.	Monolayer platform using human biopsy-derived duodenal organoids for pharmaceutical research.	Mol Ther Methods Clin Dev	22	263-278	2021
Masaki Y, <u>Nakase H</u> , Tsuji Y, Nojima M, Shimizu K, Mizuno N, Ikeura T, Uchida K, Ido A, Kodama Y, Seno H, Okazaki K.	The clinical efficacy of azathioprine as maintenance treatment for autoimmune pancreatitis: a systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol	56	869-880	2021
<u>Nakase H</u> , Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Wagatsuma K, Yokoyama Y, Hisamatsu T.	Expert opinions on the current therapeutic management of inflammatory bowel disease during the COVID-19 pandemic: Japan IBD COVID-19 taskforce, intractable disease, the health and labor sciences research.	Digestion	102	814-822	2021
Ando K, Fujiya M, Watanabe K, Hiraoka S, Shiga H, Tanaka S, Iijima H, Mizushima T, Kobayashi T, Nagahori M, Ikeuchi H, Kato S, Torisu T, Kobayashi K, Higashiyama M, Fukui T, Kagaya T, Esaki M, Yanai S, Abukawa D, Naganuma M, Motoya S, Saruta M, Bamba S, Sasaki M, Uchiyama K, Fukuda K, Suzuki H, <u>Nakase H</u> , Shimizu T, Iizuka M, Watanabe M, Suzuki Y, Hisamatsu T.	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan.	J Gastroenterol	56	1062-1079	2021
Miura M, Shimizu H, Saito D, Miyoshi J, Matsuura M, Kubo T, Hirayama D, Yoshida M, Arai K, Iwama I, <u>Nakase H</u> , Shimizu T, Hisamatsu T.	Multicenter, cross-sectional, observational study on Epstein-Barr viral infection status and thiopurine use by age group in patients with inflammatory bowel disease in Japan (EBISU study).	J Gastroenterol	56	1080-1091	2021
Sato Y, Satoyoshi T, Okita K, Kyuno D, Hamabe A, Okuya K, Nishidate T, Akizuki E, Ishii M, Yamano H, Sugita S, <u>Nakase H</u> , Hasegawa T, Takemasa I.	Snapshots of lymphatic pathways in colorectal cancer surgery using near-infrared fluorescence, in vivo and ex vivo.	Eur J Surg Oncol	47	3130-3136	2021
Satoyoshi T, Okita K, Ishii M, Hamabe A, Usui A, Akizuki E, Okuya K, Nishidate T, Yamano H, <u>Nakase H</u> , Takemasa I.	Timing of indocyanine green injection prior to laparoscopic colorectal surgery for tumor localization: a prospective case series.	Surg Endosc	35	763-769	2021
Murota A, Yoshii S, Okuda R, Oowada S, Yamakawa T, Kazama T, Hirayama D, Ishigami K, Yamano H, Narimatu E, Sugita S, Hasegawa T, <u>Nakase H</u> .	Successful hemostasis of bleeding gastric inflammatory fibroid polyp by endoscopic treatment in a patient with severe COVID-19.	Clin J Gastroenterol	11	1-6	2021
Yokoyama Y, Yamakawa T, Ichimiya T, <u>Kazama T</u> , Hirayama D, Wagatsuma K, <u>Nakase H</u> .	Gastrointestinal involvement in a patient with familial Mediterranean fever mimicking Crohn's disease: a case report.	Clin J Gastroenterol	14	1103-1107	2021
<u>Nakase H</u> , Honzawa Y, Matsuura M.	Ulcerative Duodenitis.	Internal Medicine	60	3651-3652	2021
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, <u>Nakase H</u> , Watanabe M.	Intestinal cancer in patients with Crohn's disease: a systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol	36	329-336	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, <u>Nakase H</u> , Watanabe M.	Dose anti-tumor necrosis factor alpha prevent the recurrence of Crohn's disease? systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol	36	864-872	2021
Yoshihara T, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, Takehara T, Inoue N, Uchino M, Esaki M, Kobayashi T, Saruta M, Sugimoto K, Nakamura S, Hata K, Hirai F, Hiraoka S, Fujii T, Matsuura M, Matsuoka K, Watanabe K, <u>Nakase H</u> , Watanabe M.	Concomitant use of an immunomodulator with ustekinumab as an induction therapy for Crohn's disease: a systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol	36	1744-1753	2021
<u>Nakase H</u> , Hirano T, Wagatsuma K, Ichimiya T, Yamakawa T, Yokoyama Y, Hayashi Y, Hirayama D, <u>Kazama T</u> , Yoshii S, Yamano H.	Artificial intelligence-assisted endoscopy changes the definition of mucosal healing in ulcerative colitis.	Digestive Endoscopy	33	903-911	2021
Wagatsuma K, Yokoyama Y, <u>Nakase H</u> .	Role of biomarkers in the diagnosis and treatment of inflammatory bowel disease.	Life	11	1375	2021
仲瀬裕志, 本澤有介	Artificial intelligenceを用いた潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価	胃と腸	57	201-207	2022
仲瀬裕志	炎症性腸疾患の病態	消化器内科	3	6-11	2021
仲瀬裕志	炎症性腸疾患診療ガイドライン2020のポイント	消化器・肝臓内科	9	363-369	2021
横山佳浩, 仲瀬裕志	クローン病—病因と病態	臨床と研究	98	542-545	2021
仲瀬裕志	特異的分子標的薬使用患者におけるCOVID-19リスクについて	INTESTINE	25	323-327	2021
仲瀬裕志	ステロイド抵抗性重症潰瘍性大腸炎への治療選択インフリキシマブorタクロリムス タクロリムスの立場から	IBD Research	15	256-259	2021
Kita T, Ashizuka S, Ohmiya N, Yamamoto T, Kanai T, Motoya S, Hirai F, <u>Nakase H</u> , Moriyama T, Nakamura M, Suzuki Y, Kanmura S, Kobayashi T, Ohi H, Nozaki R, Mitsuyama K, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Hibi T, Kitamura K.	Adrenomedullin for steroid-resistant ulcerative colitis: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase-2a clinical trial.	J Gastroenterol	56	147-157	2021
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, <u>Nakase H</u> , Watanabe M.	Intestinal cancer in patients with Crohn's disease: a systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol	36	329-336	2021
Takayama K, Ito K, Matsui A, Yamashita T, Kawakami K, Hirayama D, Kishimoto W, <u>Nakase H</u> , Mizuguchi H.	In vivo gene expression profile of human intestinal epithelial cells: from the viewpoint of drug metabolism and pharmacokinetics.	Drug Metab Dispos	49	221-232	2021
Iida T, Hirayama D, Minami N, Matsuura M, Wagatsuma K, Kawakami K, Nagaishi K, Nojima M, Ikeuchi H, Hirota S, Shirakawa R, Horiuchi H, <u>Nakase H</u> .	Down-regulation of RalGTPase-activating protein promotes colitis-associated cancer via NLRP3 inflammasome activation.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol	9	277-293	2020
Iida T, Arimura Y, <u>Nakase H</u> .	A rare cause of Ileus in a middle-aged Japanese woman.	Clin Gastroenterol Hepatol	18	e43	2020
Zhu Y, Cui G, Miyauchi E, Nakanishi Y, Mukohira H, Shimba A, Abe S, Tani-ichi S, Hara T, <u>Nakase H</u> , Chiba T, Sehara-Fujisawa A, Seno H, Ohno H, Ikuta K.	Intestinal epithelial cell-derived IL-15 determines local maintenance and maturation of intra-epithelial lymphocytes in the intestine.	Int Immunol	32	307-319	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Nakase H.	Treatment of inflammatory bowel disease from the immunological perspective.	Immunol Med	23	1-8	2020
Yamamoto Y, Nakase H, Matsuura M, Maruyama S, Masuda S.	CYP3A5 genotype as a potential pharmacodynamic biomarker for tacrolimus therapy in ulcerative colitis in Japanese patients.	Int J Mol Sci	21	E43-47	2020
Hata K, Ishihara S, Ajioka Y, Mitsuyama K, Watanabe K, Hanai H, Kunisaki R, Nakase H, Matsuda K, Iwakiri R, Hida N, Tanaka S, Takeuchi Y, Shinozaki M, Ogata N, Moriichi K, Hirai F, Sugihara K, Hisamatsu T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T.	Long-term follow-up of targeted biopsy yield (LOFTY Study) in ulcerative colitis surveillance colonoscopy.	J Clin Med	18	E2286	2020
Nakase H, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Wagatsuma K, Yokoyama Y, Hisamatsu T.	Expert opinions on the current therapeutic management of inflammatory bowel disease during the COVID-19 pandemic: Japan IBD COVID-19 taskforce, intractable diseases, the health and labor sciences research.	Digestion	Sep4	1-9	2020
Saito D, Hibi N, Ozaki R, Kikuchi O, Sato T, Tokunaga S, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hayashida M, Miyoshi J, Matsuura M, Nakase H, Hisamatsu T.	MEFV gene-related enterocolitis account for some cases diagnosed as inflammatory bowel disease unclassified.	Digestion	101	785-793	2020
Hirano T, Hirayama D, Wagatsuma K, Yamakawa T, Yokoyama Y, Nakase H.	Immunological mechanisms in inflammation-associated colon carcinogenesis.	Int J Sci	21	E3062	2020
Yokoyama Y, Yamakawa T, Hirano T, Kazama T, Hirayama D, Wagatsuma K, Nakase H.	Current diagnostic and therapeutic approaches to cytomegalovirus infections in ulcerative colitis patients based on clinical and basic research data.	Int J Mol	21	2438	2020
Nakase H, Matsumoto T, Watanabe K, Hisamatsu T.	The shining DIAMOND for evidence-based treatment strategies for Crohn's disease.	J Gastroenterol	55	824-832	2020
Wagatsuma K, Nakase H.	Contradictory effects of NLRP3 inflammasome regulatory mechanisms in colitis.	Int J Mol Sci	21	8145	2020
Bossuyt P, Nakase H, Vermeire S, de Hertogh G, Eelbode T, Ferrante M, Hasegawa T, Willekens H, Ikemoto Y, Makino T, Bisschops R.	Automatic, computer-aided determination of endoscopic and histological inflammation in patients with mild to moderate ulcerative colitis based on red density.	GUT	69	1778-1786	2020
Idogawa M, Tange S, Nakase H, Tokino T	Interactive Web-Based Graphs of Novel Coronavirus COVID-19 Cases and Deaths Per Population by Country.	Clin Infect Dis.	71	902-903	2020
Itoh T, Maemoto A, Katsurada T, Tanaka H, Motoya S, Ueno N, Fujiya M, Ashida T, Hirayama D, Nakase H.	Long-Term Clinical Effectiveness of Ustekinumab in Patients With Crohn's Disease: A Retrospective Cohort Study.	Crohn's & Colitis	2(4)	360.	2020
Kakimoto K, Matsuura M, Takumi Fukuchi, Hongo H, Kimura T, Aoyama N, Okuda Y, Aomatsu K, Kamata N, Yokoyama Y, Mizuno C, Inoue T, Miyazaki T, Nakamura S, Higuchi K, Nakase H.	Exploratory study of the effectiveness of granulocyte and monocyte adsorptive apheresis before initiation of steroids in patients with active ulcerative colitis (EXPECT study): A multicenter prospective clinical trial.	Crohn's & Colitis	2(4)	360.	2020
Ichimiya T, Yamakawa T, Hirano T, Yokoyama Y, Hayashi Y, Hirayama D, Wagatsuma K, Itoi T, Nakase H.	Autophagy and autophagy-related diseases: a review.	Int J Mol	21	8974	2020
Hideaki Kimura, Kenichiro Toritani, Reiko Kunisaki, Kenji Tatsumi, Kazutaka Koganei, Akira Sugita and Itaru Endo	Impact of the body mass index on the retention of the anorectal mucosa after double-stapled ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis	BMC Gastroenterology		https://doi.org/10.1186/s12876-023-02667-w	2023
Akira Sugita, M.D., Ph.D. · Kazutaka Koganei, M.D., Ph.D. Kenji Tatsumi, M.D., Ph.D.	Management of Pouch Neoplasia	DISEASE OF THE COLON&RECTUM	65(51)	125-135	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hirosuke Kuroki, Akira Sugita, Kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi, Eiichi Nakao, Nao Obara	Postoperative results and complications of fecal diversion for anorectal Crohn's disease	Surgery Today		https://doi.org/10.1007/s00595-022-02556-x Published online 2	2022
Bo Shen, Gursimran S Kochhar, David T Rubin, Sunanda V Kane, Udayakumar Navaneethan, Charles N Bernstein, Raymond K Cross, Akira Sugita, Janson Schairer, Ravi Kiran, Philip Fleshner, James T McCormick, Andre D Hoore, Samir A Shah, Francis A Farraye, Revital Kariv, Xiuli Liu, Joel Rosh, Shannon Chang, Ellen Scherl, David A Schwartz, Poulo Gustavo Kotze, David H Bruining, Jessica Philpott, Bincy Abraham, Jonathan Segal, Rocio Sedano, Maia Kayal, Stuart Bebtly-Hibbert, Dino Tarabar, Sandra El-Hachem, Priya Sehgal, Joseph A Picoraro, Severine Vermeire, William J Sanfborn, Mark S Silnerberg, Darrell S Pardi	Treatment of pouchitis, Crohn's disease, cuffitis, and other inflammatory disorders of the pouch: consensus guidelines from the International Ileal Pouch Consortium	Lancet Gastroenterol Hepatol	Published online:10	https://doi.org/10.1016/S2468-1253(21)00214-4	2021
Hiroshi Kuwabara, Hideaki Kimura, Reiko Kunisaki, Kenji Tatsumi, Kazutaka Koganei, Akira Sugita, Kenji Katsumata, Akihiko Tsuchida, Itaru Endo	Postoperative complications, bowel function, and prognosis in restorative proctocolectomy for ulcerative colitis - a single-center observational study of 320 patients	International Journal of Colorectal Disease	Published online:09 November	https://doi.org/10.1007/s00384-021-04059-6	2021
Bo Shen, Gursimran S Kochhar, Revital Kariv, Xiuli Liu, Udayakumar Navaneethan, David T Rubin, Raymond K Cross, Akira Sugita, Andre D Hoore, Jason Schairer, Francis A Farraye, Ravi Kiran, Philip Fleshner, Joel Rosh, Samir A Shah, Shannon Chang, Ellen Scherl, Darrell S Pardi, David A Schwartz, Paulo G Kotze, David H Bruining, Sunanda V Kane, Jessica Philpott, Bincy Abraham, Jonathan Segal, Rocio Sedano, Maia Kayal, Stuart Bentley-Hibbert, Dino Tarabar, Sandra El-Hachem, Priya Sehgal, James T McCormick, Joseph A Picoraro, mark S Silverberg, Charles N Bernstein, William Sandborn, Srverine Vermeire	Diagnosis and classification of ileal pouch disorders: consensus guidelines from the International ileal Pouch Consortium	Lancet Gastroenterol Hepatol	Vol 6	826-849	2021
Michio Itabashi, MD, PhD, Hiroki Ikeuchi, MD, PhD, Hideaki Kimura, MD, PhD, Kohei Fukushima, MD, PhD, Hisao Fujii, MD, PhD, Riichiro Nezu, MD, PhD, Kitaro Futami, MD, PhD, Akira Sugita, MD, PhD, Yasuo Suzuki, MD, PhD, and Tadakazu Hisamatsu, MD, PhD; on behalf of the Reseach Group for Intractable Inflammatory Bowel Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan(RGIBD)	Perioperative Venous Thromboembolism in Ulcerative Colitis: A Multicenter Prospective Study in Japan	Crohn's & Colitis 360		1-7	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Nao Obara, Kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi, Ryo Futatsuki, Hirotsuke Kuroki, Eiichi Nakao, Akira Sugita	Subtotal colectomy for refractory ulcerative colitis with COVID-19 infection ; a first case report in Japan	Clinical Journal of Gastroenterology		https://doi.org/10.1007/s12.28-021-01472-w	2021
AKIRA SUGITA, HIROKI IKEUCHI, YUUJI FUKNAYAMA, KITARO FUTAMI, TSUNEO IIAI, MICHIO ITABASHI, AND YASUO SUZUKI	Postoperative Survival in Colitis-associated Colorectal Cancer With Ulcerative Colitis in Japan: A Multicenter Analysis	ANTICANCER RESEACH	41	2681-2688	2021
Hirotsuke Kuroki, Akira Sugita, Kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi, Ryo Futatsuki, Eiichi Nakao, Nao Obara and Katsuhiko Arai	Clinicopathological and prognostic evaluations of anorectal cancer after fecal diversion for patients with Crohn's disease	BMC Gastroenterology	21(168)	https://doi.org/10.1186/s12876-021-01751-3	2021
Atsushi Kohyama, Kazuhiro Watanabe, Akira Sugita, Kitaro Futami, Hiroki Ikeuchi, Ken-ichi Takahashi, Yasuo Suzuki& Kouhei Fukushima	Ulcerative colitis-related severe enteritis: an infrequent but serious complication after colectomy	Journal of Gastroenterology online	05	DOI10.1007/s00535-020-01742-3	2020
Takahide Shinagawa, Keisuke Hata, Hiroki Ikeuchi, Kouhei Fukushima, Kitaro Futami, Akira Sugita, Motoi Uchino, Kazuhiro Watanabe, Daijiro Higashi, Hideaki Kimura, Toshimitsu Araki, Tsunekazu Mizushima, Michio Itabashi, Takeshi Ueda, Kazutaka Koganei, Koji Oba, Soichiro Ishihara, and Yasuo Suzuki	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease	Clinical Gastroenterology and Hepatology	18	898-907	2020
辰巳健志、小金井一隆、黒木博介、小原尚、杉田昭	潰瘍性大腸炎の手術適応	IBD Research	16(3)	130-135	2022
小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、小原尚、齋藤紗由美、杉田昭	Crohn病に対する腸管切除の適応と手技	外科	84(10)	1029-1036	2022
小金井一隆、辰巳健志、黒木博介、小原尚、杉田昭	潰瘍性大腸炎 外科治療の適応とタイミング	消化器内科	31 4(6)	89-95	2022
中尾詠一、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、杉田昭	非中毒性巨大結腸症を合併した潰瘍性大腸炎7例の病態からみた治療法の検討	日本消化器外科学会雑誌	55(1)	64-71	2021
小原尚、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、中尾詠一、杉田昭	頻回の外科治療を要し、直腸切断術後人工肛門造設状態で自然分娩可能であった難治クローン病の1例	日本消化器病学会雑誌	118(8)	1079-1084	2021
松島小百合、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、中尾詠一、杉田昭	腸管手術既往のあるクローン病症例の妊娠・出産の現状と留意点	日本消化器病学会雑誌	118(8)	742-748	2021
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、中尾詠一、杉田昭	潰瘍性大腸炎に対する小開腹による温存直腸を短くした一期的大腸全摘・回腸囊肛門管吻合術	外科	82(13)	1312-1317	2020
小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、中尾詠一、小原尚、杉田昭	潰瘍性大腸炎/クローン病に対する緊急手術	臨床外科	75(7)	845-851	2020
松島小百合、小金井一隆、辰巳健志、二木了、黒木博介、小原尚、林宏行、杉田昭	86歳で大腸全摘・回腸囊肛門管吻合術を行った潰瘍性大腸炎の1例	日本消化器病学会雑誌	117(4)	321-326	2020
Kondo K, Ono Y, Ohfuji S, Watanabe K, Yamagami H, Watanabe M, Nishiwaki Y, Fukushima W, Hirota Y, Suzuki Y; Japanese Case - Control Study Group for Ulcerative Colitis.	Smoking and drinking habits relating to development of ulcerative colitis in Japanese: A multicenter case-control study.	JGH Open	7	61-67	2022
西脇祐司	炎症性腸疾患の疫学-海外と日本の動向は同じ? それとも違う?	Pharma Medica	38	9-12	2020
西脇祐司	炎症性腸疾患の疫学	Medical Practice	37	1808-1812	2020
Akira Yamamoto, Yuji Toiyama, Hiroki Ikeuchi, Motoi Uchino, Kitaro Futami, Kinya Okamoto, Takayuki Ogino, Soichiro Ishihara, Yoichi Ajioka, Kenichi Sugihara	Oncological outcomes of Crohn's disease-associated cancers focusing on disease behavior	Ann Gastroenterol Surg.	0	1-11	2023

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yuki Horio, Motoi Uchino, Kurando Kusunoki, Tomohiro Minagawa, Ryuichi Kuwahara, Kei Kimura, Kozo Kataoka, Naohito Beppu, Masataka Ikeda, <u>Hiroki Ikeuchi</u>	Being Elderly Is Associated with Infectious and Fatal Postoperative Complications in Ulcerative Colitis Patients	Digestion	103(6)	470-479	2022
"Takako Kihara, Ryuichi Kuwahara, Kurando Kusunoki, Tomohiro Minagawa, Yuki Horio, Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> and Seiichi Hirota	Rectal carcinoma with dual differentiation toward enteroblastic and neuroendocrine features arising in a patient with ulcerative colitis: a case report	World Journal of Surgical Oncology	20(1)	371 page1-5	2022
"Ryuichi Kuwahara , <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Toshihiro Bando, Yoshiko Goto, Yuki Horio, Tomohiro Minagawa and Motoi Uchino	Clinical results following colonic resection for ulcerative colitis in elderly individuals (elderly-onset vs. nonelderly onset)	BMC Surgery	22	215 page1-6	2022
Ryuichi Kuwahara, Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Toshihiro Bando, Hirofumi Sasaki, Michiko Yasuhara, Kei Kimura, Yoshiko Goto, Yuki Horio, Tomohiro Minagawa, Masataka Ikeda, Takashi Ueda, Yoshio Takesue	Effect of Changing Surgical Instruments Before Wound Closure to Prevent Wound Infection in Lower GI Surgery: A Randomized Controlled Trial	Dis Colon Rectum	65(1)	100-107	2022
Katsuyoshi Ando, Mikihiro Fujiya, Kenji Watanabe, Sakiko Hiraoka, Hisashi Shiga, Shinji Tanaka, Hideki Iijima, Tsunekazu Mizushima, Taku Kobayashi, Masakazu Nagahori, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Shingo Kato, Takehiro Torisu, Kiyonori Kobayash, Masaaki Higashiyama, Toshiro Fukui, Takashi Kagaya, Motohiro Esaki, Shunichi Yanai, Daiki Abukawa, Makoto Naganuma, Satoshi Motoya, Masayuki Saruta, Shigeki Bamba, Makoto Sasaki, Kazuhiko Uchiyama, Katsuyuki Fukuda, Hideo Suzuki, Hiroshi Nakase, Toshiaki Shimizu, Masahiro Iizuka, Mamoru Watanabe, Yasuo Suzuki, Tadakazu Hisamatsu	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan	J Gastroenterol	56(12)	1062-1079	2021
Yuki Horio, Motoi Uchino, Kazutoshi Hori, Kurando Kusunoki, Tomohiro Minagawa, Ryuichi Kuwahara, Kozo Kataoka, Naohito Beppu, Masataka Ikeda and <u>Hiroki Ikeuchi</u>	Clinical Features and Therapeutic Outcomes of Post-colectomy Enteritis with Ulcerative Colitis	J Anus Rectum Colon	5(4)	405-413	2021
Yoshiko Goto, Motoi Uchino, Yuki Horio, Kurando Kusunoki, Tomohiro Minagawa, Ryuichi Kuwahara, Kei Kimura, Kozo Kataoka, Naohito Beppu, Masataka Ikeda and <u>Hiroki Ikeuchi</u>	"Delivery Mode after Ileal Pouch-Anal Anastomosis among Pregnant Women with Ulcerative Colitis	J Anus Rectum Colon	5(4)	419-425	2021
Tomohiro Minagawa, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Kurando Kusunoki, Ryuichi Kuwahara, Yuki Horio, Takako Kihara, Seiichi Hirota & Motoi Uchino	Cap polyposis treated with laparoscopicassisted total proctocolectomy and ileal J-pouch anal anastomosis: a case report	Surgical Case report	7	153 page1-4	2021
AKIRA SUGITA, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , YUUJI FUNAYAMA, KITARO FUTAMI, TSUNEO IIAI, MICHIO ITABASHI and YASUO SUZUKI	Postoperative Survival in Colitis-associated Colorectal Cancer With Ulcerative Colitis in Japan: A Multicenter Analysis	ANTICANCER RESEARCH	41(5)	2681-2688	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Keisuke Hata, Tomohiro Minagawa, Yuki Horio, Ryuichi Kuwahara, Shiro Nakamura, Kenji Watanabe, Masayuki Saruta, Toshimitsu Fujii, Taku Kobayashi, Ken Sugimoto, Fumihito Hirai, Motohiro Esaki, Sakiko Hiraoka, Katsuyoshi Matsuoka, Shinichiro Shinzaki, Minoru Matsuura, Nagamu Inoue, Hiroshi Nakase and Mamoru Watanabe	Does anti - tumor necrosis factor alpha prevent the recurrence of Crohn' s disease? Systematic review and meta - analysis	Journal of Gastroenterology and Hepatology	36(4)	864-872	2021
Michiko Yasuhara, Naohito Beppu, Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Ikuo Matsuda, Seiichi Hirota, Masataka Ikeda, Naohiro Tomita	Adverse oncologic outcomes of adenocarcinoma of the anal canal in patients with Crohn' s disease	Diseases of the Colon & Rectum	64(4)	409-419	2021
Yuki Horio, Motoi Uchino, Takako Kihara, Toshihiro Bando, Ryuichi Kuwahara, Tomohiro Minagawa, Kurando Kusunoki, Kenji Watanabe, seiichi Hirota, <u>Hiroki Ikeuchi</u>	Potential problems of partial resection for colitis-associated cancer in a patient with ulcerative colitis: case report	Journal of Surgical Case Reports	3	1-4	2021
<u>Hiroki Ikeuchi</u> , Motoi Uchino, Toshihiro Bando, Yuki Horio, Ryuichi Kuwahara, Tomohiro Minagawa, Yoshiko Goto, Kurando Kusunoki, Masataka Ikeda, Naohito Beppu and Yoshio Takesue	Localization of recurrent lesions following ileocolic resection for Crohn' s disease	BMC Surgery	21	145	2021
Atsushi Kohyama, Kazuhiro Watanabe, Akira Sugita, Kitaro Futami, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Ken-ichi Takahashi, Yasuo Suzuki, Kouhei Fukushima	Ulcerative colitis-related severe enteritis: an infrequent but serious complication after colectomy	Journal of Gastroenterology	56	240-249	2021
Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Keisuke Hata, Tomohiro Minagawa, Yuki Horio, Ryuichi Kuwahara, Shiro Nakamura, Kenji Watanabe, Masayuki Saruta, Toshimitsu Fujii, Taku Kobayashi, Ken Sugimoto, Fumihito Hirai, Motohiro Esaki, Sakiko Hiraoka, Katsuyoshi Matsuoka, Shinichiro Shinzaki, Minoru Matsuura, Nagamu Inoue, Hiroshi Nakase and Mamoru Watanabe	Intestinal cancer in patients with Crohn' s disease: A systematic review and meta-analysis	Journal of Gastroenterology and Hepatology	36(2)	329-336	2021
K Kusunoki, Y Toiyama, Y Okugawa, A Yamamoto, Y Omura, Y Kusunoki, C Yin, S Kondo, Y Okita, M Ohi, H Sasaki, T Bando, M Uchino, <u>H Ikeuchi</u> , M Kusunoki	The advanced lung cancer inflammation index predicts outcomes in patients with Crohn' s disease after surgical resection	Colorectal Disease	23(1)	84-93	2021
Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Junzo Shimizu, Hiroki Ohge, Seiichi Haji, Toru Mizuguchi, Yasuhiko Mohri, Chizuru Yamashita, Yuichi Kitagawa, Katsunori Suzuki, Motomu Kobayashi, Masahiro Kobayashi, Fumie Sakamoto, Masahiro Yoshida, Toshihiko Mayumi, Koichi Hirata, Yoshio Takesue	Association between preoperative tumor necrosis factor alpha inhibitor and surgical site infection after surgery for inflammatory bowel disease: a systematic review and meta-analysis	Surgery Today	51	32-43	2021
Minagawa Tomohiro, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Chohno Teruhiro, Bando Toshihiro, Uchino Motoi	Functional outcomes and quality of life in elderly patients after restorative proctocolectomy for ulcerative colitis	Digestion	101	737-742	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ryuichi Kuwahara, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Toshihiko Bando, Hirofumi Sasaki, Yoshiko Goto, Yuki Horio, Tomohiro Minagawa, Motoi Uchino	Clinical Results of One-stage Restorative Proctocolectomy with J-pouch Anal Anastomosis in 300 Ulcerative Colitis Patients	J Anus Rectom Colon	4(4)	181-185	2020
Yoshitaka Torii, Daisuke Sano, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Nobuyuki Hida, Seiichi Hirota	Use of segmental colorectal lavage cytology during surveillance colonoscopy for detecting dysplastic and cancer cells in patients with ulcerative colitis	Int J Clin Exp Pathol	13(8)	2035-2040	2020
Takashi Ueda , Yoshio Takesue, Kazuhiko Nakajima, Kaoru Ichiki, Kaori Ishikawa, Yoshiko Takai, Kumiko Yamada, Toshie Tsuchida, Naruhito Otani, Yoshiko Takahashi, Mika Ishihara, Shingo Takubo, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Motoi Uchino and Takeshi Kimura	Clinical efficacy and safety in patients treated with teicoplanin with a target trough concentration of 20 μ g/mL using a regimen of 12 mg/kg for five doses within the initial 3 days	BMC Pharmacology and Toxicology	21	50:1-10	2020
Yukihiro Hamada, Takashi Ueda, Yoshitsugu Miyazaki, Kazuhiko Nakajima, Keiko Fukunaga, Taiga Miyazaki, Nana Nakada-Motokawa, Miki Nagao, Hideki Kawamura, Akari Shigemi, Fumiya Ebihara, Toshimi Kimura, Kazuhiro Ikegame, Motoi Uchino, <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Yoshio Takesue	Effects of antifungal stewardship using therapeutic drug monitoring in voriconazole therapy on the prevention and control of hepatotoxicity and visual symptoms: A multicentre study conducted in Japan	mycoses	63(8)	779-786	2020
Kentaro Kojima, Toshiyuki Sato, Motoi Uchino , Yoko Yokoyama , Tetsuya Takagawa , Yoshio Ohda , Nobuyuki Hida , Kenji Watanabe , Kazutoshi Hori , Hiroto Miwa , <u>Hiroki Ikeuchi</u> , Shiro Nakamura , Masahito Shimizu	Clinical Characteristics and Risk Factors for Pneumocystis Jirovecii Pneumonia during Immunosuppressive Treatment in Patients with Ulcerative Colitis: A Retrospective Study	Journal of gastrointestinal and liver diseases : JGLD	29(2)	167-173	2020
Yamada Kimiko, Ueda Takashi, Nakajima Kazuhiko, Ichiki Kaoru, Tsuchida Toshie, Otani Naruhito, Takahashi Yoshiko, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Uchino Motoi, Koshihara Masahiro, Takesue Yoshio.	Clinical efficacy of teicoplanin in the treatment of bloodstream infection caused by methicilline-resistant coagulase-negative staphylococci.	Journal of Infection and Chemotherapy	26(5)	459-464	2020
Yuki Horio, Motoi Uchino, Toshihiro Bando, Hirofumi Sasaki, Yoshiko Goto, Ryuichi Kuwahara, Tomohiro Minagawa, Yoshio Takesue, <u>Hiroki Ikeuchi</u>	Incidence, Risk Factors, and Outcomes of Cancer of the Anal Transitional Zone with Ulcerative Colitis.	Journal of Crohn's and Colitis		1565-1571	2020
Yoneda Ayami, Takesue Yoshio, Takahashi Yoshiko, Ichiki Kaoru, Tsuchida Toshie, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Uchino Motoi, Hatano Etsuro, Shinohara Hisashi, Tomita Naohiro	"Improvement in Hyperglycemia Prevents Surgical Site Infection Irrespective of Insulin Therapy in Non-diabetic Patients Undergoing Gastrointestinal Surgery	World journal of surgery	44(5)	1450-8	2020
Shinagawa Takahide, Hata Keisuke, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Fukushima Kouhei, Futami Kitano, Sugita Akira, Uchino Motoi, Watanabe Kazuhiro, Higashi Daijiro, Kimura Hideaki, Araki Toshimitsu, Mizushima Tsunekazu, Itabashi Michio, Ueda Takeshi, Koganei Kazutaka, Oba Koji, Ishihara Soichiro, Suzuki Yasuo	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease	Clinical Gastroenterology and Hepatology	18(4)	898-907	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Takashi Ueda, Yoshio Takesue, Kazuhiko Nakajima, Kaoru Ichiki, Kaori Ishikawa, Yoshiko Taka, Kumiko Yamada, Yasunao Wada, Toshie Tsuchida, Naruhito Otani, Yoshiko Takahashi, Mika Ishihara, Sumiyo Shibata, Hiroki Ikeuchi, Motoi Uchino, Takeshi Kimura	Vancomycin loading dose is associated with increased early clinical response without attainment of initial target trough concentration at a steady state in patients with methicillin-resistant Staphylococcus aureus infections	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics	45(4)	682-690	2020
桑原隆一、池内浩基	潰瘍性大腸炎の中毒性巨大結腸症	臨床外科	77(12)	1315-1317	2022
内野基、池内浩基、堀尾勇規、桑原隆一、皆川知洋、楠蔵人、木村慶、片岡幸三、別府直仁、池田正孝	「消化器外科領域における手術部位感染(surgical site infection)を防ぐための周術期代謝栄養管理」-大腸手術-	外科と代謝・栄養	56(5)	176-180	2022
池内浩基、内野基	潰瘍性大腸炎に対する手術適応と手術手技	外科	84(10)	1060-1064	2022
内野基、池内浩基、堀尾祐貴、桑原隆一、皆川知洋、楠蔵人、木村慶、片岡幸三、別府直仁、池田正孝	クローン病に伴う痔瘻はどのように治療するのか?	消化器・肝臓内科	12(2)	129-134	2022
桑原隆一、池内浩基、楠蔵人、皆川知洋、堀尾勇規、木原多佳子、廣田誠一、内野基	直腸肛門管早期癌に対する大腸全摘回腸囊肛門吻合術後に吻合部再発を来した潰瘍性大腸炎の1例	日本消化器外科学会雑誌	55(7)	464-472	2022
桑原隆一、池内浩基、楠蔵人、皆川知洋、堀尾勇規、木村慶、別府直仁、池田正孝、内野基	潰瘍性大腸炎に対する緊急手術 391 例の検討	日本大腸肛門病会誌	75(7)	333-338	2022
池内浩基、内野基	特集 炎症性腸疾患の治療戦略と手術 I. 総論 炎症性腸疾患の外科治療-現状と課題	手術	76(7)	1001-1007	2022
内野基、堀尾勇規、桑原隆一、池内浩基	炎症性腸疾患の外科治療の最新動向	日本臨床	80(3)	470-474	2022
皆川知洋、池内浩基	10 炎症性腸疾患	排泄リハビリテーション 理論と臨床 改訂第2版		208-214	2022
皆川知洋、池内浩基	痔核・裂肛	日本医事新報	5099	41	2022
皆川知洋、池内浩基	痔瘻	日本医事新報	5099	42-43	2022
桑原隆一、池内浩基	クローン病の小腸病変に対する小腸切除術	臨床外科 増刊号	76(11)	76-80	2021
池内浩基、内野基	クローン病患者に合併する大腸癌の特徴と手術治療	Corrent Therapy	39(10)	90-94	2021
内野基、池内浩基	最新のガイドラインからみた IBD 外科治療	IBD Research	15(3)	149-153	2021
内野基、池内浩基	外科手術患者に対する生物学的製剤の実際	腸 INTESTINE	25(3)	291-296	2021
桑原隆一、内野基、池内浩基	J pouch 吻合	手術力が必ず向上する 内視鏡外科 消化器再建術のすべて		217-222	2021
桑原隆一、池内浩基	10. 潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡補助下大腸全摘術の定型化 -回腸囊の作成法を含めて	臨床雑誌 外科	83(10)	1119-1122	2021
内野基、池内浩基	IBD の外科治療を GL から読み解く	日本消化器病学会雑誌	118(7)	628-633	2021
内野基、池内浩基、竹末芳生	消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2018 手術室での S S I 予防対策	OPE nursing 2021	36(6)	63-67	2021
内野基、池内浩基	消化器外科における SSI (手術部位感染) 対策 SSI 予防効果とその他アウトカムのバランス	イザイ	39:	30-34	2021
堀尾勇規、池内浩基、内野基	特集 IBD の診断と治療 10 炎症性腸疾患の外科治療とがんサーベイランス	消化器内科	3(4)	70-76	2021
桑原隆一、池内浩基	クローン病に対する腹腔鏡手術 90 例の検討	兵庫県外科医会誌	55	18-20	2021
池内浩基、内野基	潰瘍性大腸炎における colitis-associated colorectal cancer -外科治療の現状と問題点-	日本消化器病学会雑誌	117(11)	965-970	2020
内野基、池内浩基	炎症性腸疾患の外科治療: 内科と外科のコラボは重要 外科医が内科医に望むことは!	Pharma Media	38(11)	43-47	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
池内浩基、内野基	特集 大腸外科手術におけるトラブルシューティング IV. 炎症性腸疾患手術 1) 潰瘍性大腸炎手術におけるトラブルシューティング	手術	74(8)	1219-1223	2020
内野基、池内浩基	消化管症候群(第3版) III -その他の消化管疾患を含めて- VI 空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸(上) 瘻孔	別冊日本臨床領域別症候群シリーズ	11	261-264	2020
堀尾勇規、池内浩基	V 術後合併症とその管理 5. 内分泌・代謝系副腎不全	消化器外科術前・術後管理必携2020	43(5)	896-898	2020
佐々木寛文、池内浩基	消化管症候群(第3版) III -その他の消化管疾患を含めて- VI 空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸(上) 腸穿孔	別冊日本臨床領域別症候群シリーズ	11	258-260	2020
皆川知洋、池内浩基、内野基	2章 開胸・開腹手術 15 急性腹膜炎手術	消化器ナーシング2020 春季増刊		90-93	2020
皆川知洋、池内浩基、内野基	2章 開胸・開腹手術 16 鼠経ヘルニア手術	消化器ナーシング2020 春季増刊		143-145	2020
Sugimoto S., Iwao Y., Shimoda M., Takabayashi K., Sato T., Kanai T.	Epithelium Replacement Contributes to Field Expansion of Squamous Epithelium and Ulcerative Colitis-Associated Neoplasia	Gastroenterology	162	334-337. e5	2022
Naganuma M., Watanabe K., Motoya S., Ogata H., Matsui T., Suzuki Y., Ursos L., Sakamoto S., Shikamura M., Hori T., Fernandez J., Watanabe M., Hibi T., Kanai T.	Potential benefits of immunomodulator use with vedolizumab for maintenance of remission in ulcerative colitis	J Gastroenterol Hepatol	37	81-88	2022
Limpas Kamiya K. J. L., Hosoe N., Hayashi Y., Kawaguchi T., Takabayashi K., Ogata H., Kanai T.	Video capsule endoscopy in inflammatory bowel disease	DEN Open	2	e26	2022
Hayashi Y., Takabayashi K., Kato M., Tojo A., Aoki Y., Hagihara Y., Yoshida K., Yoshimatsu Y., Kiyohara H., Sugimoto S., Nanki K., Mikami Y., Sujino T., Mutaguchi M., Kawaguchi T., Hosoe N., Yahagi N., Ogata H., Kanai T.	Usefulness of Texture and Color Enhancement Imaging (TXI) in Assessing Mucosal Healing in Patients with Ulcerative Colitis	Gastrointest Endosc	Apr;97(4)	759-766	2023
Takabayashi K, Kato M, Sugimoto S, Kanai T	Texture and Color Enhancement Imaging combination with indigo carmine dye spraying highlighted the border of flat ulcerative colitis-associated neoplasia	Gastrointest Endosc	Jun;95(6)	1273-1275.	2022
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Kanai T	Significance of endoscopic deep small bowel evaluation using balloon-assisted enteroscopy for Crohn's disease in clinical remission	J Gastroenterol	56	25-33. 86.	2021
Hiraide T, Teratani T, Uemura, Kanai T	Pulmonary Arterial Hypertension Caused by AhR Signal Activation Protecting against Colitis	Am J Respir Crit Care Med	203	385-388	2021
Yoshimatsu Y, Naganuma M, Sugimoto S, Kanai T	Development of an Indigo Naturalis Suppository for Topical Induction Therapy in Patients with Ulcerative Colitis	Digestion	101	492-498	2020
Naganuma M, Yokoyama Y, Motoya S, Kanai T	Efficacy of apheresis as maintenance therapy for patients with ulcerative colitis in an open-label prospective multicenter randomised controlled trial	J Gastroenterol	55	390-400	2020
Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, Kanai T	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study	J Gastroenterol	55	169-180	2020
Naganuma M, Kobayashi T, Nasuno M, Kanai T	Significance of Conducting 2 Types of Fecal Tests in Patients With Ulcerative Colitis.	Clin Gastroenterol Hepatol 2020	18	1102-1111. e5	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Mizuno S, Ono K, Mikami Y, <u>Kanai T.</u>	5-Aminosalicylic acid intolerance is associated with a risk of adverse clinical outcomes and dysbiosis in patients with ulcerative colitis.	Intest Res 2020	18	69-78	2020
Asaishi K, Matsui M, Nishikawa H, Goto M, Asai A, Ushiro K, Ogura T, Takeuchi T, <u>Nakamura S,</u> Kakimoto K, Miyazaki T, Fukunishi S, Ohama H, Yokohama K, Yasuoka H, Higuchi K.	Grip Strength in Patients with Gastrointestinal Diseases.	J Clin Med	11(8)	2079	2022
Kinoshita N, Kakimoto K, Shimizu H, Nishida K, Numa K, Kawasaki Y, Tawa H, Nakazawa K, Koshiba R, Hirata Y, Sakiyama N, Koubayashi E, Takeuchi T, Miyazaki T, Higuchi K, <u>Nakamura S,</u> Nishikawa H	Serum IL-13 Predicts Response to Golimumab in Bio-Naïve Ulcerative Colitis.	J Clin Med	11(17)	4952	2022
Nakata S, Kakimoto K, Numa K, Kinoshita N, Kawasaki Y, Tatsumi Y, Tawa H, Koshiba R, Hirata Y, Ota K, Sakiyama N, Kojima Y, Nishikawa H, Inoue T, Takeuchi T, Fukunishi S, Miyazaki T, <u>Nakamura S,</u> Higuchi K.	Risk Factors for Nephrotoxicity due to Tacrolimus Therapy for Ulcerative Colitis.	Digestion	103(5)	339	2022
Tazuke Y, Udagawa E, Mizushima T, <u>Nakamura S,</u> Fernandez J, Okuyama H.	Real-world etiologies and treatments of pediatric short bowel syndrome in Japan	Pediatr Int	64(1)	e15258	2022
Mizushima T, Udagawa E, Hasegawa M, Tazuke Y, Okuyama H, Fernandez J, <u>Nakamura S.</u>	Etiologies and treatments of chronic intestinal failure-short bowel syndrome (SBS) in Japanese adults: a real-world observational study	Surg Today	52(9)	1350	2022
<u>Nakamura S,</u> Wada M, Mizushima T, Sugita A, Tazuke Y, Ohge H, Udagawa E, Suzuki RK, Yoon M, Grimm A, Chen ST, Ikeuchi H.	Efficacy, safety, and pharmacokinetics of teduglutide in adult Japanese patients with short bowel syndrome and intestinal failure: two phase III studies with an extension	Surg Today	53(3)	347	2023
<u>Nakamura S,</u> Asano T, Tsuchiya H, Sugimoto K, Imai Y, Yokoyama S, Suzuki Y.	Real-world data for golimumab treatment in patients with ulcerative colitis in Japan: interim analysis in post-marketing surveillance	Intest Res	20(3)	329	2022
Kakuta Y, Iwaki H, Umeno J, Kawai Y, Kawahara M, Takagawa T, Shimoyama Y, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Watanabe K, <u>Nakamura S,</u> Nakase H, Sasaki M, Hanai H, Fuyuno Y, Hirano A, Matsumoto T, Kudo H, Minegishi N, Nakamura M, Hisamatsu T, Andoh A, Nagasaki M, Tokunaga K, Kinouchi Y, Masamune A; MENDEL Study Group.	Crohn's Disease and Early Exposure to Thiopurines are Independent Risk Factors for Mosaic Chromosomal Alterations in Patients with Inflammatory Bowel Diseases	J Crohns Colitis	16(4)	643	2022
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, Kobayashi T, Saruta M, Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, <u>Nakamura S,</u> Inoue N, Itoh T, Naganuma M, Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020	J Gastroenterol	56(6)	489	2021
Nishikawa H, <u>Nakamura S,</u> Miyazaki T, Kakimoto K, Fukunishi S, Asai A, Nishiguchi S, Higuchi K.	Inflammatory Bowel Disease and Sarcopenia: Its Mechanism and Clinical Importance	J Clin Med	10(18)	4214	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Shinzaki S, Matsuoka K, Tanaka H, Takeshima F, Kato S, Torisu T, Ohta Y, Watanabe K, <u>Nakamura S</u> , Yoshimura N, Kobayashi T, Shiotani A, Hirai F, Hiraoka S, Watanabe M, Matsuura M, Nishimoto S, Mizuno S, Iijima H, Takehara T, Naka T, Kanai T, Matsumoto T.	Leucine-rich alpha-2 glycoprotein is a potential biomarker to monitor disease activity in inflammatory bowel disease receiving adalimumab: PLANET study	J Gastroenterol	56(6)	560	2021
Kobayashi T, Motoya S, <u>Nakamura S</u> , Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T; HAYABUSA Study Group.	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial	Lancet Gastroenterol Hepatol	6(6)	429	2021
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, <u>Nakamura S</u> , Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M.	Intestinal cancer in patients with Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis	J Gastroenterol Hepatol	36(2)	329	2021
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, <u>Nakamura S</u> , Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M.	Does anti-tumor necrosis factor alpha prevent the recurrence of Crohn's disease? Systematic review and meta-analysis	J Gastroenterol Hepatol	36(4)	864	2021
Watanabe C, Nagahori M, Fujii T, Yokoyama K, Yoshimura N, Kobayashi T, Yamagami H, Kitamura K, Takashi K, <u>Nakamura S</u> , Naganuma M, Ishihara S, Esaki M, Yonezawa M, Kunisaki R, Sakuraba A, Kuji N, Miura S, Hibi T, Suzuki Y, Hokari R.	Non-adherence to Medications in Pregnant Ulcerative Colitis Patients Contributes to Disease Flares and Adverse Pregnancy Outcomes	Dig Dis Sci	66(2)	577	2021
Miyazaki T, Watanabe K, Kojima K, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Hida N, <u>Nakamura S</u> .	Efficacies and Related Issues of Ustekinumab in Japanese Patients with Crohn's Disease: A Preliminary Study	Digestion	101(1)	53	2020
Morita Y, Imai T, Bamba S, Takahashi K, Inatomi O, Miyazaki T, Watanabe K, <u>Nakamura S</u> , Yoshida A, Endo Y, Ohmiya N, Tsujikawa T, Andoh A.	Clinical relevance of innovative immunoassays for serum ustekinumab and anti-ustekinumab antibody levels in Crohn's disease	J Gastroenterol Hepatol	35(7)	1163	2020
Kakimoto K, Matsuura M, Fukuchi T, Hongo H, Kimura T, Aoyama N, Okuda Y, Aomatsu K, Kamata N, Yokoyama Y, Mizuno C, Inoue T, Miyazaki T, <u>Nakamura S</u> , Higuchi K, Nakase H.	Exploratory Study of the Effectiveness of Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis Before Initiation of Steroids in Patients With Active Ulcerative Colitis (EXPECT Study): A Multicenter Prospective Clinical Trial	Crohns Colitis	2(4)	otaa073	2022
Kojima K, Sato T, Uchino M, Yokoyama Y, Takagawa T, Ohda Y, Hida N, Watanabe K, Hori K, Miwa H, Ikeuchi H, <u>Nakamura S</u> , Shimizu M.	Clinical Characteristics and Risk Factors for Pneumocystis Jirovecii Pneumonia during Immunosuppressive Treatment in Patients with Ulcerative Colitis: A Retrospective Study	J Gastrointestin Liver Dis	29(2)	167	2020
柿本一城, 木下直彦, 小良司, 宮寄孝子, <u>中村志郎</u>	【潰瘍性大腸炎 内科診療の即戦力を身につける!-急増する患者の日常診療に求められる必須アップデート-】 Option治療 難治例に対するカルシニューリン阻害剤/血球成分除去療法のベストユース(解説)	消化器内科	4(6)	59-65	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
柿本一城, 沼圭二郎, 平田有基, 中村志郎, 樋口和秀	【小腸疾患-診断・治療の最新動向-】血行障害・血管性病変 血管炎症候群 多発血管炎性肉芽腫症(解説)	日本臨床	80(増刊7)	282-287	2022
中村志郎, 宮寄孝子, 柿本一城, 平田有基	【Evidence & Consensusで押さえる IBDの治療薬 最新版】基本薬 5-ASA製剤の使い分け(解説)	薬事	64(12)	2464-2471	2022
中村志郎, 宮寄孝子, 柿本一城, 平田有基, 碓山直邦, 小柴良司, 峠英樹, 中沢啓, 川崎裕香, 木下直彦, 沼圭次朗, 山口亮介, 清水光, 西田光志, 西川浩樹	【潰瘍性大腸炎内科診療の新時代】基本治療薬と投与上の注意点(解説)	医学と薬学	79(11)	469-1477	2022
中村志郎, 宮寄孝子, 柿本一城, 平田有基, 碓山直邦, 小柴良司, 峠英樹, 中沢啓, 川崎裕香, 木下直彦, 沼圭次朗, 山口亮介, 清水光, 西田光志, 西川浩樹	クローン病に伴う短腸症候群への対応・治療法はどのようなものがあるのか(解説)	消化器・肝臓内科	12(4)	442-450	2022
中村志郎, 平田有基, 宮寄孝子, 柿本一城	【IBDの既存治療を最新の知見から見直す!】IBDの既存治療 総論(解説)	IBD Research	16(4)	206-213	2022
柿本一城, 木下直彦, 小柴良司, 宮寄孝子, 中村志郎	【潰瘍性大腸炎 内科診療の即戦力を身につける!-急増する患者の日常診療に求められる必須アップデート-】Option治療 難治例に対するカルシニューリン阻害剤/血球成分除去療法のパフォーマンス	消化器内科	4(6)	59-65	2022
中村志郎, 宮寄孝子, 柿本一城, 平田有基, 碓山直邦, 小柴良司, 木下直彦, 川崎裕香, 沼圭二郎	【炎症性腸疾患の分子標的治療を総括する】炎症性腸疾患の内科治療指針を総括する(解説)	Intestine	25(3)	245	2021
平井郁仁 仲瀬裕志, 久松理一, 中村志郎, 渡辺憲治	炎症性腸疾患診療の現状と課題 IBD診療ガイドラインの考察を含めて(座談会)	nihonn 消化器病学会雑誌	118(7)	634	2021
中村志郎, 柿本一城	【炎症性腸疾患-炎症性腸疾患の病態と変わりゆく治療戦略】実地医家が理解すべき疾患背景と診療のプロセス 炎症性腸疾患とはどのような疾患で、どのような症状をみたら疑い、診断するのか?そして専門医紹介はどのタイミングで行うのか?	Medical Practice	37(12)	1819	2020
中村志郎, 樋田信幸, 渡辺憲治, 宮寄孝子, 高川哲也, 横山陽子, 上子鶴孝二, 河合幹夫, 佐藤寿行, 藤本晃士, 小柴良司, 小島健太郎, 木下直彦, 賀来宏司	【新薬で変わるか?クローン病薬物治療】クローン病 薬物療法のストラテジー	消化器の臨床	23(1)	11	2020
Hayashi Y, Takabayashi K, Kato M, Tojo A, Aoki Y, Hagihara Y, Yoshida K, Yoshimatsu Y, Kiyohara H, Sugimoto S, Nanki K, Mikami Y, Sujino T, Mutaguchi M, Kawaguchi T, Hosoe N, Yahagi N, Ogata H, Kanai T.	Usefulness of texture and color enhancement imaging in assessing mucosal healing in patients with ulcerative colitis.	Gastrointest Endosc. 2023	Apr:97(4):	759-766	2023
Yoshimatsu Y, Sujino T, Miyamoto K, Harada Y, Tanemoto S, Ono K, Umeda S, Yoshida K, Teratani T, Suzuki T, Mikami Y, Nakamoto N, Sasaki N, Takabayashi K, Hosoe N, Ogata H, Sawada K, Imamura T, Yoshimura A, Kanai T.	Aryl hydrocarbon receptor signals in epithelial cells govern the recruitment and location of Helios+ Tregs in the gut.	Cell Rep. 2022	May 10;39(6)		2022
Harada Y, Sujino T, Miyamoto K, Nomura E, Yoshimatsu Y, Tanemoto S, Umeda S, Ono K, Mikami Y, Nakamoto N, Takabayashi K, Hosoe N, Ogata H, Ikenoue T, Hirao A, Kubota Y, Kanai T.	Intracellular metabolic adaptation of intraepithelial CD4+CD8 α ⁺ T lymphocytes.	iScience. 2022	Mar 4;25(4):104021		2022
Aoki Y, Sujino T, Kawaguchi T, Sugimoto S, Shimada F, Yoshimatsu Y, Kiyohara H, Nanki K, Mikami Y, Takabayashi K, Hosoe N, Ogata H, Iwao Y, Kanai T.	Effectiveness and Durability of Ustekinumab Therapy With or Without Immunomodulators for Ulcerative Colitis Patients in Japan.	Crohns Colitis 360.	Mar 21;4(2):otac01		2022
Limpas Kamiya KJL, Hosoe N, Hayashi Y, Kawaguchi T, Takabayashi K, Ogata H, Kanai T.	Video capsule endoscopy in inflammatory bowel disease.	DEN Open.	Aug 16;2(1).	e26	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Sugimoto S, Iwao Y, Shimoda M, Takabayashi K, Sato T, Kanai T; Keio IBD Collaborators.	Epithelium Replacement Contributes to Field Expansion of Squamous Epithelium and Ulcerative Colitis-Associated Neoplasia.	Gastroenterology.	Jan 162(1)	334-337. e5	2022
Takabayashi K, Kato M, Sasaki M, Iwao Y, <u>Ogata H</u> , Kanai T, Yahagi N.	Underwater endoscopic mucosal resection for a sporadic adenoma located at severe longitudinal ulcer scars in ulcerative colitis.	Endoscopy.	Jan ;54(1)	E30-E31	2022
Hayashi Y, Takabayashi K, Hosoe N, Kiyohara H, Kinoshita S, Nanki K, Fukuhara K, Mikami Y, Sujino T, Mutaguchi M, Kawaguchi T, Kato M, <u>Ogata H</u> , Kanai T.	Predictors of necessity for endoscopic balloon dilatation in patients with Crohn's disease-related small bowel stenosis.	Ann Med.	Dec. 53(1)	2025-2033	2021
<u>Ogata H</u> , Hagiwara T, Kawaberi T, Kobayashi M, Hibi T.	Safety and effectiveness of adalimumab in the treatment of ulcerative colitis: results from a large-scale, prospective, multicenter, observational study	Intest Res.	Oct 19(4)	419-429.	2021
Nomura E, Sujino T, Hosoe N, Yoshimatsu Y, Tanemoto S, Takabayashi K, Mutaguchi M, Shimoda M, Naganuma M, <u>Ogata H</u> , Kanai T.	Characteristics of the Mucosal Surface on Scanning Electron Microscopy in Patients with Remitting Ulcerative Colitis.	Dig Dis Sci.	Sep 66(9)	3141-3148	2021
Hosoe N, Limpas Kamiya KJL, Hayashi Y, Sujino T, <u>Ogata H</u> , Kanai T.	Current status of colon capsule endoscopy.	Dig Endosc.	May 33(4)	529-537	2021
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Nanki K, Fukuhara K, Mikami Y, Mizuno S, Sujino T, Mutaguchi M, Naganuma M, Yahagi N, <u>Ogata H</u> , Kanai T.	Significance of endoscopic deep small bowel evaluation using balloon-assisted enteroscopy for Crohn's disease in clinical remission.	J Gastroenterol.	Jan 56(1)	:25-33	2021
Fukuda T, Naganuma M, Takabayashi K, Hagiwara Y, Tanemoto S, Nomura E, Yoshimatsu Y, Sugimoto S, Nanki K, Mizuno S, Mikami Y, Fukuhara K, Sujino T, Mutaguchi M, Inoue N, <u>Ogata H</u> , Iwao Y, Abe T, Kanai T.	Mucosal concentrations of N-acetyl-5-aminosalicylic acid related to endoscopic activity in ulcerative colitis patients with mesalamine.	J Gastroenterol Hepatol.	Nov;35(11)	1878-1885	2020
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Miyanaga R, Nanki K, Fukuhara K, Mikami Y, Mizuno S, Sujino T, Mutaguchi M, Naganuma M, Yahagi N, <u>Ogata H</u> , Kanai T.	Efficacy of Novel Ultrathin Single-Balloon Enteroscopy for Crohn's Disease: A Propensity Score-Matched Study.	Gut Liver.	Sep 15;14(5)	619-625	2020
Hosoe N, Hayashi Y, <u>Ogata H</u> .	Colon Capsule Endoscopy for Inflammatory Bowel Disease.	Clin Endosc.	Sep;53(5)	550-554	2020
Shor J, Miyatani Y, Arita E, Chen P, Ito Y, Kayama H, Reiter J, Kobayashi K, <u>Kobayashi T</u> .	Reducing Health Anxiety in Patients With Inflammatory Bowel Disease Using Video Testimonials: Pilot Assessment of a Video Intervention.	JMIR Formative Research	Feb9 (7)	e39945	2023
Allez M, Sands B, Feagan B, D' Haens G, De Hertogh G, Randall C, Zou B, Johans J, O'Brien C, Curran M, Rebuck R, Wang ML, Sabins N, Baker T, <u>Kobayashi T</u> .	A Phase 2b, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-arm, Multicenter Study Evaluating the Safety and Efficacy of Tesnatilimab in Patients With Moderately to Severely Active Crohn's Disease.	Pharmacoeconomics		Online ahead of print.	2023
<u>Kobayashi T</u> , Hoshi M, Yuasa A, Ikeda M, Matsuda H, Kim SW, Hibi T	Cost-Effectiveness Analysis of Tofacitinib Compared with Biologics in Biologic-Naïve Patients with Moderate-to-Severe Ulcerative Colitis in Japan.	J Crohns Colitis.		Online ahead of print.	2023
Caron B, Jairath V, D' Amico F, Awadhi SA, Dignass A, Hart A, <u>Kobayashi T</u> , Kotze PG, Magro F, Siegmund B, Paridaens K, Danese S, Peyrin-Biroulet L.	International Consensus on Definition of Mild-to-Moderate Ulcerative Colitis Disease Activity in Adult Patients.	Medicina	Jan 16;59(1)	183	2023
Miyatani T, <u>Kobayashi T</u> .	Evidence-Based Approach to the Discontinuation of Immunomodulators or Biologics in Inflammatory Bowel Disease.	Digestion	104(1)	66-73.	2023

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Miyatani T, <u>Kobayashi T</u> .	De-escalation of Therapy in Patients with Quiescent Inflammatory Bowel Disease.	Gut Liver	15:17(2)	181-189	2023
<u>Kobayashi T</u> and Hibi T	Improving IBD outcomes in the era of many treatment options.	Nat Rev Gastroenterol Hepatol.	Mar;20(3)	195	2022
Matsuoka K, Fujii T, Okamoto R, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Watanabe K, Shiga H, Takatsu N, Bamba S, Mikami Y, Yamamoto T, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, <u>Kobayashi T</u> , Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, Matsumoto T, Nakase H, Maemoto A, Shinzaki S, Murata Y, Yoshigoe S, Sasaki A, Yajima T, Hisamatsu T.	Characteristics of adult patients newly diagnosed with Crohn's disease: interim analysis of the nation-wide inception cohort registry study of patients with Crohn's disease in Japan (iCREST-CD).	J Gastroenterol	Nov:57(11)	867-878	2022
Hojo A, <u>Kobayashi T</u> , Matsubayashi M, Morikubo H, Miyatani Y, Fukuda T, Asonuma K, Sagami S, Nakano M, Matsuda T, and Hibi T.	Usefulness of colestimide for diarrhea in post-operative Crohn's disease.	J Gastroenterol Hepatol Open	14:6(8)	547-553	2022
Okabayashi S, Yamazaki H, Tominaga K, Miura M, Sagami S, Matsuoka K, Yamaguchi Y, Noake T, Ozeki K, Miyazaki R, Kamano T, Fukuda T, Yoshioka K, Ando K, Fukuzawa M, Andoh A, Yamamoto Y, Hibi T, <u>Kobayashi T</u> , IBD Terakoya Group.	Lower effectiveness of intravenous steroid treatment for moderate-to-severe ulcerative colitis in hospitalised patients with older onset: A multicentre cohort study	Alimentary Pharmacology & Therapeutics	Jun:55(12)	1569-1580	2022
Sagami S, <u>Kobayashi T</u> , Aihara K, Umeda M, Odajima K, Morikubo H, Asonuma K, Miyatani Y, Fukuda T, Matsubayashi M, Kiyohara H, Nakano M, Hibi T. Early improvement in bowel wall thickness on transperineal ultrasonography predicts treatment success in active ulcerative colitis.	Early improvement in bowel wall thickness on transperineal ultrasonography predicts treatment success in active ulcerative colitis.	Alimentary Pharmacology & Therapeutics	May:55(10)	1320-1329	2022
Ben-Horin S, Novack L, Mao R, Guo J, Zhao Y, Sergienko R, Zhang J, <u>Kobayashi T</u> , Hibi T, Chowers Y, Peyrin-Biroulet L, Colombel JF, Kaplan GG, Chen M.	Efficacy of biologic drugs in short-duration versus long-duration inflammatory bowel disease: A systematic review and an individual-patient data meta-analysis of randomized controlled trials.	Gastroenterology	Feb:162(2)	482-494	2022
<u>Kobayashi T</u> (Corresponding author), Udagawa E, Hibi T.	Lack of Increased Risk of Lymphoma with Thiopurine Therapy Regardless of Dose and Duration of Treatment in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Diseases.	Digestion	103(2)	169-173	2022
Vermeire S, D' Haens G, Baert F, Danese S, <u>Kobayashi T</u> , Loftus Jr E V, Bhatia S, Agboton C, Rosario M, Chen C, Zhang W, Kisfalvi K, Sandborn W J.	Efficacy and Safety of Subcutaneous Vedolizumab in Patients With Moderately to Severely Active Crohn's Disease: Results From the VISIBLE 2 Randomised Trial.	Journal of Crohn's and Colitis.	Jan 28:16(1)	27-38	2022
Papamichael K, Afif W, Drobne D, Dubinsky M, Ferrante M, Irving PM, Kamperidis N, <u>Kobayashi T</u> , Kotze P, Lambert J, Noor N, Roblin X, Roda G, Vande Casteele N, Yarur AJ, Arebi N, Danese S, Paul S, Sandborn WJ, Vermeire S, Cheifetz AS, Peyrin-Biroulet Lon behalf of spECTRUM.	Therapeutic drug monitoring of biologics in inflammatory bowel disease: unmet needs and future perspectives.	Lancet Gastroenterol Hepatol	Feb:7(2)	171-185	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Asonuma K, <u>Kobayashi T</u> , Nakano M, Sagami S, Kiyohara H, Matsubayashi M, Morikubo H, Miyatani Y, Okabayashi S, Yamazaki H, Kuroki Y, Hibi T.	Residual Short-Segment Distal Inflammation Has No Significant Impact on the Major Relapse of Extensive Ulcerative Colitis.	Inflamm Bowel Dis.	Feb 1:28(2)	200-207	2022
Suzuki K, Kakuta Y, Naito T, Takagawa T, Hanai H, Araki H, Sasaki Y, Sakuraba H, Sasaki M, Hisamatsu H, Motoya S, Matsumoto T, Onodera M, Ishiguro Y, Nakase H, Andoh A, Hiraoka S, Shinozaki M, Fujii T, Katsurada T, <u>Kobayashi T</u> , Fujiya M, Otsuka T, Oshima N, Suzuki Y, Sato Y, Hokari R, Noguchi M, Ohta Y, Matsuura M, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kudo H, Minegishi N, Okamoto D, Shimoyama Y, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Dalin Li, Dermot P B McGovern, Kinouchi Y, Masamune A, MENDEL study group.	Genetic Background of Mesalamine-induced Fever and Diarrhea in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Inflamm Bowel Dis.	Jan 5:28(1)	21-31	2022
Okabayashi S, Yamazaki H, Yamamoto R, Anan K, Matsuoka K, <u>Kobayashi T</u> , Shinzaki S, Honzawa Y, Kataoka Y, Tsujimoto Y, Watanabe N.	Certolizumab pegol for maintenance of remission in Crohn's disease.	Cochrane Database of Systematic Reviews	Jun 30:6(6)	CD013747	2022
Olivera P, Zuily S, Kotze P, Regnault V, Al Awadhi S, Bossuyt P, Garry R, Ghosh S, <u>Kobayashi T</u> , Lacolley P, Louis E, Magro F, Ng S, Papa A, Raine T, Teixeira F, Rubin D, Danese S, and Laurent Peyrin-Biroulet.	International Consensus on the Prevention of Venous and Arterial Thrombotic Events in Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Nature Reviews Gastroenterology and Hepatology	Dec:18(12)	857-873	2021
Toyonaga T, <u>Kobayashi T</u> , Kuronuma S, Ueno A, Kiyohara H, Okabayashi S, Takeuchi O, Redfern CPF, Terai H, Ozaki R, Sagami S, Nakano M, Coulthard SA, Tanaka Y, Hibi T.	Increased DNA-incorporated thiopurine metabolite as a possible mechanism for leukocytopenia through cell apoptosis in inflammatory bowel disease patients with NUDT15 mutation.	J Gastroenterol	Nov:56(11)	999-1007	2021
D'Amico F, Rubin DT, Kotze PG, Magro F, Siegmund B, <u>Kobayashi T</u> , Olivera PA, Bossuyt P, Pouillon L, Louis E, Domènech E, Ghosh S, Danese S, Peyrin-Biroulet L.	International consensus on methodological issues in standardization of fecal calprotectin measurement in inflammatory bowel diseases.	United European Gastroenterol J.	May:9(4)	451-460	2021
<u>Kobayashi T</u> (Corresponding author).	Stopping anti-TNF in CD remitters: Cons.	Inflammatory Intestinal Diseases	Aug 10:7(1)	59-63	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, <u>Kobayashi T</u> , Saruta M, Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, Naganuma M, Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020	J Gastroenterol.	Jun:56(6)	489-526	2021
<u>Kobayashi T</u> [corresponding author], Ito H, Ashida T, Yokoyama T, Nagahori M, Inaba T, Shikamura M, Yamaguchi T, Hori T, Pinton P, Watanabe M, Hibi T.	Efficacy and safety of a new vedolizumab subcutaneous formulation in Japanese patients with moderately to severely active ulcerative colitis.	Intest Res	Oct:19(4)	448-460	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Shen B, Kochhar GS, Navaneethan U, Cross RK, Farraye FA, Iacucci M, Schwartz DA, Gonzalez-Lama Y, Schairer J, Kiran RP, Kotze PG, Kobayashi T, Bortlik M, Liu X, Levy AN, González Suárez B, Tang SJ, Coelho-Prabhu N, Lukas M, Bruining DH, El-Hachem S, Charles RJ, Chen Y, Sood A, Mao R, Loras C, Dulai PS, Picoraro JA, Chiorean M, Lukas M, Shergill A, Silverberg MS, Sandborn WJ, Bernstein CN.	Endoscopic evaluation of surgically altered bowel in inflammatory bowel disease: a consensus guideline from the Global Interventional Inflammatory Bowel Disease Group.	Lancet Gastroenterol Hepatol	Jun;6(6)	482-497	2021
Shinzaki S, Matsuoka K, Tanaka H, Takeshima F, Kato S, Torisu T, Ohta Y, Watanabe K, Nakamura S, Yoshimura N, Kobayashi T, Shiotani A, Fumihito H, Hiraoka S, Watanabe M, Matsuura M, Nishimoto S, Mizuno S, Iijima H, Takehara T, Naka T, Kanai T, Matsumoto T.	Leucine-rich alpha-2 glycoprotein is a potential biomarker to monitor disease activity in inflammatory bowel disease receiving adalimumab: PLANET study.	J Gastroenterol	Jun;56(6)	560-569	2021
Morikubo H, Kobayashi T, Ozaki R, Okabayashi S, Kuronuma S, Takeuchi O, Shiba T, Kiyohara H, Matsubayashi M, Sagami S, Nakano M, Ikezaki O, Hisamatsu T, Tanaka Y, Hibi T.	Differential effects of mesalazine formulations on thiopurine metabolism through thiopurine S-methyltransferase inhibition.	J Gastroenterol Hepatol	Aug;36(8)	2116-2124	2021
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, on behalf of the HAYABUSA Study Group.	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial.	The Lancet Gastroenterology & Hepatology	Jun;6(6)	429-437	2021
Yoshihara T, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, Takehara T, Inoue N, Uchino M, Esaki M, Kobayashi T, Saruta M, Sugimoto K, Nakamura S, Hata K, Hirai F, Hiraoka S, Fujii T, Matsuura M, Matsuoka K, Watanabe K, Nakase H, Watanabe M.	Concomitant use of an immunomodulator with ustekinumab as an induction therapy for Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol.	Jul;36(7)	1744-1753	2021
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M.	Does anti-tumor necrosis factor alpha prevent the recurrence of Crohn's disease? Systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol.	Apr;36(4)	864-872	2021
Sagami S, Kobayashi T [corresponding author], Miyatani Y, Okabayashi S, Yamazaki H, Kinoshita K, Alocca M, Kunisaki R, Ramaswamy PK, Shiraki M, Hibi T, Kataoka Y.	Accuracy of Ultrasound for Evaluation of Colorectal Segments in Patients with Inflammatory Bowel Diseases: Systematic Review and Meta-analysis.	Clin Gastroenterol Hepatol	May;19(5)	908-921	2021
Matsubayashi M, Kobayashi T [corresponding author], Okabayashi S, Nakano M, Sagami S, Ozaki R, Kiyohara H, Morikubo H, Asonuma K, Miyatani Y, Maeda S, Hibi T	Determining the usefulness of Capsule Scoring of Ulcerative Colitis in predicting relapse of inactive ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol.	Apr;36(4)	943-950	2021
Vermeire S, Su C, Lawendy N, Kobayashi T, Sandborn WJ, Rubin DT, Modesto I, Gardiner S, Kulisek N, Zhang H, Wang W, Panés J.	Outcomes of Tofacitinib Dose Reduction in Patients with Ulcerative Colitis in Stable Remission from the Randomized RIVETING Trial.	J Crohns Colitis.	Jul 5;15(7)	1130-1141.	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, on behalf of the HAYABUSA Study Group	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial	The Lancet Gastroenterology & Hepatology	Jun;6(6)	429-437	2021
Crooks B, McLaughlin J, Matsuoka K, Kobayashi T, Yamazaki H, Limdi k J	The dietary practices and beliefs of people living with inactive ulcerative colitis	Eur J Gastroenterol Hepatol	33(3)	372-379	2021
Kita T, Ashizuka S, Ohmiya N, Yamamoto T, Kanai T, Motoya S, Hirai F, Nakase H, Moriyama T, Nakamura M, Suzuki Y, Kanmura S, Kobayashi T, Ohi H, Nozaki R, Mitsuyama K, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Hibi T, Kitamura K.	Adrenomedullin for steroid-resistant ulcerative colitis: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase-2a clinical trial.	J Gastroenterol	56(2)	147-157	2021
Suzuki K, Kakuta Y, Naito T, Takagawa T, Hanai H, Araki H, Sasaki Y, Sakuraba H, Sasaki M, Hisamatsu H, Motoya S, Matsumoto T, Onodera M, Ishiguro Y, Nakase H, Andoh A, Hiraoka S, Shinozaki M, Fujii T, Katsurada T, Kobayashi T, Fujiya M, Otsuka T, Oshima N, Suzuki Y, Sato Y, Hokari R, Noguchi M, Ohta Y, Matsuura M, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kudo H, Minegishi N, Okamoto D, Shimoyama Y, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Dalin Li, Dermot P B McGovern, Kinouchi Y, Masamune A, MENDEL study group.	Genetic Background of Mesalamine-induced Fever and Diarrhea in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Inflamm Bowel Dis	Jan 5:28(1)	21-31	2021
Watanabe C, Nagahori M, Fujii T, Yokoyama K, Yoshimura N, Kobayashi T, Yamagami H, Kitamura K, Takashi K, Nakamura S, Naganuma M, Ishihara S, Esaki M, Yonezawa M, Kunisaki R, Sakuraba A, Kuji N, Miura S, Hibi T, Suzuki Y, Hokari R.	Non-adherence to Medications in Pregnant Ulcerative Colitis Patients Contributes to Disease Flares and Adverse Pregnancy Outcomes.	Dig Dis Sci.	Feb;66(2)	577-586	2021
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M.	Intestinal cancer in patients with Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol.	Feb;36(2)	329-336	2021
Okabayashi S, Kobayashi T, Hibi T	Inflammatory Bowel Disease in Japan-Is It Similar to or Different from Westerns?-	J Anus Rectum Colon.	30;4(1)	1-13	2020
Sagami S, Kobayashi T, Aihara K, Umeda M, Morikubo H, Matsubayashi M, Kiyohara H, Nakano M, Ohbu M, Hibi T	Transperineal Ultrasound Predicts Endoscopic and Histological Healing in Ulcerative Colitis	Aliment Pharmacol Ther	51(12)	1373-1383.	2020
Kobayashi T, Siegmund B, Le Berre C, Wei SC, Ferrante M, Shen B, Bernstein CN, Danese S, Peyrin-Biroulet L, and Hibi T.	Ulcerative colitis.	Nature Rev Dis Primers.	Sep 10;6(1)	74	2020
Matsubayashi M, Kobayashi T, Okabayashi S, Nakano M, Sagami S, Ozaki R, Kiyohara H, Morikubo H, Asonuma K, Miyatani Y, Maeda S, Hibi T	Determining the usefulness of Capsule Scoring of Ulcerative Colitis in predicting relapse of inactive ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol.	Apr;36(4)	943-950	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Sagami S, Kobayashi T, Miyatani Y, Okabayashi S, Yamazaki H, Kinoshita K, Alocca M, Kunisaki R, Ramaswamy PK, Shiraki M, Hibi T Kataoka Y.	Accuracy of Ultrasound for Evaluation of Colorectal Segments in Patients With Inflammatory Bowel Diseases: Systematic Review and Meta-analysis.	Clin Gastroenterol Hepatol	May;19(5)	908-921	2021
Kobayashi T, Ito H, Ashida T, Yokoyama T, Nagahori M, Inaba T, Shikamura M, Yamaguchi T, Hori T, Pinton P, Watanabe M, Hibi T.	Efficacy and safety of a new vedolizumab subcutaneous formulation in Japanese patients with moderately to severely active ulcerative colitis.	Intest Res	Oct;19(4)	448-460	2021
Nakase H, Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, Saruta M, Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, Hisamatsu T.	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey	Journal of Gastroenterology	58	205-216	2022
Ohmiya N, Hirata I, Sakamoto H, Morishita T, Saito E, Matsuoka K, Nagaya T, Nagata S, Mukae M, Sano K, Suzuki T, Tarumi KI, Shimizu S, Kawashima K, Hibi T; Intractable Diseases, the Health and Labour Sciences Research Group.	Multicenter epidemiological survey of pneumatosis intestinalis in Japan	BMC Gastroenterology	22	272-279	2021
Matsuoka K, Igarashi A, Sato N, Isono Y, Gouda M, Iwasaki K, Shoji A, Hisamatsu T.	Trends in corticosteroid prescriptions for ulcerative colitis and factors associated with long-term corticosteroid use: analysis using Japanese claims data from 2006 to 2016	Journal of Crohn's and Colitis	15	358-366	2021
Ran Z, Wu K, Matsuoka K, Jeen YT, Wei SC, Ahuja V, Chen M, Hu PJ, Andoh A, Kim HJ, Yang SK, Watanabe M, Ng SC, Hibi T, Hilmi IN, Suzuki Y, Han DS, Leung WK, Sollano J, Ooi CJ, Qian J.	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology practice recommendations for medical management and monitoring of inflammatory bowel disease in Asia.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	36	637-645	2021
Yoshihara T, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, Takehara T, Inoue N, Uchino M, Esaki M, Kobayashi T, Saruta M, Sugimoto K, Nakamura S, Hata K, Hirai F, Hiraoka S, Fujii T, Matsuura M, Matsuoka K, Watanabe K, Nakase H, Watanabe M.	Concomitant use of an immunomodulator with ustekinumab as an induction therapy for Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis	Journal of Gastroenterology and Hepatology	36	1744-1756	2021
Yamamoto T, Nakase H, Watanabe K, Shinzaki S, Takatsu N, Fujii T, Okamoto R, Matsuoka K, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Shiga H, Bamba S, Mikami Y, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, Matsumoto T, Maemoto A, Murata Y, Yoshigoe S, Nagasaka S, Yajima T, Hisamatsu T; iCREST-CD Study Group.	Diagnosis and Clinical Features of Perianal Lesions in Newly Diagnosed Crohn's Disease: Subgroup Analysis from Inception Cohort Registry Study of Patients with Crohn's Disease (iCREST-CD).	J Crohns Colitis	2023 Mar 4:jjad038. doi: 10.1093/ecco-jcc/jjad038. Epub ahead of print. PMID: 36869815.		2023
Nakase H, Esaki M, Hirai F, Kobayashi T, Matsuoka K, Matsuura M, Naganuma M, Saruta M, Tsuchiya K, Uchino M, Watanabe K, Hisamatsu T; TRADE consensus group.	Treatment escalation and de-escalation decisions in Crohn's disease: Delphi consensus recommendations from Japan, 2021.	Gastroenterol	2023 Feb 11. doi: 10.1007/s00535-023-01958-z. Epub ahead of print. PMID: 36773075.		2023

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Nakase H, Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, <u>Saruta M</u> , Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, Hisamatsu T.	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey.	J Gastroenterol.	2023 Jan 6:1-12. doi: 10.1007/s00535-022-01949-6. Epub ahead of print. PMID: 36607399; PMCID: PMC9821342.		2023
Hibi T, Motoya S, Hisamatsu T, Hirai F, Watanabe K, Matsuoka K, <u>Saruta M</u> , Kobayashi T, Feagan BG, Tasset C, Besuyen R, Yun C, Crans G, Zhang J, Kondo A, Watanabe M.	Efficacy and safety of filgotinib as induction and maintenance therapy for Japanese patients with moderately to severely active ulcerative colitis: a post-hoc analysis of the phase 2b/3 SELECTION trial.	Intest Res	21(1)	110-125	2023
Sakurai T, <u>Saruta M</u> .	Positioning and Usefulness of Biomarkers in Inflammatory Bowel Disease.	Digestion	104(1)	30-41	2023
Esaki M, <u>Saruta M</u> .	Recent Topics in the Pathophysiology and Medical Management of Inflammatory Bowel Disease.	Digestion	104(1)	5-6	2023
Akita Y, Higashiyama M, Kurihara C, Ito S, Nishii S, Mizoguchi A, Inaba K, Tanemoto R, Sugihara N, Hanawa Y, Wada A, Horiuchi K, Okada Y, Narimatsu K, Komoto S, Tomita K, Takei F, Satoh Y, <u>Saruta M</u> , Hokari R.	Ameliorating Role of Hydrogen-Rich Water Against NSAID-Induced Enteropathy via Reduction of ROS and Production of Short-Chain Fatty Acids.	Dig Dis Sci	2022 Dec 7:1-11. doi: 10.1007/s10620-022-07781-5. Epub ahead of print. PMID: 36478314; PMCID: PMC9734488.		2022
Matsuoka K, Fujii T, Okamoto R, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Watanabe K, Shiga H, Takatsu N, Bamba S, Mikami Y, Yamamoto T, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, <u>Saruta M</u> , Matsuda K, Matsumoto T, Nakase H, Maemoto A, Shinzaki S, Murata Y, Yoshigoe S, Sasaki A, Yajima T, Hisamatsu T.	Characteristics of adult patients newly diagnosed with Crohn's disease: interim analysis of the nation-wide inception cohort registry study of patients with Crohn's disease in Japan (iCREST-CD).	J Gastroenterol	57(11)	867-878	2022
Matsuoka K, Watanabe M, Ohmori T, Nakajima K, Ishida T, Ishiguro Y, Kanke K, Kobayashi K, Hirai F, Watanabe K, Mizusawa H, Kishida S, Miura Y, Ohta A, Kajioka T, Hibi T; <u>AJM300 Study Group</u> .	AJM300 (carotegrast methyl), an oral antagonist of $\alpha 4$ -integrin, as induction therapy for patients with moderately active ulcerative colitis: a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 study.	Lancet Gastroenterol Hepatol	7(7)	648-657	2022
Kita T, Ashizuka S, Takeda T, Matsumoto T, Ohmiya N, Nakase H, Motoya S, Ohi H, Mitsuyama K, Hisamatsu T, Kanmura S, Kato N, Ishihara S, Nakamura M, Moriyama T, <u>Saruta M</u> , Nozaki R, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Kitamura K.	Adrenomedullin for biologic-resistant Crohn's disease: A randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2a clinical trial.	J Gastroenterol Hepatol	37(11)	2051-2059	2022
Ohtaki Y, Uchiyama K, Kamiya H, Moriizumi E, Yamada M, Aoki Y, Watanabe T, Kiryu S, Suzuki S, Matsumoto Y, Ito Z, Ohkusa T, Koido S, <u>Saruta M</u> .	The insoluble excretion of multi-matrix system mesalazine preparations in patients with ulcerative colitis.	BMC Gastroenterol	22(1)	390	2023
Miyazaki R, Sakurai T, Shimada M, Iwashita Y, Shibuya N, Akita Y, Miyashita H, Maruyama Y, <u>Saruta M</u> .	Bowel frequency (night) and urgent defecation are improved by budesonide foam in patients with ulcerative colitis: a retrospective observational study.	BMC Gastroenterol	22(1)	310	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Koido S, Horiuchi S, Kan S, Bito T, Ito Z, Uchiyama K, <u>Saruta M</u> , Sato N, Ohkusa T.	The stimulatory effect of fusobacteria on dendritic cells under aerobic or anaerobic conditions.	Sci Rep	12(1)	10698	2022
Nakase H, Hayashi Y, Hirayama D, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Abukawa D, Hisamatsu T; J-COSMOS group (<u>Saruta M</u>).	Interim analysis of a multicenter registry study of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-COSMOS).	J Gastroenterol	57(3)	174-184	2022
Sakurai T, Akita Y, Miyashita H, Miyazaki R, Maruyama Y, Saito T, Shimada M, Yamasaki T, Arhihiro S, Kato T, Matsuura T, Ikegami M, Okayasu I, <u>Saruta M</u> .	Prostaglandin E-major urinary metabolite diagnoses mucosal healing in patients with ulcerative colitis in remission phase.	J Gastroenterol Hepatol.	37(5)	847-854	2022
Ando K, Fujiya M, Watanabe K, Hiraoka S, Shiga H, Tanaka S, Iijima H, Mizushima T, Kobayashi T, Nagahori M, Ikeuchi H, Kato S, Torisu T, Kobayashi K, Higashiyama M, Fukui T, Kagaya T, Esaki M, Yanai S, Abukawa D, Naganuma M, Motoya S, <u>Saruta M</u> , Bamba S, Sasaki M, Uchiyama K, Fukuda K, Suzuki H, Nakase H, Shimizu T, Iizuka M, Watanabe M, Suzuki Y, Hisamatsu T.	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan.	J Gastroenterol	56(12)	1062-1079	2021
Miyazaki R, Sakurai T, Iwashita Y, Shimada M, Shibuya N, Akita Y, Miyashita H, Maruyama Y, Sawada R, Toyonaga T, Takakura K, <u>Saruta M</u> .	Characteristics and Endoscopic Classification of Ulcerative Lesions Affecting the Ileocecal Valve.	Dig Dis	40(2)	239-245	2022
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T; HAYABUSA Study Group. (<u>Saruta M</u>)	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial	Lancet Gastroenterol Hepatol.	6(6)	429-437	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, Kobayashi T, <u>Saruta M</u> , Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, Naganuma M, Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020.	J Gastroenterol	56(6)	489-526	2021
Omori T, <u>Saruta M</u> , Nagaki A, Arai Y, Ohta A, Kuramoto K, Suzuki Y.	Real-world safety and efficacy of twice-daily budesonide 2-mg foam in patients with ulcerative colitis: interim analysis of post-marketing surveillance.	Expert Opin Pharmacother	22(11)	1505-1511	2021
Shibuya N, Higashiyama M, Akita Y, Shirakabe K, Ito S, Nishii S, Mizoguchi A, Inaba K, Tanemoto R, Sugihara N, Hanawa Y, Wada A, Horiuchi K, Yoshikawa K, Kurihara C, Okada Y, Watanabe C, Komoto S, Tomita K, <u>Saruta M</u> , Hokari R.	Deoxycholic acid enhancement of lymphocyte migration through direct interaction with the intestinal vascular endothelium.	J Gastroenterol Hepatol	36(9)	2523-2530	2021
Yoshihara T, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, Takehara T, Inoue N, Uchino M, Esaki M, Kobayashi T, <u>Saruta M</u> , Sugimoto K, Nakamura S, Hata K, Hirai F, Hiraoka S, Fujii T, Matsuura M, Matsuoka K, Watanabe K, Nakase H, Watanabe M.	Concomitant use of an immunomodulator with ustekinumab as an induction therapy for Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol	36(7)	1744-1753	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M.	Does anti-tumor necrosis factor alpha prevent the recurrence of Crohn's disease? Systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol	36(4)	864-872	2021
Kato T, Iwasaki T, Arihiro S, Saruta M.	Endoscopic visualization of cancer and dysplasia in patients with ulcerative colitis following sensitization with oral 5-aminolevulinic acid.	J Dig Dis.	21(9)	498-504	2020
Arai Y, Ogawa M, Yamane F, Sumiyoshi N, Arimoto R, Ando Y, Endo D, Nakada T, Sugawara I, Yokoyama H, Shimoyama K, Inomata H, Kawahara Y, Kato M, Arihiro S, Hokari A, Saruta M.	Mesalazine formulation intolerance due to suspected excipient allergy in the treatment of ulcerative colitis: a case report.	Clin J Gastroenterol.	13(6)	1200-1204	2020
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, Hirai F, Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M.	Intestinal cancer in patients with Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol.	36(2)	329-336	2021
Shirakabe K, Higashiyama M, Shibuya N, Horiuchi K, Saruta M, Hokari R.	Microscopic Observation of Lymphocyte Dynamics in Rat Peyer's Patches.	J Vis Exp.	(160)		2020
光永真人, 西村尚, 猿田雅之, 小林雅邦, 炭山和毅, 小林久隆	【IEE を使いこなす】分子イメージングの現況と将来像	胃と腸	57(13)	1709-1718	2022
猿田雅之	【高齢者潰瘍性大腸炎の現状】高齢者潰瘍性大腸炎の疫学・経過・併存症	日本消化器病学会雑誌	119(11)	984-991	2022
櫻井俊之, 猿田雅之	今日のカンファレンス 難治例	消化器クリニカルアップデート	4(1)	94-98	2022
櫻井俊之, 猿田雅之	【実践!最新のIBD病勢モニタリング】今後期待できる病勢モニタリングマーカー	IBD Research	16(2)	97-102	2022
宮崎亮佑, 猿田雅之	【炎症性腸疾患治療における外科と内科の接点】軽症・中等症Crohn病に対する保存的治療の考えと実際	外科	84(10)	1015-1021	2022
猿田雅之	消化管ホルモンの最前線 消化管ホルモンから全身を診る	消化器病学サイエンス	6(3)	133-141	2022
澁谷尚希, 猿田雅之	【Evidence & Consensusで押さえる IBDの治療薬 最新版】21世紀からのIBD治療薬の長所・短所 JAK阻害薬	薬事	64(12)	2513-2517	2022
猿田雅之	【小腸疾患-診断・治療の最新動向-】炎症性疾患 慢性炎症性疾患 単純性潰瘍	日本臨床	80(増7)	416-421	2022
猿田雅之	【潰瘍性大腸炎 内科診療の即戦力を身につける!-急増する患者の日常診療に求められる必須アップデート-】潰瘍性大腸炎のSpecial situation 腸管外合併症	消化器内科	4(6)	77-82	2022
猿田雅之	【図説「胃と腸」画像診断用語集2022】疾患 下部消化管 IBD-U(inflammatory bowel disease unclassified)	胃と腸	57(5)	644	2022
猿田雅之	炎症性腸疾患治療の近未来	東京内科医会誌	38(1)	35-40	2022
猿田雅之	特集 炎症性腸疾患update-診断・治療の最新知見- 合併症の診断とマネジメント 脊椎関節炎	日本臨床	80(3)	504-509	2022
櫻井俊之, 猿田雅之	【クローン病診療の診断から治療をマスターする】クローン病の活動性はどのように評価するのか? 臨床症状やバイオマーカー	消化器・肝臓内科	10(4)	421-428	2021
猿田雅之	潰瘍性大腸炎(UC)の粘膜治癒をめざした治療	週刊日本医事新報	(5087)	18-33	2021
櫻井俊之, 猿田雅之	【炎症性腸疾患の分子標的治療を総括する】JAK阻害薬	Intestine	25(3)	279-284	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
猿田雅之	【脊椎関節炎-診療のABCから最新の話まで(第2号)】炎症性腸疾患に伴う脊椎関節炎	日本脊椎関節炎学会誌	8(1)	33-38	2021
豊永貴彦, 猿田雅之	【日常診療で見逃されやすい微量ミネラル欠乏症とその治療】炎症性腸疾患と微量ミネラル欠乏	日本医師会雑誌	150(3)	465-468	2021
荒井吉則, 小川まい子, 遠藤大輔, 菅原一朗, 中田達也, 安藤理孝, 有廣誠二, 穂苅厚史, 加藤正之, 猿田雅之	カプセル内視鏡により腸閉塞をいたしたNSAIDs起因性急性小腸潰瘍の1例	Gastroenterological Endoscopy	63(4)	415-422	2021
猿田雅之	【IBDの診断と治療】潰瘍性大腸炎の内科治療の原則	消化器内科	3(4)	42-48	2021
猿田雅之	炎症性腸疾患の新規治療薬と将来展望	日本消化器病学会雑誌	118(3)	183-202	2021
澁谷尚希, 猿田雅之	炎症性腸疾患と臨床検査のup to date	日本臨床検査医学会誌	69(2)	114-120	2021
猿田雅之	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 クローン病	日本医事新報	5048	37-38	2021
猿田雅之	炎症性腸疾患の病態と変わりゆく治療戦略	Medical Practice	37(12)	1780	2020
山内敏正, 猿田雅之, 竹内 義明, 長沼誠	【炎症性腸疾患-炎症性腸疾患の病態と変わりゆく治療戦略】多様化するIBD診断と治療はどう治療選択に影響するのか?	Medical Practice	37(12)	1790-1806	2020
櫻井俊之, 猿田雅之	【炎症性腸疾患-炎症性腸疾患の病態と変わりゆく治療戦略】実地医家が理解すべき疾患背景と診療のプロセス 炎症性腸疾患の診断や活動性評価の補助 バイオマーカーとは何か? どのような特性があり、いつ使うのか?	Medical Practice	37(12)	1883-1887	2020
猿田雅之	【炎症性腸疾患-炎症性腸疾患の病態と変わりゆく治療戦略】この症例から何を学ぶか ステロイド依存性の高齢者潰瘍性大腸炎の1例	Medical Practice	37(12)	1922-1928	2020
櫻井俊之, 猿田雅之	【UC、CD以外の希少性難治性炎症性腸疾患を知る!】腸管ペーチェット病/単純性潰瘍	IBD Research	14(4)	230-235	2020
猿田雅之	炎症性腸疾患の治療最前線	潰瘍	47	63-68	2020
豊永貴彦, 櫻井俊之, 猿田雅之	炎症性腸疾患から肉芽腫性疾患を学ぶ	呼吸器内科	38(6)	588-594	2020
猿田雅之, 清水俊明, 新井勝大, 金兼弘和	小児領域特有の免疫に関わる消化管疾患とはどのようなものか?	消化器病学サイエンス	4(3)	121-130	2020
猿田雅之	薬の知識 トファシチニブ(ゼルヤンツ®)	臨床消化器内科	35(4)	434-438	2020
Kumagai H, Shimizu T, Iwama I, Hagiwara SI, Kudo T, Takahashi M, Saito T, Kunisaki R, Uchino M, Hiraoka S, Naganuma M, Sugimoto K, Miyoshi J, Shibuya T, Hisamatsu T.	A consensus statement on health-care transition for childhood-onset inflammatory bowel disease patients.	Pediatr Int	64	e15241.	2022
Kudo T, Jimbo K, Shimizu H, Iwama I, Ishige T, Mizuochi T, Arai K, Kumagai H, Uchida K, Abukawa D, Shimizu T.	Qing-Dai for pediatric ulcerative colitis multicenter survey and systematic review.	Pediatr Int	64	e15113.	2022
Shimizu H, Ebana R, Kudo T, Sato T, Hara T, Hosoi K, Usami M, Yoshida M, Takeuchi I, Nakase H, Iwama I, Arai K, Shimizu T.	Both fecal calprotectin and fecal immunochemical tests are useful in children with inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol	57	344-356.	2022
Hosoi K, Minowa K, Suzuki M, Kudo T, Ohtsuka Y, Tomomasa T, Tajiri H, Ishige T, Yamada H, Arai K, Yoden A, Ushijima K, Aomatsu T, Nagata S, Uchida K, Takeuchi K, Shimizu T.	Characteristics and frequency of pediatric inflammatory bowel disease-associated pancreatitis: A Japanese nationwide survey.	PGN Reports	3	e162.	2022
Kyodo R, Takeuchi I, Narumi S, Shimizu H, Hata K, Yoshioka T, Tanase-Nakao K, Shimizu T, Arai K.	Novel biallelic mutations in the DUOX2 gene underlying very early-onset inflammatory bowel disease: A case report.	Clin Immunol	238	109015.	2022
Tokita K, Shimizu H, Takeuchi I, Shimizu T, Arai K.	Long-term efficacy and safety of golimumab for ulcerative colitis at a pediatric inflammatory bowel disease center in Japan.	Pediatr Gastroenterol Hepatol Nutr	25	461-472.	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Arai N, <u>Kudo T</u> , Tokita K, Kyodo R, Sato M, Miyata E, Hosoi K, Ikuse T, Jimbo K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Expression of oncogenic molecules in pediatric ulcerative colitis.	Digestion	103	150-158.	2022
Ishihara J, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Yasuda R, Sakaguchi H, Konishi KI, Obara H, Kakuma T, Yamashita Y, Mizuochi T.	Serum zinc and xelenium in children with inflammatory bowel disease: A multicenter study in Japan.	Dig Dis Sci	67:2485-2491. 2022	150-158.	2022
Muramoto Y, Nihira H, Shiokawa M, Izawa K, Hiejima E, Seno H. Japan Pediatric Inflammatory Bowel Disease Working Group.	Japan pediatric inflammatory bowel disease working group: Anti-integrin α v β 6 antibody as a diagnostic marker for pediatric patients with ulcerative colitis.	Gastroenterology	163	1094-1097.e14.	2022
Tsuchiya M, Hashimoto R, Arai K, Yoshida K.	Psoriasiform dermatitis in a girl with ulcerative colitis receiving vedolizumab.	J Dermatol	49	e191-e192.	2022
Kobayashi M, Takeuchi I, Kubota M, Ishiguro A, Arai K.	Severe hip arthritis as an initial presenting symptom of pediatric ulcerative colitis.	Pediatr Int	64	e15067.	2022
Usami M, Takeuchi I, Kyodo R, Hirano Y, Kashiwagi K, Fujikawa H, <u>Shimizu H</u> , Kawai T, Arai K.	Clinical features of very early-onset inflammatory bowel disease in Japan: a retrospective single-center study.	Intest Res	20	475-481.	2022
<u>清水俊明</u> .	IV炎症性腸疾患の治療 炎症性腸疾患のマネージメント-Special situation- 小児から成人への移行期治療.	日本臨牀	80	487-491.	2022
Morita M, Takeuchi I, Kato M, Migita O, Jimbo K, Shimizu H, Yoshimura S, Tomizawa D, <u>Shimizu T</u> , Hata K, Ishiguro A, Ari K.	Intestinal outcome of bone marrow transplantation for monogenic inflammatory bowel disease	Pediatr Int	64	e14750	2022
Ando K, Fujiya M, Watanabe K, Hiraoka S, Shiga H, Tanaka S, Iijima H, Mizushima T, Kobayashi T, Nagahori M, Ikeuchi H, Kato S, Torisu T, Kobayashi K, Higashiyama M, Fukui T, Kagaya T, Esaki M, Yanai S, Abukawa D, Naganuma M, Motoya S, Saruta M, Bamba S, Sasaki M, Uchiyama K, Fukuda K, Suzuki H, Nakase H, <u>Shimizu T</u> , Iizuka M, Watanabe M, Suzuki Y, Hisamatsu T.	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan.	J Gastroenterol	56	1062-1079	2021
Aoyama N, <u>Shimizu T</u> .	Approach to the Seamless Management of Inflammatory Bowel Disease, considering Special Situations, Shared Decision-Making, and Disease Burden.	Digestion	102	12-17	2021
Arai N, Kudo T, Tokita K, Kyodo R, Sato M, Miyata E, Hosoi K, Ikuse T, Jimbo K, Ohtsuka Y, <u>Shimizu T</u> .	Effectiveness of Biological Agents in the Treatment of Pediatric Patients with crohn's Disease and Anal Fistulae	Digestion.	102	783-788	2021
Croft NM, Faubion WA Jr, Kugathasan S, Kierkus J, Ruemmele FM, <u>Shimizu T</u> , Mostafa NM, Venetucci M, Finney-Hayward T, Sanchez Gonzalez Y, Bereswill M, Lazar A, Turner D.	Efficacy and safety of adalimumab in paediatric patients with moderate-to-severe ulcerative colitis (ENVISION I): a randomised, controlled, phase 3 study.	Lancet Gastroenterol Hepatol	6	616-627	2021
Ito N, Takeuchi I, Kyodo R, Hirano Y, Sato T, Usami M, Shimizu H, <u>Shimizu T</u> , Arai K.	Features and Outcomes of children with Ulcerative colitis who Undergo a Diagnostic change: A Single-center Experience.	Pediatr Gastroenterol Hepatol Nutr	24	357-365	2021
Kato M, Jimbo K, Nagata M, Endo Y, Kashiwagi K, Maruyama K, Ito N, Tokushima K, Arai N, Kyodo R, Sato M, Miyata E, Hosoi K, Inage E, Ikuse T, Fukunaga H, Kudo T, <u>Shimizu T</u> .	Novel pediatric granulomatosis with polyangiitis with a marked bloody pericardial effusion and bloody stool: a case report	Allergy Asthma Clin Immunol	17	124	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kudo T, Abukawa D, Nakayama Y, Segawa O, Uchida K, Jimbo K, Shimizu T.	Nationwide survey of pediatric gastrointestinal endoscopy in Japan	J Gastroenterol Hepatol	36	1545-1549	2021
Kudo T, Arai K, Uchida K, Tajiri H, Hokari R, Suzuki Y, Shimizu T.	Very early-onset inflammatory bowel disease in Japan: A nationwide survey.	J Gastroenterol Hepatol	36	151-155	2021
Kudo T, Fujii T, Maisawa SI, Sasaki M, Uchida K, Ida S, Kagimoto S, Yoden A, Shimizu T.	A Multicenter Prospective Survey on Early-Onset Inflammatory Bowel Disease in Japan.	Digestion	102	368-376	2021
Kumagai H, Kudo T, Uchida K, Kunisaki R, Sugita A, Ohtsuka Y, Arai K, Kubota M, Tajiri H, Suzuki Y, Shimizu T.	Transitional care for inflammatory bowel disease: A survey of Japanese pediatric gastroenterologists.	Pediatr Int	63	65-71	2021
Kumagai H, Suzuki Y, Shimizu T.	Transitional care for patients with inflammatory bowel disease: Japanese experience.	Digestion	102	18-24	2021
Miura M, Shimizu H, Saito D, Miyoshi J, Matsuura M, Kudo T, Hirayama D, Yoshida M, Arai K, Iwama I, Nakase H, Shimizu T, Hisamatsu T.	Multicenter, cross-sectional, observational study on Epstein-Barr viral infection status and thiopurine use by age group in patients with inflammatory bowel disease in Japan (EBISU study).	J Gastroenterol	56	1080-1091	2021
Shimizu H, Arai K, Takeuchi I, Minowa K, Hosoi K, Sato M, Okai I, Kaburaki Y, Shimizu T.	Long-Term Durability of Infliximab for Pediatric Ulcerative colitis: A Retrospective Data Review in a Tertiary children's Hospital in Japan.	Pediatr Gastroenterol Hepatol Nutr	24	7-18	2021
Kudo T, Arai K, Uchida K, Tajiri H, Hokari R, Suzuki Y, Shimizu T.	Very early-onset inflammatory bowel disease in Japan: A nationwide survey.	J Gastroenterol Hepatol	36	151-155	2020
Aoyama N, Shimizu T.	Approach to the Seamless Management of Inflammatory Bowel Disease, considering Special Situations, Shared Decision-Making, and Disease Burden.	Digestion	102	12-17	2020
Jimbo K, Okuno T, Ohgaki R, Nishikubo K, Kitamura Y, Sakurai Y, Quan L, Shoji H, Kanai Y, Shimizu T, Yokomizo T.	A novel mutation in the SLC02A1 gene, encoding a prostaglandin transporter, induces chronic enteropathy.	PLoS One	15	e0241869	2020
Matsumura S, Kurashima Y, Murasaki S, Morimoto M, Arai F, Saito Y, Katayama N, Kim D, Inagaki Y, Kudo T, Ernst PB, Shimizu T, Kiyono H.	Stratified layer analysis reveals intrinsic leptin stimulates cryptal mesenchymal cells for controlling mucosal inflammation.	Scientific Reports	10	18351	2020
清水俊明.	炎症性腸疾患の特性—小児の炎症性腸疾患はどのように疑って診断するのか、そしてどのような特徴があるのか?—	Medical Practice	37	1867-1872	2020
Hibi T, Motoya S, Hisamatsu T, Hirai F, Watanabe K, Matsuoka K, Saruta M, Kobayashi T, Feagan BG, Tasset C, Besuyen R, Yun C, Crans G, Zhang J, Kondo A, Watanabe M.	Efficacy and safety of filgotinib as induction and maintenance therapy for Japanese patients with moderately to severely active ulcerative colitis: a post-hoc analysis of the phase 2b/3 SELECTION trial	Intest Res	21(1)	110-125	2023
Takatsu N, Hisabe T, Kishi M, Takeda T, Yasukawa S, Koga A, Kinjo K, Hirai F, Ueki T, Yao K.	Thiopurine naivety at tacrolimus induction is a predictor of long-term remission in patients with intractable ulcerative colitis who responded to tacrolimus	J Gastroenterol Hepatol.	38(1)	52-60	2023
Nakase H, Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, Saruta M, Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, Hisamatsu T.	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey	J Gastroenterol.	58(3)	205-216	2023

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamamoto H, Yano T, Araki A, Esaki M, Ohtsuka K, Ohmiya N, Oka S, Nakase H, Bamba S, <u>Hirai F</u> , Hosoe N, Matsuda T, Mitsui K, Watanabe K, Ogata H, Katsuki S, Matsumoto T, Fujishiro M, Fujimoto K, Inoue H.	Guidelines for endoscopic balloon dilation in treating Crohn's disease-associated small intestinal strictures (supplement to the Clinical Practice Guidelines for Enteroscopy)	Dig Endosc	34(7)	1278-1296	2022
<u>Hirai F</u> , Uda A, Ota M, Takemura Y, Tanaka K, Iwakiri R.	Treatment Patterns in Newly Diagnosed Patients with Crohn's Disease Who Received Biologics Following Diagnosis: A Nationwide, Retrospective, Longitudinal, Observational Study Using a Medical Claims Database in Japan	Digestion	30	1-12	2022
Niizeki T, Tokunaga T, Takami Y, Wada Y, Harada M, Shibata M, Nakao K, Sasaki R, <u>Hirai F</u> , Shakado S, Yoshizumi T, Itoh S, Yatsuhashi H, Bekki S, Ido A, Mawatari S, Honda K, Sugimoto R, Senju T, Takahashi H, Kuwashiro T, Maeshiro T, Nakamura M, Aratake Y, Yamashita T, Otsuka Y, Matsumoto S, Sohda T, Shimose S, Murotani K, Tanaka Y.	Comparison of Efficacy and Safety of Atezolizumab Plus Bevacizumab and Lenvatinib as First-Line Therapy for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Propensity Score Matching Analysis	Target Oncol.	17(6)	643-653	2022
Kishi M, <u>Hirai F</u> , Takatsu N, Hisabe T, Takada Y, Beppu T, Takeuchi K, Naganuma M, Ohtsuka K, Watanabe K, Matsumoto T, Esaki M, Koganei K, Sugita A, Hata K, Futami K, Ajioka Y, Tanabe H, Iwashita A, Shimizu H, Arai K, Suzuki Y, Hisamatsu T.	A review on the current status and definitions of activity indices in inflammatory bowel disease: how to use indices for precise evaluation.	J Gastroenterol.	57(4)	246-266	2022
Takeda T, Kishi M, Takatsu N, Takada Y, Beppu T, Miyaoka M, Hisabe T, Ueki T, Arima H, <u>Hirai F</u> , Yao K.	Long-term outcomes of endoscopic balloon dilation for intestinal strictures in patients with Crohn's disease during maintenance treatment with anti-tumor necrosis factor alpha antibodies.	Dig Endosc.	34(3)	517-525	2022
Imakiire S, Takedatsu H, Mitsuyama K, Sakisaka H, Tsuruta K, Morita M, Kuno N, Abe K, Funakoshi S, Ishibashi H, Yoshioka S, Torimura T, <u>Hirai F</u> .	Role of Serum Proteinase 3 Antineutrophil Cytoplasmic Antibodies in the Diagnosis, Evaluation of Disease Severity, and Clinical Course of Ulcerative Colitis.	Gut Liver.	16(1)	92-100	2022
Sands BE, Peyrin-Biroulet L, Kierkus J, Higgins PDR, Fischer M, Jairath V, <u>Hirai F</u> , D'Haens G, Belin RM, Miller D, Gomez-Valderas E, Naegeli AN, Tuttle JL, Pollack PF, Sandborn WJ.	Efficacy and Safety of Mirikizumab in a Randomized Phase 2 Study of Patients With Crohn's Disease.	Gastroenterology.	162(2)	495-508	2022
Nakase H, Hayashi Y, Hirayama D, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, <u>Hirai F</u> , Abukawa D, Hisamatsu T; J-COSMOS group.	Interim analysis of a multicenter registry study of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-COSMOS).	J Gastroenterol.	57(3)	174-184	2022
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Minagawa T, Horio Y, Kuwahara R, Nakamura S, Watanabe K, Saruta M, Fujii T, Kobayashi T, Sugimoto K, <u>Hirai F</u> , Esaki M, Hiraoka S, Matsuoka K, Shinzaki S, Matsuura M, Inoue N, Nakase H, Watanabe M	Does anti-tumor necrosis factor alpha prevent the recurrence of Crohn's disease? Systematic review and meta-analysis	J Gastroenterol Hepatol.	36(4)	864-872	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yoshihara T, Shinzaki S, Amano T, Iijima H, Takehara T, Inoue N, Uchino M, Esaki M, Kobayashi T, Saruta M, Sugimoto K, Nakamura S, Hata K, <u>Hirai F</u> , Hiraoka S, Fujii T, Matsuura M, Matsuoka K, Watanabe K, Nakase H, Watanabe M.	Concomitant use of an immunomodulator with ustekinumab as an induction therapy for Crohn's disease: A systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol.	36 (7)	1744-1753	2021
Shinzaki S, Matsuoka K, Tanaka H, Takeshima F, Kato S, Torisu T, Ohta Y, Watanabe K, Nakamura S, Yoshimura N, Kobayashi T, Shiotani A, <u>Hirai F</u> , Hiraoka S, Watanabe M, Matsuura M, Nishimoto S, Mizuno S, Iijima H, Takehara T, Naka T, Kanai T, Matsumoto T.	Leucine-rich alpha-2 glycoprotein is a potential biomarker to monitor disease activity in inflammatory bowel disease receiving adalimumab: PLANET study.	J Gastroenterol.	56(6)	560-569	2021
Matsuoka K, Ishikawa H, Nakayama T, Honzawa Y, Maemoto A, <u>Hirai F</u> , Ueno F, Sato N, Susuta Y, Hibi T.	Physician-patient communication affects patient satisfaction in treatment decision-making: a structural equation modelling analysis of a web-based survey in patients with ulcerative colitis.	J Gastroenterol.	56(9)	843-855	2021
Kobayashi T, Motoya S, Nakamura S, Yamamoto T, Nagahori M, Tanaka S, Hisamatsu T, <u>Hirai F</u> , Nakase H, Watanabe K, Matsumoto T, Tanaka M, Abe T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, HAYABUSA Study Group	Discontinuation of infliximab in patients with ulcerative colitis in remission (HAYABUSA): a multicentre, open-label, randomised controlled trial.	Lancet Gastroenterol Hepatol.	6(6)	429-437	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, Kobayashi T, Saruta M, <u>Hirai F</u> , Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, Naganuma M, Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020.	J Gastroenterol.	56(5)	489-526	2021
Hata K, Ishihara S, Ajioka Y, Mitsuyama K, Watanabe K, Hanai H, Kunisaki R, Nakase H, Matsuda K, Iwakiri R, Hida N, Tanaka S, Takeuchi Y, Shinozaki M, Ogata N, Moriichi K, <u>Hirai F</u> , Sugihara K, Hisamatsu T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T.	Long-Term Follow-Up of Targeted Biopsy Yield (LOFTY Study) in Ulcerative Colitis Surveillance Colonoscopy.	J Clin Med	9(7)	2286-2301	2020
Nakase H, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, <u>Hirai F</u> , Wagatsuma K, Yokoyama Y, Hisamatsu T.	Expert Opinions on the Current Therapeutic Management of Inflammatory Bowel Disease during the COVID-19 Pandemic: Japan IBD COVID-19 Taskforce, Intractable Diseases, the Health and Labor Sciences Research.	Digestion	4	1-9	2020
Dominik Bettenworth, Arne Bokemeyer, Lei Kou, Rocio Lopez, James F Bena, Sara El Ouali, Ren Mao, Satya Kurada, Amit Bhatt, Torsten Beyna, Brendan Halloran, Matthew Reeson, Hosomi S, Kishi M, <u>Hirai F</u> , Ohmiya N, Florian Rieder .	Systematic review with meta-analysis: efficacy of balloon-assisted enteroscopy for dilation of small bowel Crohn's disease strictures.	Aliment Pharmacol Ther	52(7)	1104-1116	2020
Sakisaka H, Takedatsu H, Mitsuyama K, Mochizuki S, Sakurai K, Sakisaka S, <u>Hirai F</u> .	Topical Therapy with Antisense Tumor Necrosis Factor Alpha Using Novel α -Glucan-Based Drug Delivery System Ameliorates Intestinal Inflammation.	Int J Mol Sci	21(2)	E683. doi: 10.3390/ijms21020683	2020
Ono Y, Takaki Y, Yao K, Ishikawa S, Miyaoka M, Yano Y, Nagahama T, Hisabe T, <u>Hirai F</u> , Ueki T, Ota A, Tanabe H, Haraoka S, Iwashita A, Mikami K, Maekawa T.	Irregularly branched microvessels as visualized by magnifying endoscopy: a reliable marker for predicting deep submucosal invasion of superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Endosc Int Open	08(03)	E234-E240	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hirai F, Takeda T, Takada Y, Kishi M, Beppu T, Takatsu N, Miyaoka M, Hisabe T, Yao K, Ueki T.	Efficacy of enteral nutrition in patients with Crohn's disease on maintenance anti-TNF-alpha antibody therapy: a meta-analysis.	J Gastroenterol	55 (2)	133-141	2020
平井郁仁、久能宣昭、阿部光市	Crohn病の診断と治療 最近の動向を含めて	Gastroenterol Endosc	64 (7)	1315-1325	2022
向坂秀人、久能宣昭、阿部光市、船越禎広、石橋英樹、平井郁仁	潰瘍性大腸炎の内視鏡診断と鑑別疾患 正確な診断と状況判断に必要な所見を逃さない	消化器内科	4 (6)	15-25	2022
芦塚伸也、今給黎宗、柴田衛、能丸遼平、山嶋友実、久能宣昭、石橋英樹、船越禎広、平井郁仁	各種疾患におけるステロイドの使い方 潰瘍性大腸炎・クローン病	臨牀と研究	99 (10)	31 (1205) - 38 (1212)	2022
岸昌廣、平井郁仁	潰瘍性大腸炎の診断と疾患活動性の評価	医学と薬学	79 (11)	1451-1459	2022
能丸遼平、久能宣昭、平井郁仁	2. 重症Crohn病に対する治療	外科	84 (10)	1022-1028	2022
久能宣昭、阿部光市、船越禎広、石橋英樹、平井郁仁	Crohn病における小腸粘膜治癒評価の意義 X線の立場から	胃と腸	57(2)	163-172	2022
山本博徳、矢野智則、荒木昭博、江崎幹宏、大塚和朗、大宮直木、岡志郎、仲瀬裕志、馬場重樹、平井郁仁、細江直樹、松田知己、三井啓吾、渡辺憲治、緒方晴彦、勝木伸一、松本主之、藤城光弘、藤本一真、井上晴洋、久松理一、日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡学会ガイドライン委員会、ワーキング委員会、日本炎症性腸疾患学会、日本消化管学会、日本消化器病学会、日本小腸学会、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班	クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン(小腸内視鏡診療ガイドライン追補)	Gastroenterol Endosc.	63(10)	2253-2275	2021
中村正直、渡辺憲治、大宮直木、平井郁仁、大森鉄平、徳原大介、中路幸之助、能田貞治、江崎幹宏、鮫島由規則、後藤秀実、寺野彰、田尻久雄、松井敏幸	本邦における小腸狭窄が疑われた患者に対するタグ非搭載 パテンシーカプセル検査の全国多施設前向き調査	Gastroenterol Endosc.	63(10)	2242-2252	2021
仲瀬裕志、松本主之、松浦 稔、飯島英樹、松岡克善、大宮直木、石原俊治、平井郁仁、我妻康平、横山佳浩、久松理一	COVID-19パンデミック状況下における炎症性腸疾患の管理に関する専門家の意見JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班	日本消化管学会雑誌	4 (1)	15-24	2020
平井郁仁	クローン病治療の最先端	Medical Science Digest	46(7)	10-14	2020
平井郁仁	クローン病小腸狭窄病変に対するバルーン拡張術	INTESTINE	24(3)	177-184	2020
今給黎宗、石橋英樹、平井郁仁	炎症性腸疾患の診断：臨床医が診断時に注意すべきポイントとは？診断に迷ったらどうする？新規modalityをどう使いこなす？	Pharma Medica	38 (11)	31-35	2020
松岡賢、平井郁仁	潰瘍性大腸炎の診断はどのように行い、治療開始するのか？	Medical Practice	37(12)	1848-1854	2020
Higashi D, Irie H, Maki T, Kusaba H, Koreeda N, Hirano Y, Kaida H, Kawamoto M, Komono A, Takahashi H, Sakamoto R, Shibata R, Miyasaka Y, Hisabe T, Nimura S, Watanabe M.	Small and large intestinal cancer in patients with Crohn's disease studied by surgeons.	Surg Today.		Online ahead of print.	2022
Yasukawa S, Matsui T, Yano Y, Sato Y, Takada Y, Kishi M, Ono Y, Takatsu N, Nagahama T, Hisabe T, Hirai F, Yao K, Ueki T, Higashi D, Futami K, Sou S, Sakurai T, Yao T, Tanabe H, Iwashita A, Washio M.	Correction to: Crohn's disease-specific mortality: a 30-year cohort study at a tertiary referral center in Japan.	J Gastroenterol.	56(12)	1111-1112	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Higashi D, Futami K, Kojima D, Uwatoko S, Shibata R, Miyasaka Y, Ohmiya T, Sakamoto R, Kaida H, Koreeda N, Morishita M, Nagata A, Yoshida Y, Ymashita S, Watanabe M, Takatsu N, Hisabe T, Yao K, Ueki T, Nimura S	Surgical Treatment of Crohn's Disease while Distinguishing between Perforating and Non-Perforating Types.	Medical Bulletin of Fukuoka University	48(1)	9-15	2021
Shinagawa T, Hata K, Ikeuchi H, Fukushima K, Futami K, Sugita A, Uchino M, Watanabe K, Higashi D, Kimura H, Araki T, Mizushima T, Itabashi M, Ueda T, Koganei K, Oba K, Ishihara S, Suzuki Y	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease.	Clin Gastroenterol Hepatol	18(4)	898-907	2020
Takatsu N, Hisabe T, Higashi D, Ueki T, Matsui T.	Vedolizumab in the Treatment of Ulcerative Colitis: An Evidence-Based Review of Safety, Efficacy, and Place of Therapy .	Core Evid.	15	7-20	2020
東大二郎, 森下麻理奈, 上床崇吾, 久部高司, 二村聡, 渡部雅人	【炎症性腸疾患の治療戦略と手術】クローン病 癌を合併したクローン病症例に対する外科治療	手術	76(7)	1085-1089	2022
二見喜太郎, 東大二郎, 上床崇吾, 小島大望, 森下麻理奈, 渡部雅人	【大腸肛門外科における消化管ストーマ造設術とその関連手技】Crohn病手術におけるストーマ造設術	手術	75(5)	853-861	2021
東大二郎, 森下麻理奈, 是枝寿彦, 平野陽介, 甲斐田大貴, 大宮俊啓, 上床崇吾, 川元真, 薦野晃, 坂本良平, 柴田亮輔, 宮坂義浩, 渡部雅人	誌上ディベート(第26回)潰瘍性大腸炎や家族性大腸腺腫症に対して粘膜剥去を行うかどうか 粘膜剥去を行う(回腸囊肛門吻合)vs. 粘膜剥去を行わない(回腸囊肛門管吻合) 粘膜剥去を行わない(回腸囊肛門管吻合)立場から	消化器外科	44(9)	1466-1471	2021
Fukui R, Nozawa H, Sakamoto A, Sasaki K, Murono K, Emoto S, Ishihara S	Temporal changes in functional outcomes of stapled and hand-sewn ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis and familial adenomatous polyposis.	Colorectal Dis	Mar;25(3)	396-403	2023
Noguchi T, Ando T, Emoto S, Nozawa H, Kawai K, Sasaki K, Murono K, Kishikawa J, Ishi H, Yokoyama Y, Abe S, Nagai Y, Anzai H, Sonoda H, Hata K, Sasaki T, Ishihara S	Artificial Intelligence Program to Predict p53 Mutations in Ulcerative Colitis-Associated Cancer or Dysplasia.	Inflamm Bowel Dis	28(7)	1072-1080	2022
Noguchi T, Ishihara S, Uchino M, Ikeuchi H, Okabayashi K, Futami K, Tanaka S, Ohge H, Nagahara H, Watanabe K, Itabashi M, Okamoto K, Okita Y, Mizushima T, Mizuuchi Y, Yamada K, Shimada Y, Sato Y, Kimura H, Takahashi K, Hida K, Kinugasa Y, Okuda J, Daito K, Koyama F, Ueno H, Yamamoto T, Hanai T, Maemoto A, Oba K, Ajioka Y, Sugihara K	Clinical features and oncological outcomes of intestinal cancers associated with ulcerative colitis and Crohn's disease.	J Gastroenterol	58(1)	14-24	2022
Nozawa H, Hata K, Sasaki K, Murono K, Kawai K, Emoto S, Ishihara S	Laparoscopic vs open restorative proctectomy after total abdominal colectomy for ulcerative colitis or familial adenomatous polyposis.	Langenbecks Arch Surg	407(4)	1605-1612	2022
Sonoda H, Kitamura C, Kano K, Anzai H, Nagai Y, Abe S, Yokoyama Y, Ishii H, Kishikawa J, Murono K, Emoto S, Sasaki K, Kawai K, Nozawa H, Aoki J, Ishihara S	Changes in Lysophospholipid Components in Ulcerative Colitis and Colitis-associated Cancer.	Anticancer Res	42(5)	2461-2468	2022
Emoto S, Hata K, Nozawa H, Kawai K, Tanaka T, Nishikawa T, Shuno Y, Sasaki K, Kaneko M, Murono K, Iida Y, Ishii H, Yokoyama Y, Anzai H, Sonoda H, Ishihara S	Risk factors for non-reaching of ileal pouch to the anus in laparoscopic restorative proctocolectomy with handsewn anastomosis for ulcerative colitis.	Intest Res	20(3)	313-320	2022
Okada S, Hata K, Shinagawa T, Noguchi T, Tanaka T, Kawai K, Nozawa H, Ishihara S	A Polymorphism in Interleukin-1 β Gene Is Associated with the Development of Pouchitis in Japanese Patients with Ulcerative Colitis.	Digestion	102(3)	489-498	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hata K, <u>Ishihara S</u> , Ajioka Y, Mitsuyama K, Watanabe K, Hanai H, Kunisaki R, Nakase H, Matsuda K, Iwakiri R, Hida N, Tanaka S, Takeuchi Y, Shinozaki M, Ogata N, Moriichi K, Hirai F, Sugihara K, Hisamatsu T, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T.	Long-Term Follow-Up of Targeted Biopsy Yield (LOFTY Study) in Ulcerative Colitis Surveillance Colonoscopy.	Clin Med	9(7)	2286	2020
Nanki K, Fujii M, Shimokawa M, Matano M, Nishikori S, Date S, Takano A, Toshimitsu K, Ohta Y, Takahashi S, Sugimoto S, Ishimaru K, Kawasaki K, Nagai Y, Ishii R, Yoshida K, Sasaki N, Hibi T, <u>Ishihara S</u> , Kanai T, Sato T	Somatic inflammatory gene mutations in human ulcerative colitis epithelium.	Nature	577(7789)	254-259	2020
Shinagawa T, Hata K, Ikeuchi H, Fukushima K, Futami K, Sugita A, Uchino M, Watanabe K, Higashi D, Kimura H, Araki T, Mizushima T, Itabashi M, Ueda T, Koganei K, Oba K, <u>Ishihara S</u> , Suzuki Y	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease.	Clin Gastroenterol Hepatol	18(4)	898-907	2020
安西紘幸, <u>石原聡一郎</u>	【炎症性腸疾患の治療戦略と手術】潰瘍性大腸炎 癌を合併した潰瘍性大腸炎症例に対する手術.	手術	76	1043-1051	2022
江本成伸, <u>石原聡一郎</u>	【Common diseaseとなった潰瘍性大腸炎の現状と診療のコツ】潰瘍性大腸炎からの発癌と手術療法.	臨床消化器内科	37	803-810	2022
畑啓介, <u>石原聡一郎</u>	【大腸癌-臨床家の知っておくべき診断・治療の最前線】大腸癌実地診療のポイント整理 colitic cancer 潰瘍性大腸炎関連発癌.	Medical Practice	39	669-672	2022
安西紘幸, <u>石原聡一郎</u>	【大腸癌の最近の動向と治療の展望】潰瘍性大腸炎患者に対する大腸癌サーベイランスと手術治療.	カレントセラピー	39	979-985	2021
石井博章, 室野浩司, 佐々木和人, 川合一茂, 野澤宏彰, <u>石原聡一郎</u>	【外科医が知っておくべき術後QOL評価のすべて】炎症性腸疾患.	外科	83	332-337	2021
畑啓介, <u>石原聡一郎</u>	【潰瘍性大腸炎における colitis-associated cancer 診療の現状と今後の展望】潰瘍性大腸炎における colitis-associated cancer 診療の現状と今後の展望.	日本消化器病学会雑誌	117	931-938	2020
Takenaka, K.; Kawamoto, A.; Kitazume, Y.; Fujii, T.; Udagawa, Y.; Shimizu, H.; Hibiya, S.; <u>Nagahori, M.</u> ; Ohtsuka, K.; Watanabe, M.; Okamoto, R.	Transmural Remission Characterized by High Biologic Concentrations Demonstrates Better Prognosis in Crohn's Disease.	J Crohns Colitis	Dec 17	Online ahead of print.	2022
Hibiya, S.; Ohtsuka, K.; Takenaka, K.; Kawamoto, A.; Matsuyama, Y.; Udagawa, Y.; Motobayashi, M.; Shimizu, H.; Fujii, T.; Saito, E.; <u>Nagahori, M.</u> ; Okamoto, R.; Watanabe, M.	Mucosal Healing of Small Intestinal Stricture Is Associated with Improved Prognosis Post-Dilation in Crohn's Disease.	BMC Gastroenterology	22 (1)	218	2022
Takenaka, K.; Fujii, T.; Kawamoto, A.; Suzuki, K.; Shimizu, H.; Maeyashiki, C.; Yamaji, O.; Motobayashi, M.; Igarashi, A.; Hanazawa, R.; Hibiya, S.; <u>Nagahori, M.</u> ; Saito, E.; Okamoto, R.; Ohtsuka, K.; Watanabe, M.	Deep Neural Network for Video Colonoscopy of Ulcerative Colitis: A Cross-Sectional Study.	The Lancet Gastroenterology & Hepatology	7 (3)	230-237	2022
Shimizu, H.; Fujii, T.; Kinoshita, K.; Kawamoto, A.; Hibiya, S.; Takenaka, K.; Saito, E.; <u>Nagahori, M.</u> ; Ohtsuka, K.; Watanabe, M.; Okamoto, R.	Intravenous Tacrolimus Is a Superior Induction Therapy for Acute Severe Ulcerative Colitis Compared to Oral Tacrolimus.	BMC Gastroenterology	21 (1)	494	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ando, K.; Fujiya, M.; Watanabe, K.; Hiraoka, S.; Shiga, H.; Tanaka, S.; Iijima, H.; Mizushima, T.; Kobayashi, T.; <u>Nagahori</u> , M.; Ikeuchi, H.; Kato, S.; Torisu, T.; Kobayashi, K.; Higashiyama, M.; Fukui, T.; Kagaya, T.; Esaki, M.; Yanai, S.; Abukawa, D.; Naganuma, M.; Motoya, S.; Saruta, M.; Bamba, S.; Sasaki, M.; Uchiyama, K.; Fukuda, K.; Suzuki, H.; Nakase, H.; Shimizu, T.; Iizuka, M.; Watanabe, M.; Suzuki, Y.; Hisamatsu, T.	A Nationwide Survey Concerning the Mortality and Risk of Progressing Severity Due to Arterial and Venous Thromboembolism in Inflammatory Bowel Disease in Japan.	J Gastroenterol	56	1062-1079	2021
Kobayashi, T.; Ito, H.; Ashida, T.; Yokoyama, T.; <u>Nagahori</u> , M.; Inaba, T.; Shikamura, M.; Yamaguchi, T.; Hori, T.; Pinton, P.; Watanabe, M.; Hibi, T. ; HAYABUSA Study Group.	A Multicentre, Open-Label, Randomised Controlled Trial.	Lancet Gastroenterol Hepatol	6 (6)	429-437	2021
Kaneshiro, M.; Takenaka, K.; Suzuki, K.; Fujii, T.; Hibiya, S.; Kawamoto, A.; Motobayashi, M.; Shimizu, H.; <u>Nagahori</u> , M.; Saito, E.; Okamoto, R.; Ohtsuka, K.; Watanabe, M.	Pancolonic Endoscopic and Histologic Evaluation for Relapse Prediction in Patients with Ulcerative Colitis in Clinical Remission.	Aliment Pharmacol Ther	53 (8)	900-907	2021
<u>Nagahori</u> , M.; Watanabe, K.; Motoya, S.; Ogata, H.; Kanai, T.; Matsui, T.; Suzuki, Y.; Pinton, P.; Ursos, L.; Sakamoto, S.; Shikamura, M.; Hori, T.; Fernandez, J.; Hibi, T.; Watanabe, M.	Week 2 Symptomatic Response with Vedolizumab as a Predictive Factor in Japanese Anti-TNF α -Naive Patients with Ulcerative Colitis: A Post Hoc Analysis of a Randomized, Placebo-Controlled Phase 3 Trial.	Digestion		1-11	2021
Hibiya, S.; Matsuyama, Y.; Fujii, T.; Maeyashiki, C.; Saito, E.; Ito, K.; Shimizu, H.; Kawamoto, A.; Motobayashi, M.; Takenaka, K.; <u>Nagahori</u> , M.; Kurosaki, M.; Yauchi, T.; Ohtsuka, K.; Fujiwara, T.; Okamoto, R.; Watanabe, M.	5-Aminosalicylate-Intolerant Patients Are at Increased Risk of Colectomy for Ulcerative Colitis.	Aliment Pharmacol Ther 2021	53 (1)	103-113	2021
Tsuda, S.; Sameshima, A.; Sekine, M.; Kawaguchi, H.; Fujita, D.; Makino, S.; Morinobu, A.; Murakawa, Y.; Matsui, K.; Sugiyama, T.; Watanabe, M.; Suzuki, Y.; <u>Nagahori</u> , M.; Murashima, A.; Atsumi, T.; Oku, K.; Mitsuda, N.; Takei, S.; Miyamae, T.; Takahashi, N.; Nakajima, K.; Saito, S.; Ministry of Health Labour and Welfare Working Group for "Guideline for The Treatment of Rheumatoid Arthritis or Inflammatory Bowel Disease Bearing Women in Child-bearing Age."	Pre-Conception Status, Obstetric Outcome and Use of Medications during Pregnancy of Systemic Lupus Erythematosus (SLE), Rheumatoid Arthritis (RA) and Inflammatory Bowel Disease (IBD) in Japan: Multi-Center Retrospective Descriptive Study.	Mod Rheumatol	30(5)	852-861	2020
Kobayashi, T.; Ito, H.; Ashida, T.; Yokoyama, T.; <u>Nagahori</u> , M.; Inaba, T.; Shikamura, M.; Yamaguchi, T.; Hori, T.; Pinton, P.; Watanabe, M.; Hibi, T.	Efficacy and Safety of a New Vedolizumab Subcutaneous Formulation in Japanese Patients with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis.	Intest Res	19(4)	448-460	2021
Takenaka, K.; Fujii, T.; Suzuki, K.; Shimizu, H.; Motobayashi, M.; Hibiya, S.; Saito, E.; <u>Nagahori</u> , M.; Watanabe, M.; Ohtsuka,	Small Bowel Healing Detected by Endoscopy in Patients With Crohn's Disease After Treatment With Antibodies Against Tumor Necrosis Factor.	Clin Gastroenterol Hepatol	18(7)	1545-1552	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Shimizu, H.; Fujii, T.; Hibiya, S.; Motobayashi, M.; Suzuki, K.; Takenaka, K.; Saito, E.; Nagahori, M.; Ohtsuka, K.; Watanabe, M.	Rapid Prediction of 1-Year Efficacy of Tofacitinib for Treating Refractory Ulcerative Colitis.	Intest Res	19(1)	115-118	2021
Watanabe, C.; Nagahori, M.; Fujii, T.; Yokoyama, K.; Yoshimura, N.; Kobayashi, T.; Yamagami, H.; Kitamura, K.; Takashi, K.; Nakamura, S.; Naganuma, M.; Ishihara, S.; Esaki, M.; Yonezawa, M.; Kunisaki, R.; Sakuraba, A.; Kuji, N.; Miura, S.; Hibi, T.; Suzuki, Y.; Hokari, R.	Non-Adherence to Medications in Pregnant Ulcerative Colitis Patients Contributes to Disease Flares and Adverse Pregnancy Outcomes.	Dig Dis Sci	66	577-586	2020
長堀正和	潰瘍性大腸炎患者の食事、日常生活の指導および難病医療助成制度などの社会制度について	臨床消化器内科	37(7)	825-829	2022
長堀正和	栄養指導の現在と未来	IBD Research	15(2)	14-18	2021
Ikeura T, Tomiyama T, Takaori A, Ito T, Nakamaru K, Masuda M, Hori Y, Tsukuda S, Sumimoto K, Mitsuyama T, Nakayama S, Shimatani M, Uchida K, Takaoka M, Okazaki K, Naganuma M	Long-term Outcomes after Steroid Pulse Therapy in Patients with Type 1 Autoimmune Pancreatitis.	Intern Med		Online ahead of print	2023
Nakase H, Esaki M, Hirai F, Kobayashi T, Matsuoka K, Matsuura M, Naganuma M, Saruta M, Tsuchiya K, Uchino M, Watanabe K, Hisamatsu T; TRADE consensus group	Treatment escalation and de-escalation decisions in Crohn's disease: Delphi consensus recommendations from Japan	J Gastroenterol		Online ahead of print	2023
Ishige T, Shimizu T, Watanabe K, Arai K, Kamei K, Kudo T, Kunisaki R, Tokuhara D, Naganuma M, Mizuochi T, Murashima A, Inoki Y, Iwata N, Iwama I, Koinuma S, Shimizu H, Jimbo K, Takaki Y, Takahashi S, Cho Y, Nambu R, Nishida D, Hagiwara SI, Hikita N, Fujikawa H, Hosoi K, Hosomi S, Mikami Y, Miyoshi J, Yagi R, Yokoyama Y, Hisamatsu T	Expert consensus on vaccination in patients with inflammatory bowel disease in Japan.	J Gastroenterol	58(2)	135-157	2023
Ito T, Ikeura T, Notohara K, Masuda M, Nakamaru K, Nakayama S, Shimatani M, Takaoka M, Okazaki K, Naganuma M	A case of type 2 autoimmune pancreatitis with spontaneous remission.	Clin J Gastroenterol		Online ahead of print	2023
Ohtsu T, Takahashi Y, Tokuhara M, Tahara T, Ishida M, Miyasaka C, Tsuta K, Naganuma M	Gastric hamartomatous inverted polyp: Report of three cases with a review of the endoscopic and clinicopathological features	DEN Open	3(1)	e198	2023
Yamashina T, Shimatani M, Sumimoto K, Kano M, Yuba T, Naganuma M	Difficult to evaluate obstructive colorectal cancer diagnosed by gel immersion endoscopy - A video vignette.	Colorectal Dis	25(3)	502-503	2023
Uragami T, Ando Y, Aoi M, Fukui T, Matsumoto Y, Horitani S, Tomiyama T, Okazaki K, Tsuneyama K, Tanaka H, Naganuma M	Establishment of a Novel Colitis-Associated Cancer Mouse Model Showing Flat Invasive Neoplasia.	Dig Dis Sci		Online ahead of print	2022
Masuda M, Fukata N, Sano Y, Nishimon S, Aoi M, Tomiyama T, Fukui T, Omiya M, Okazaki K, Naganuma M	Analysis of the initial dose and reduction rate of corticosteroid for ulcerative colitis.	JGH Open	6(9)	612-620	2022
Yamashina T, Shimatani M, Takeo M, Sasaki K, Orino M, Saito N, Matsumoto H, Kasai T, Kano M, Horitani S, Sumimoto K, Mitsuyama T, Yuba T, Seki T, Naganuma M	Viral Infection in Esophageal, Gastric, and Colorectal Cancer.	Healthcare (Basel)	10(9)	1626	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Takeo M, Nishio A, Masuda M, Aoi K, Okazaki T, Fukui T, Uchida K, <u>Naganuma M</u> , Okazaki K	Repeated Stimulation of Toll-Like Receptor 2 and Dectin-1 Induces Chronic Pancreatitis in Mice Through the Participation of Acquired Immunity.	Dig Dis Sci	67(8)	3783-3796	2022
Yamaguchi T, Yoshida K, Murata M, Suwa K, Tsuneyama K, Matsuzaki K, <u>Naganuma M</u>	Smad3 Phospho-Isoform Signaling in Nonalcoholic Steatohepatitis.	Int J Mol Sci	23(11)	6270	2022
Kishi M, Hirai F, Takatsu N, Hisabe T, Takada Y, Beppu T, Takeuchi K, <u>Naganuma M</u> , Ohtsuka K, Watanabe K, Matsumoto T, Esaki M, Koganei K, Sugita A, Hata K, Futami K, Ajioka Y, Tanabe H, Iwashita A, Shimizu H, Arai K, Suzuki Y, Hisamatsu T	A review on the current status and definitions of activity indices in inflammatory bowel disease: how to use indices for precise evaluation.	J Gastroenterol	57(4)	246-266	2022
Kumagai H, Shimizu T, Iwama I, Hagiwara SI, Kudo T, Takahashi M, Saito T, Kunisaki R, Uchino M, Hiraoka S, <u>Naganuma M</u> , Sugimoto K, Miyoshi J, Shibuya T, Hisamatsu T	A consensus statement on health-care transition for childhood-onset inflammatory bowel disease patients.	Pediatr Int	64(1)	e15241	2022
Ikebata A, Okabayashi K, Tsuruta M, Shigeta K, Seishima R, Shimoda M, <u>Naganuma M</u> , Kitagawa Y	Colectomy risk score predicts pouchitis in patients with ulcerative colitis	Updates Surg	74(2)	649-655	2022
Ohtsu T, Takahashi Y, Tokuhara M, Tahara T, Ishida M, Miyasaka C, Tsuta K, <u>Naganuma M</u> .	Gastric hamartomatous inverted polyp: Report of three cases with a review of the endoscopic and clinicopathological features	DEN Open	3(1)	e198	2022
Masuda M, Fukata N, Sano Y, Nishimon S, Aoi M, Tomiyama T, Fukui T, Omiya M, Okazaki K, <u>Naganuma M</u> .	Analysis of the initial dose and reduction rate of corticosteroid for ulcerative colitis in clinical practice	JGH open : an open access journal of gastroenterology and hepatology	6(9)	612-620	2022
福井寿朗, 本澤有介, 深田憲将, 長沼誠.	【IBDの既存治療を最新の知見から見直す!】IBDのチオプリン製剤による治療を見直す.	IBD Research	16(4)	237-242	2022
佐野泰樹, 長沼誠	【実践!最新のIBD病勢モニタリング】便マーカー(カルプロテクチン、FIT)の活用法	IBD Research	16(2)	66-71	2022
池浦司, 高折綾香, 伊藤嵩志, 中丸洸, 榊田昌隆, 中山新士, 長沼誠	【急性膵炎をめぐる諸問題】厚生労働省重症度判定基準の課題(国際比較も含めて)	消化器・肝臓内科	12(5)	451-457	2022
福井寿朗, 長沼誠	ステロイド治療	日本臨床	80(3)	439-443	2022
長沼誠, 深田憲将, 佐野泰樹, 西紋周平, 富山尚, 福井寿朗	潰瘍性大腸炎における粘膜治癒評価の意義 通常内視鏡の立場から	胃と腸	57(2)	132-140	2022
長沼誠	青黛	消化器病学サイエンス	6(3)	183	2022
池浦司, 中丸洸, 伊藤嵩志, 榊田昌隆, 高折綾香, 住本貴美, 中山新士, 島谷昌明, 内田一茂, 高岡亮, 岡崎和一, 長沼誠	【IgG4関連疾患大全-自己免疫性膵炎とIgG4関連硬化性胆管炎を中心に-】自己免疫性膵炎自己免疫性膵炎と膵癌との関係性	胆と膵	43(臨増特大)	1169-1172	2022
中村尚広, 長沼誠	IBD難治例への対応	薬事	64(12)	2459-2463	2022
佐野泰樹, 本澤有介, 長沼誠	UCにおけるバイオ製剤の選択	臨床消化器内科	38(4)	401-406	2022
Nakamura N, Yoshida K, Tsuda R, Murata M, Yamaguchi T, Suwa K, Ichimura M, Tsuneyama K, Matsuzaki K, Nakano T, Hirohara J, Seki T, Okazaki K, Gershwin ME, <u>Naganuma M</u>	Phospho-Smad3 signaling is predictive biomarker for hepatocellular carcinoma risk assessment in primary biliary cholangitis patients.	Front Biosci (Landmark Ed)	26(12)	1480-1492	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ando K, Fujiya M, Watanabe K, Hiraoka S, Shiga H, Tanaka S, Iijima H, Mizushima T, Kobayashi T, Nagahori M, Ikeuchi H, Kato S, Torisu T, Kobayashi K, Higashiyama M, <u>Fukui T</u> , Kagaya T, Esaki M, Yanai S, Abukawa D, <u>Naganuma M</u> , Motoya S, Saruta M, Bamba S, Sasaki M, Uchiyama K, Fukuda K, Suzuki H, Nakase H, Shimizu T, Iizuka M, Watanabe M, Suzuki Y, Hisamatsu T	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan,	J Gastroenterol	56(12)	1062-1079	2021
Miyamoto S, <u>Fukui T</u> , Horitani S, Tanimura Y, Matsumoto Y, Suzuki R, Takahashi YU, Kishimoto M, Tomiyama T, Nishio A, Okazaki K, <u>Naganuma M</u>	Linker Threonine-phosphorylated Smad2/3 Is a Biomarker of Colorectal Neoplastic Stem-like Cells that Correlates With Carcinogenesis.	Anticancer Res	41(10)	4789-4799	2021
Hirata K, Yamada Y, Hamamoto Y, Tsunoda K, Muramatsu H, Horie S, Sukawa Y, <u>Naganuma M</u> , Nakagawa T, Kanai T	Prospective feasibility study of indigo naturalis ointment for chemotherapy-induced oral mucositis.	BMJ Supportive & Palliative Care		mjspcare-2021-003199	2021
Ikebata A, Okabayashi K, Tsuruta M, Shigeta K, Seishima R, Shimoda M, <u>Naganuma M</u> , Kitagawa Y	Colectomy risk score predicts pouchitis in patients with ulcerative colitis	Update in surgery	Online ahead of print		2021
Takaori A, Ikeura T, Hori Y, Ito T, Nakamaru K, Masuda M, Mitsuyama T, Miyoshi H, Shimatani M, Takaoka M, Okazaki K, <u>Naganuma M</u> .	Rectally Administered Low-Dose Diclofenac Has No Effect on Preventing Post-Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography Pancreatitis: A Propensity Score Analysis.	Pancreas	50(7)	1024-1029	2021
Tomiyama T, Shijimaya T, Sano Y, Kobayashi S, Fukui T, Ishida M, <u>Naganuma M</u> .	Large Metastatic Cardiac Tumor from Ascending Colon Cancer with Autopsy.	Case Reports in Gastroenterology	15(2)	703-708	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsuura M, Matsuoka K, Kobayashi T, Saruta M, Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, <u>Naganuma M</u> , Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosegawa T, Koike K	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020	Journal of gastroenterology	J Gastroenterol	Online ahead of print	2021
Ikebata A, Shimoda M, Okabayashi K, Uraoka T, Maehata T, Sugimoto S, Mutaguchi M, <u>Naganuma M</u> , Kameyama K, Yajagi N, Kanai T, Kitagawa Y, Kanai Y, Iwao Y	Demarcated redness associated with increased vascular density/size: a useful marker of flat-type dysplasia in patients with ulcerative colitis	Endoscopy international open	9(4)	E552-E561	2021
<u>Naganuma M</u> , Watanabe K, Motoya S, Ogata H, Matsui T, Suzuki Y, ursos Lyann, Sakamoto S, Shikamura M, Hori T, Frenandez J, Watanabe M, Hibi T, Kanai T	Potential benefits of immunomodulator use with vedolizumab for maintenance of remission in ulcerative colitis.	Journal of Gastroenterology Hepatology	37(1)	81-88	2021
Nomura E, Sujino T, Hosoe N, Yoshimatsu Y, Tanemoto S, Takabayashi K, Mutaguchi M, Shimoda M, <u>Naganuma M</u> , Ogata H, Kanai T	Characteristics of the Mucosal Surface on Scanning Electron Microscopy in Patients with Remitting Ulcerative Colitis.	Dig Dis Sci	66(9)	3141-3148	2021
Matsuoka K, <u>Naganuma M</u> , Hibi T, Tsubouchi H, Oketani K, Katsurabara T, Hojo S, Takenaka O, Kawano T, Imai T, Kanai T	Phase 1 study on the safety and efficacy of E6011, anti-fractalkine antibody, in patients with Crohn's disease.	J Gastroenterol Hepatol	36(8)	2180-2186	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Watanabe C, Nagahori M, Fujii T, Yokoyama K, Yoshimura N, Kobayashi T, Yamagami H, Kitamura K, Takashi K, Nakamura S, <u>Naganuma M</u> , Ishihara S, Esaki M, Yonezawa M, Kunisaki R, Sakuraba A, Kuji N, Miura S, Hibi T, Suzuki Y, Hokari R	Non-adherence to Medications in Pregnant Ulcerative Colitis Patients Contributes to Disease Flares and Adverse Pregnancy Outcomes.	Dig Dis Sci	66(2)	577-586	2021
Hiraide T, Teratani T, Uemura S, Yoshimatsu Y, <u>Naganuma M</u> , Shinya Y, Momoi M, Kobayashi E, Hakamata Y, Fukuda K, Kanai T, Kataoka M	Pulmonary Arterial Hypertension Caused by AhR Signal Activation Protecting Against Colitis.	Am J Respir Crit Care Med	203(3)	385-388	2021
Suzuki K, Kakuta Y, Naito T, Takagawa T, Hanai H, Araki H, Sasaki Y, Sakuraba H, Sasaki M, Hisamatsu T, Motoya S, Matsumoto T, Onodera M, Ishiguro Y, Nakase H, Andoh A, Hiraoka S, Shinozaki M, Fujii T, Katsurada T, Kobayashi T, Fujiya M, Otsuka T, Oshima N, Suzuki Y, Sato Y, Hokari R, Noguchi M, Ohta Y, Matsuura M, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kudo H, Minegishi N, Okamoto D, Shimoyama Y, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Li D, McGovern DPB, Kinouchi Y, Masamune A; <u>MENDEL study group (Makoto Naganuma)</u>	Genetic Background of Mesalamine-induced Fever and Diarrhea in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Inflamm Bowel Dis		Online ahead of print	2021
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Miyana R, Nanki K, Fukuhara K, Mikami Y, Mizuno S, Sujino T, Mutaguchi M, <u>Naganuma M</u> , Yahagi N, Ogata H, Kanai T	Efficacy of Novel Ultrathin Single-Balloon Enteroscopy for Crohn's Disease: A Propensity Score-Matched Study	Gut Liver	14(5)	619-625	2021
<u>Naganuma M</u> , Yokoyama Y, Motoya S, Watanabe K, Sawada K, Hirai F, Yamamoto T, Hanai H, Omori T, Kanai T, Hibi T; CAPTAIN study Group	Efficacy of apheresis as maintenance therapy for patients with ulcerative colitis in an open-label prospective multicenter randomised controlled trial.	J Gastroenterol	55(4)	390-400	2021
<u>Naganuma M</u> , Sugimoto S, Fukuda T, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Abe T, Suzuki Y, Kanai T, for the INDIGO Study Group	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study.	J Gastroenterol	55(2)	169-180	2021
長沼誠	炎症性腸疾患は外来で治療できる	内科	128(3)	596-599	2021
長沼誠	炎症性腸疾患に対する分子標的治療	Intestine	25(3)	243-244	2021
福井寿朗, 深田憲将, 長沼誠	最新のガイドラインからみた潰瘍性大腸炎内科治療	IBD Research	15(3)	136-137	2021
長沼誠, 深田憲将, 福井寿朗	炎症性腸疾患に対する生物学的製剤・JAK阻害剤—IBD診療ガイドライン2020を読み解く—	日本消化器病学会雑誌	118(7)	618-627	2021
長沼誠	サイトメガロウイルス(CMV)腸炎合併(疑いを含む)活動性潰瘍性大腸炎に対する抗ウイルス薬は必要か?	IBD Research	15(2)	119-123	2021
長沼誠, 田中敏宏, 深田憲将, 福井寿朗	【炎症性腸疾患診療の新たな展開】潰瘍性大腸炎 薬物療法	臨牀と研究	98(5)	530-535	2021
長沼誠	【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第2章) 消化器 炎症性腸疾患	内科	127(4)	566-568	2021
田中敏宏, 長沼誠	炎症性腸疾患の既存治療 —5-ASA製剤、ステロイド製剤、チオプリン製剤—	消化器内科	3(4)	55-62	2021
<u>Naganuma M</u>	Solving the questions regarding 5-aminosalicylate formulation in the treatment of ulcerative colitis.	J Gastroenterol	55	1013-1022	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Naganuma M, Kobayashi T, Nasuno M, Motoya S, Kato S, Matsuoka K, Hokari R, Watanabe C, Sakamoto H, Yamamoto H, Sasaki M, Watanabe K, Iijima H, Endo Y, Ichikawa H, Ozeki K, Tanida S, Ueno N, Fujiya M, Sako M, Takeuchi K, Sugimoto S, Abe T, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T	Significance of conducting 2 types of fecal tests in patients with ulcerative colitis.	Clin Gastroenterol Hepatol	18	1102-1111	2020
Fukuda T, Naganuma M, Takabayashi K, Hagihara Y, Tanemoto S, Nomura E, Yoshimatsu Y, Sugimoto S, Nanki K, Mizuno S, Mikami Y, Fukuhara K, Sujino T, Mutaguchi M, Inoue N, Ogata H, Iwao Y, Abe T, Kanai T	Mucosal concentrations of N-acetyl-5-aminosalicylic acid is related to endoscopic activity in ulcerative colitis patients with mesalamine.	J Gastroenterol Hepatol	35	1878-1885	2020
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Nanki K, Fukuhara K, Mikami Y, Mizuno S, Sujino T, Mutaguchi M, Naganuma M, Yahagi N, Ogata H, Kanai T	Significance of endoscopic deep small bowel evaluation using balloon-assisted enteroscopy for Crohn's disease in clinical remission.	J Gastroenterol	56(1)	25-33	2021
Takaoka M, Shimatani M, Takayama T, Miyoshi H, Mitsuyama T, Masuda M, Ito T, Nakamaru K, Miyamoto S, Tokuhara M, Ikeura T, Okazaki K, Naganuma M	Usefulness of half-covered metallic stent placement in preventing acute cholecystitis complication in pancreatic cancer-induced distal biliary stricture.	JGH Open	4(6)	1140-1145	2021
長沼誠	潰瘍性大腸炎におけるcolitis-associated cancer 診断の現状と問題点	日本消化器病学会雑誌	117	939-946	2020
長沼誠	内科疾患の診断基準病型分類重症度 炎症性腸疾患	内科	127	566-568	2020
Esaki M, Sakata Y	Clinical Impact of Endoscopic Evaluation of the Small Bowel in Crohn's Disease	Digestion	104(1)	51-57	2023
Yamawaka T, Kitamoto H, Nojima M, Kazama T, Wagatsuma K, Ishigami K, Yamamoto S, Honzawa Y, Matsuura M, Seno H, Nakase H.	The association between antigenemia, histology with immunohistochemistry, and mucosal PCR in the diagnosis of ulcerative colitis with concomitant human cytomegalovirus infection.	JGastroenterol.	58(1)	44-52	2023
Nakase H, Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, Saruta M, Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, Hisamatsu T.	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey.	J Gastroenterol.	58(3)	205-216	2023
Yumemi T, Yoshii S, Yamakawa T, Hayashi Y, Miyake T, Yokoyama Y, Sudo G, Mitsuhashi K, Nojima M, Yamano HO, Nakase H.	Red blood cell distribution width as a novel marker for predicting bleeding after endoscopic resection for early gastric cancer.	DEN Open.	3(1)	e123	2022
Hayashi Y, Wagatsuma K, Nojima M, Yamakawa T, Ichimiya T, Yokoyama Y, Kazama T, Hirayama D, Nakase H.	The characteristics of gastrointestinal symptoms in patients with severe COVID-19: a systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol.	56	409-420	2021
Sakemi R, Miyakawa M, Tanaka H, Nasuno M, Motoya S, Tanuma T, Ishii M, Yanagisawa H, Yamashita M, Toita N, Suzuki R, Kobayashi T, Nojima M, So S.	Predicting a rapid response to adalimumab treatment and favorable short-term outcomes through the high platelet count in patients with ulcerative colitis: A multicenter retrospective cohort study	Medicine (Baltimore)	99(47)	e23344	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Seishima R, Okabayashi K, Ikeuchi H, Uchino M, Futami K, Noguchi T, Ohge H, Iseki Y, Watanabe K, Itabashi M, Okamoto K, Toiyama Y, Ogino T, Nakamura M, Yamada K, Wakai T, Sato Y, Kimura H, <u>Takahashi K</u> , Hida K, Kinugasa Y, Ishida F, Okuda J, Daito K, Koyama F, Ueno H, Yamamoto T, Yamamoto S, Hanai T, Maemoto A, Arakaki J, Komori K, Akagi Y, Shida D, Yamaguchi S, Matsuda K, Maeda K, Noake T, Nezu R, Sasaki S, Hasegawa J, Sunami E, Kanemitsu Y, Katsumata K, Uehara K, Kiyomatsu T, Suto T, Kazama S, Yamada T, Goi T, Ishihara S, Ajioka Y, Sugihara K.	Effect of Biologics on the Risk of Advanced-Stage Inflammatory Bowel Disease-Associated Intestinal Cancer: A Nationwide Study.	Am J Gastroenterol.	Epub ahead of print.	doi: 10.14309/ajg.00000000000002149	2023
Noguchi T, Ishihara S, Uchino M, Ikeuchi H, Okabayashi K, Futami K, Tanaka S, Ohge H, Nagahara H, Watanabe K, Itabashi M, Okamoto K, Okita Y, Mizushima T, Mizuuchi Y, Yamada K, Shimada Y, Sato Y, Kimura H, <u>Takahashi K</u> , Hida K, Kinugasa Y, Okuda J, Daito K, Koyama F, Ueno H, Yamamoto T, Hanai T, Maemoto A, Oba K, Ajioka Y, Sugihara K; Study Group for Inflammatory Bowel Disease Associated Intestinal Cancers by the Japanese Society for Cancer of the Colon, Rectum.	Clinical features and oncological outcomes of intestinal cancers associated with ulcerative colitis and Crohn's disease.	J Gastroenterol.	58(1)	14-24	2023
高橋賢一	直腸手術における一時的ストーマの選択 ileostomy? Or colostomy?	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌	38 巻(3 号)	145-153	2022
高橋賢一、羽根田祥、徳村弘実、舟山裕士	【炎症性腸疾患の治療戦略と手術】クローン病クローン病の肛門部病変に対する手術	手術	76 巻(7 号)	1069-1077	2022
高橋賢一、羽根田祥、徳村弘実	小腸 Crohn 病に対する腹腔鏡手術 (HALS を含めて) 基本的なストラテジーと実際.	外科	83(5)	464-471	2021
高橋賢一、羽根田祥、徳村弘実、舟山裕士	【大腸肛門外科における消化管ストーマ造設術とその関連手技】傍ストーマヘルニア修復術	手術	75(5)	871-877	2021
Kohyama A, Watanabe K, Sugita A, Futami K, Ikeuchi H, <u>Takahashi K</u> , Suzuki Y, Fukushima K.	Ulcerative colitis-related severe enteritis: an infrequent but serious complication after colectomy.	J Gastroenterol	56(3)	240-249	2021
高橋賢一、羽根田祥.	【術前・術後必携2020】合併症を有する患者の術前・術後管理 消化器系 炎症性腸疾患.	消化器外科	43(5)	774-776	2020
高橋賢一	「いまさら聞けない」基本から「ケアに強くなる」秘訣まで 最新&とことん!炎症性腸疾患.	消化器ナーシング	25(12)	1224-1237	2020
Nakase H, Esaki M, Hirai F, Kobayashi T, Matsuoka K, Matsuura M, Naganuma M, Saruta M, Tsuchiya K, Uchino M, Watanabe K, Hisamatsu T; TRADE consensus group (<u>Matsumoto T</u>).	Treatment escalation and de-escalation decisions in Crohn's disease: Delphi consensus recommendations from Japan, 2021.	J Gastroenterol.	Apr;58(4)	313-345	2023 Epub 2023 Feb 11
Bak MTJ, Albéniz E, East JE, Coelho-Prabhu N, Suzuki N, Saito Y, <u>Matsumoto T</u> , Banerjee R, Kaminski MF, Kiesslich R, Coron E, de Vries AC, van der Woude CJ, Bisschops R, Hart AL, Itzkowitz SH, Pioche M, Moons LMG, Oldenburg B.	Endoscopic management of patients with high-risk colorectal colitis-associated neoplasia: a Delphi study.	Gastrointest Endosc. 9	Apr;97(4)	767-77	2023 Epub 2022 Dec 9.

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamamoto T, Nakase H, Watanabe K, Shinzaki S, Takatsu N, Fujii T, Okamoto R, Matsuoka K, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Shiga H, Bamba S, Mikami Y, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, Matsumoto T, Maemoto A, Murata Y, Yoshigoe S, Nagasaka S, Yajima T, <u>Hisamatsu T</u> ; iCREST-CD Study Group.	Diagnosis and Clinical Features of Perianal Lesions in Newly Diagnosed Crohn's Disease: Subgroup Analysis from Inception Cohort Registry Study of Patients with Crohn's Disease (iCREST-CD).	J Crohns Colitis.	Mar 4	jjad038. doi: 10.1093/ecc o- jcc/jjad038 .	2023
Nakase H, Wagatsuma K, Nojima M, Matsumoto T, Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Takeuchi K, Tamura S, Kinjo F, Ueno N, Naganuma M, Watanabe K, Moroi R, Nishimata N, Motoya S, Kurahara K, Takahashi S, Maemoto A, Sakuraba H, Saruta M, Tominaga K, Hisabe T, Tanaka H, Terai S, Hiraoka S, Takedomi H, Narimatsu K, Endo K, Nakamura M, <u>Hisamatsu T</u> .	Anxiety and behavioral changes in Japanese patients with inflammatory bowel disease due to COVID-19 pandemic: a national survey.	J Gastroenterol.	Mar;58(3)	205-216.	2023
Nemoto D, Guo Z, Katsuki S, Takezawa T, Maemoto R, Kawasaki K, Inoue K, Akutagawa T, Tanaka H, Sato K, Omori T, Takanashi K, Hayashi Y, Nakajima Y, Miyakura Y, <u>Matsumoto T</u> , Yoshida N, Esaki M, Uraoka T, Kato H, Inoue Y, Peng B, Zhang R, Hisabe T, Matsuda T, Yamamoto H, Tanaka N, Lefor AK, Zhu X, Togashi K.	Computer-Aided Diagnosis of Early-Stage Colorectal Cancer Using Non-Magnified Endoscopic White Light Images.	Gastrointest Endosc.	Feb 2	S0016- 5107(23)000 89-5.	2023
Nagano K, Hata E, Asano T, Tsuchiya H, Takagishi M, Yamazaki H, Tominaga S, <u>Matsumoto T</u> .	Safety and Effectiveness of Ustekinumab for Crohn's Disease in Japanese Post-marketing Surveillance in Biologic-Naive and -Experienced Conriemed.	Crohns Colitis 360.	Jan 12;5(1)	otad001.	2023
Yamamoto H, Yano T, Araki A, Esaki M, Ohtsuka K, Ohmiya N, Oka S, Nakase H, Bamba S, Hirai F, Hosoe N, Matsuda T, Mitsui K, Watanabe K, Ogata H, Katsuki S, <u>Matsumoto T</u> , Fujishiro M, Fujimoto K, Inoue H.	Guidelines for endoscopic balloon dilation in treating Crohn's disease-associated small intestinal strictures (supplement to the Clinical Practice Guidelines for Enteroscopy).	Dig Endosc.	Nov;34(7)	1278-1296	2022
Matsuoka K, Fujii T, Okamoto R, Yamada A, Kunisaki R, Matsuura M, Watanabe K, Shiga H, Takatsu N, Bamba S, Mikami Y, Yamamoto T, Shimoyama T, Motoya S, Torisu T, Kobayashi T, Ohmiya N, Saruta M, Matsuda K, <u>Matsumoto T</u> , Nakase H, Maemoto A, Shinzaki S, Murata Y, Yoshigoe S, Sasaki A, Yajima T, Hisamatsu T.	Characteristics of adult patients newly diagnosed with Crohn's disease: interim analysis of the nation-wide inception cohort registry study of patients with Crohn's disease in Japan (iCREST-CD).	J Gastroenterol.	Nov;57(11)	867-878.	2022
Kita T, Ashizuka S, Takeda T, <u>Matsumoto T</u> , Ohmiya N, Nakase H, Motoya S, Ohi H, Mitsuyama K, Hisamatsu T, Kanmura S, Kato N, Ishihara S, Nakamura M, Moriyama T, Saruta M, Nozaki R, Yamamoto S, Inatsu H, Watanabe K, Kitamura K.	Adrenomedullin for biologic-resistant Crohn's disease: a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2a clinical trial.	J Gastroenterol Hepatol.	Nov;37(11)	2051-2059.	2022
Oizumi T, Mayanagi T, Toya Y, Sugai T, <u>Matsumoto T</u> , Sobue K.	NLRP3 Inflammasome Inhibitor OLT1177 Suppresses Onset of Inflammation in Mice with Dextran Sulfate Sodium-Induced Colitis.	Dig Dis Sci.	Jul;67(7)	2912-2921	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kakuta Y, Iwaki H, Umeno J, Kawai Y, Kawahara M, Takagawa T, Shimoyama Y, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Watanabe K, Nakamura S, Nakase H, Sasaki M, Hanai H, Fuyuno Y, Hirano A, <u>Matsumoto T</u> , Kudo H, Minegishi N, Nakamura M, Hisamatsu T, Andoh A, Nagasaki M, Tokunaga K, Kinouchi Y; MENDEL study group, Masamune A.	Crohn's disease and early exposure to thiopurines are independent risk factors for mosaic chromosomal alterations in patients with inflammatory bowel diseases.	J Crohns Colitis.	May 10;16(4)	643-655	2022
Kishi M, Hirai F, Takatsu N, Hisabe T, Takada Y, Beppu T, Takeuchi K, Naganuma M, Ohtsuka K, Watanabe K, <u>Matsumoto T</u> , Esaki M, Koganei K, Sugita A, Hata K, Futami K, Ajioka Y, Tanabe H, Iwashita A, Shimizu H, Arai K, Suzuki Y, <u>Hisamatsu T</u> .	A review on the current status and definitions of activity indices in inflammatory bowel disease: how to use indices for precise evaluation.	J Gastroenterol.	Apr;57(4)	246-266.	2022
Nakase H, Hayashi Y, Hirayama D, <u>Matsumoto T</u> , Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Abukawa D, Hisamatsu T; J-COSMOS group.	Interim analysis of a multicenter registry study of COVID-19 patients with inflammatory bowel disease in Japan (J-COSMOS).	J Gastroenterol.	Mar;57(3):	174-184.	2022
Umeno J, <u>Matsumoto T</u> , et al	SLC02A1 gene is the causal gene for both primary hypertrophic osteoarthropathy and hereditary chronic enteropathy	J Orthop Translat	28	10-11	2021
Suzuki K, Kakuta Y, Naito T, Takagawa T, Hanai H, Araki H, Sasaki Y, Sakuraba H, Sasaki M, Hisamatsu T, Motoya S, <u>Matsumoto T</u> , Onodera M, Ishiguro Y, Nakase H, Andoh A, Hiraoka S, Shinozaki M, Fujii T, Katsurada T, Kobayashi T, Fujiya M, Otsuka T, Oshima N, Suzuki Y, Sato Y, Hokari R, Noguchi M, Ohta Y, Matsuura M, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kudo H, Minegishi N, Okamoto D, Shimoyama Y, Moroi R, Kuroha M, Shiga H, Li D, McGovern DPB, Kinouchi Y, Masamune A; MENDEL study group.	Genetic Background of Mesalamine-induced Fever and Diarrhea in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Inflamm Bowel Dis.	Jan 5;28(1).	21-31	2022
Urushikubo J, <u>Matsumoto T</u> , et al.	IgA vasculitis in a patient with ulcerative colitis under infliximab: drug-induced or genetic?	Clin J Gastroenterol	14	198-203	2021
Nakase H, <u>Matsumoto T</u> , Matsuura M, Iijima H, Matsuoka K, Ohmiya N, Ishihara S, Hirai F, Wagatsuma K, Yokoyama Y, Hisamatsu T.	Expert Opinions on the Current Therapeutic Management of Inflammatory Bowel Disease during the COVID-19 Pandemic: Japan IBD COVID-19 Taskforce, Intractable Diseases, the Health and Labor Sciences Research.	Digestion.	Sep 4	1-9	2020
Kawasaki K, <u>Matsumoto T</u> , et al	Mesenteric phlebosclerosis complicating colonic cancer treated by endoscopic submucosal dissection	Clin J Gastroenterol	13	1183-1188	2020
Kakuta Y, Ichikawa R, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Torisu T, Watanabe K, Asakura A, Nakano T, Izumiya Y, Okamoto D, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Naito T, Esaki M, Kawai Y, Tokunaga K, Nakamura M, <u>Matsumoto T</u> , Nagasaki M, Kinouchi Y, Unno M, Masamune A.	An integrated genomic and transcriptomic analysis reveals candidates of susceptibility genes for Crohn's disease in Japanese populations	Sci Rep	24	10236	2020
Neumann H, <u>Matsumoto T</u> , et al.	Practical advice for management of inflammatory bowel diseases patients during the COVID-19 pandemic: World Endoscopy Organization Statement	Dig Endosc	32	658-662	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Watanabe K, <u>Matsumoto T</u> , et al.	Evidence-based diagnosis and clinical practice guidelines for intestinal Behçet's disease 2020 edited by Intractable Diseases, the Health and Labour Sciences Research Grants	J Gastroenterol	55	679-700	2020
Tsuzuki Y, Aoyagi R, Miyaguchi K, Ashitani K, Ohgo H, Yamaoka M, Ishizawa K, Kayano H, Hisamatsu T, Umeno J, Hosoe N, <u>Matsumoto T</u> , Nakamoto H, Imaeda H.	Chronic Enteropathy Associated with SLC02A1 with Pachydermoperiostosis.	Intern Med.	59(24)	3147-3154.	2020
Yanai S, <u>Matsumoto T</u> , et al	Immune checkpoint inhibitor-induced diarrhea: Clinicopathological study of 11 patients	Dig Endosc	32	616-620	2020
Irisawa A, <u>Matsumoto T</u> , et al.	Gastrointestinal endoscopy in the era of the acute pandemic of coronavirus disease 2019: Recommendations by Japan Gastroenterological Endoscopy Society (Issued on April 9th, 2020)	Dig Endosc	32	648-650	2020
Yanai S, <u>Matsumoto T</u> , et al.	Patients' preference of topical therapy for ulcerative colitis in Japan: A web-based 3T survey	Crohn Colitis 360	2	030	2020
Omori T, <u>Matsumoto T</u> , et al.	A novel capsule endoscopic score for Crohn's disease	Crohn Colitis 360	2	040	2020
原田英, 梅野淳嗣, 森崎晋史, 才木琢登, 谷口義章, 鈴木俊幸, 松野雄一, 冬野雄太, 鳥巢剛弘, 末兼浩史	貧血の改善にカルボキシマルトース第二鉄注射液が有効であった非特異性多発性小腸潰瘍	日本消化器病学会雑誌	119	651-657	2022
梅野淳嗣, 鳥巢剛弘	【図説「胃と腸」画像診断用語集 2022】疾患下部消化管 CEAS(chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene)	胃と腸	57	651	2022
梅野淳嗣, 内田恵一, 松本主之	【消化管の希少な炎症性疾患を考える】非特異性多発性小腸潰瘍症(CEAS)	日本消化器病学会雑誌	119	201-209	2022
Inoue M, <u>Uchida K</u> , Matsushita K, Koike Y, Toiyama Y.	Incisional negative pressure wound therapy for perineal wound in Crohn's disease.	Pediatr Int.	Mar 6.	doi: 10.1111/ped.14435.	2021
Taniguchi K, Inoue M, Arai K, <u>Uchida K</u> , Migita O, Akemoto Y, Hirayama J, Takeuchi I, Shimizu H, Hata K.	Novel TNFAIP3 microdeletion in a girl with infantile-onset inflammatory bowel disease complicated by a severe perianal lesion.	Hum Genome Var.	14	1	2021
梅野淳嗣, 冬野雄太, 松野雄一, 岡本康治, 鳥巢剛弘	【炎症性腸疾患診療の新たな展開】非特異性多発性小腸潰瘍症(CEAS)	臨牀と研究	98	573-578	2021
松本主之, 梅野淳嗣	【消化管の非腫瘍性疾患-最新の知見と注目すべき疾患-】CEAS:疾患概念、臨床・病理像、確定診断	病理と臨床	39	560-564	2021
梅野 淳嗣, 冬野 雄太, 松野 雄一, 鳥巢 剛弘	【最近注目されている腸の炎症性疾患】非特異性多発性小腸潰瘍症/CEAS	日本大腸肛門病学会雑誌	74	581-587	2021
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、問山裕二、梅野淳嗣、松本主之、田口智章	小児外科疾患における公費負担医療の種類と申請方法 非特異性多発性小腸潰瘍症.	小児外科	53	332-336	2021
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、長野由佳、問山裕二、梅野淳嗣、松本主之、田口智章	非特異性多発性小腸潰瘍症	小児外科		332-336	2021
Fuyuki M, Usui N, Taguchi T, Hayakawa M, Masumoto K, Kanamori Y, Amari S, Yamoto M, Urushihara N, Inamura N, Yokoi A, Okawada M, Okazaki T, Toyoshima K, Furukawa T, Terui K, Ohfuji S, Tazuke Y, <u>Uchida K</u> , Okuyama H; Japanese Congenital Diaphragmatic Hernia Study Group.	Prognosis of conventional vs. high-frequency ventilation for congenital diaphragmatic hernia: a retrospective cohort study.	J Perinatol.	Nov 11.	doi: 10.1038/s41372-020-00833-6.	2020
Okita Y, Ohi M, Kitajima T, Shimura T, Yamamoto A, Fujikawa H, Okugawa Y, Matsushita K, Koike Y, Inoue M, <u>Uchida K</u> , Toiyama Y.	Clinical Discrimination of Chronic Pouchitis After Ileal Pouch-Anal Anastomosis in Patients with Ulcerative Colitis.	J Gastrointest Surg.	Nov 2.	doi: 10.1007/s11605-020-04842-w.	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kudo T, Abukawa D, Nakayama Y, Segawa O, <u>Uchida K</u> , Jimbo K, Shimizu T.	Nationwide survey of pediatric gastrointestinal endoscopy in Japan.	J Gastroenterol Hepatol.	Oct 31.	doi: 10.1111/jgh.15297.	2020
Yamamoto M, Ohfuji S, Urushihara N, Terui K, Nagata K, Taguchi T, Hayakawa M, Amari S, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, <u>Uchida K</u> , Furukawa T, Okawada M, Yokoi A, Kanamori Y, Usui N, Tazuke Y, Saka R, Okuyama H; Japanese Congenital Diaphragmatic Hernia Study Group.	Optimal timing of surgery in infants with prenatally diagnosed isolated left-sided congenital diaphragmatic hernia: a multicenter, cohort study in Japan.	Surg Today.	Oct 10.	doi: 10.1007/s00595-020-02156-7.	2020
Koike Y, Li B, Ganji N, Zhu H, Miyake H, Chen Y, Lee C, Janssen Lok M, Zozaya C, Lau E, Lee D, Chusilp S, Zhang Z, Yamoto M, Wu RY, Inoue M, <u>Uchida K</u> , Kusunoki M, Delgado-Olguin P, Mertens L, Daneman A, Eaton S, Sherman PM, Pierro A.	Remote ischemic conditioning counteracts the intestinal damage of necrotizing enterocolitis by improving intestinal microcirculation.	Nat Commun.	2	4950	2020
Kitajima T, Okita Y, Kawamura M, Kondo S, Toiyama Y, <u>Uchida K</u> , Kusunoki M.	The relationship between preoperative T helper cytokines in the ileal mucosa and the pathogenesis of pouchitis.	BMC Gastroenterol.	18	277	2020
Morimoto M, Sawada H, Yodoya N, Ohashi H, Toriyabe K, Hanaki R, Sugiura K, Toyoda H, Matsushita K, Koike Y, Otake K, Inoue M, <u>Uchida K</u> , Imai H, Mitani Y, Maruyama K, Komada Y, Ikeda T, Hirayama M.	Refractory Ileal Perforations in a Cytomegalovirus-Infected Premature Neonate Resolved After Ganciclovir Therapy.	Front Pediatr.	14	352	2020
Kumagai H, Kudo T, <u>Uchida K</u> , Kunisaki R, Sugita A, Ohtsuka Y, Arai K, Kubota M, Tajiri H, Suzuki Y, Shimizu T.	Transitional care for inflammatory bowel disease: A survey of Japanese pediatric gastroenterologists.	Pediatr Int.	63	65-71	2020
Kudo T, Arai K, <u>Uchida K</u> , Tajiri H, Hokari R, Suzuki Y, Shimizu T.	Very early-onset inflammatory bowel disease in Japan: A nationwide survey.	J Gastroenterol Hepatol.	36	151-155	2020
Kudo T, Fujii T, Maisawa SI, Sasaki M, <u>Uchida K</u> , Ida S, Kagimoto S, Yoden A, Shimizu T.	A Multicenter Prospective Survey on Early-Onset Inflammatory Bowel Disease in Japan.	Digestion.	18	1-9	2020
Masahata K, Usui N, Nagata K, Terui K, Hayakawa M, Amari S, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Urushihara N, Toyoshima K, <u>Uchida K</u> , Furukawa T, Okawada M, Yokoi A, Okuyama H, Taguchi T.	Risk factors for pneumothorax associated with isolated congenital diaphragmatic hernia: results of a Japanese multicenter study.	Pediatr Surg Int.	36	669-677	2020
Uchiyama K, Haruyama Y, Shiraishi H, Katahira K, Abukawa D, Ishige T, Tajiri H, <u>Uchida K</u> , Uchiyama K, Washio M, Kobashi E, Maekawa A, Okamoto K, Sairenchi T, Imamura Y, Ohhira S, Hata A, Kobashi G.	Association between Passive Smoking from the Mother and Pediatric Crohn's Disease: A Japanese Multicenter Study.	Int J Environ Res Public Health.	17	2926	2020
Matsushita K, Inoue M, Nagano Y, Koike Y, Otake K, Okita Y, <u>Uchida K</u> , Kusunoki M.	Safety of double-balloon enteroscopy in postoperative pediatric patients.	Pediatr Int.	62	1073-1076	2020
Inoue M, <u>Uchida K</u> , Nagano Y, Matsushita K, Koike Y, Otake K, Okita Y, Toiyama Y, Araki T, Kusunoki M.	Risk factors and intraoral breast milk application for methicillin-resistant Staphylococcus aureus colonization in surgical neonates.	Pediatr Int.	62	957-961	2020
内田恵一	小児期発症の炎症性腸疾患患者に対する栄養ケア	臨床栄養		692-697	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
内田恵一、井上幹大、小池勇樹、松下航平、大村悠介、大北喜基、間山裕二、楠正人	炎症性腸疾患の治療 外科治療	小児内科		1260-1264	2020
井上幹大、内田恵一、小池勇樹、松下航平、大村悠介、大北喜基、間山裕二、楠正人	小児炎症性腸疾患の予後および発がん	小児内科		1269-1272	2020
内田恵一、井上幹大、松下航平、小池勇樹、河俣あゆみ	基礎疾患のある小児のフィジカルアセスメント 消化器疾患②炎症性腸疾患	小児看護		1047-1054	2020
Sato T, Uchino M, Takeuchi J, Fujihira Y, Shimizu K, Yokoyama K, Yagi S, Kaku K, Takashima Y, Ikenouchi M, Kojima K, Kawai M, Nagase K, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Takagawa T, Ikeuchi H, Watanabe K, Shinzaki S	Short-term clinical evaluation of teduglutide for patients with Crohn's disease on home parenteral support for postoperative short bowel syndrome with intestinal failure	Clin Nutr	42	722-731	2023
Kondo K, Ono Y, Ohfuji S, Watanabe K, Yamagami H, Watanabe M, Nishiwaki Y, Fukushima W, Hirota Y, Suzuki Y; Japanese Case - Control Study Group for Ulcerative Colitis.	Smoking and drinking habits relating to development of ulcerative colitis in Japanese: a multicenter case-control study	JGH Open	7	61-67	2022
Yamamoto H, Yano T, Araki A, Esaki M, Ohtsuka K, Ohmiya N, Oka S, Nakase H, Bamba S, Hirai F, Hosoe N, Matsuda T, Mitsui K, Watanabe K, Ogata H, Katsuki S, Matsumoto T, Fujishiro M, Fujimoto K, Inoue H.	Guidelines for endoscopic balloon dilation in treating Crohn's disease-associated small intestinal strictures (Supplement to the Clinical Practice Guidelines for Enteroscopy)	Dig Endos	34	1278-1296	2022
Watanabe K, Gardiner S, Arai S	Notable gaps between patients' and physicians' perspectives on communication and disease management in Japan: multifaceted ad hoc analyses of the global Ulcerative Colitis Narrative Survey for further optimal care	Ther Adv Gastroenterol	15	1-15	2022
Wong SY, Dixon R, Martinez Pazos V, Gnjatich S, Colombel JF, Cadwell K; ICARUS-IBD Working Group (Stephanie Gold, Drew Helmus, Jessica Anne Neil, Stela Sota, Kyung Ku Jang, Krystal Ching, Mericien Venzon, Xiaomin Yao, Lucie Bernard, Xin Chen, Reema Navalurkar, Michelle Mendiola, Pamela Reyes-Mercedes, Sara Nunez, Stephanie Stanley, Darwin Jimenez, Michael Tankelevich, Brianne Phillipe, Julio Ramos, Kevin Tuballes, Vanessa Barcessat, Natalia Herrera, Jack Satsangi, Kenji Watanabe, Séverine Vermeire, Flavio Steinwurz, Mark Silverberg, David T Rubin, Giulia Roda, Walter Reinisch, Siew Chien Ng, James Lindsay, Jonas Halfvarson, Matthieu Allez, Vineet Ahuja, Maria Abreu).	Serological response to mRNA COVID-19 vaccines in IBD patients receiving biological therapies	Gastroenterology.	161	715-718	2021
Dubinsky MC, Watanabe K, Molander P, Peyrin-Biroulet L, Rubin M, Melmed GY, Deuring JJ, Woolcott J, Cappelleri JC, Steinberg K, Connor S.	Ulcerative Colitis Narrative Global Survey Findings: The Impact of Living with Ulcerative Colitis - a Patients' and Physicians' View	Inflamm Bowel Dis.	27	1747-1755	2021
Kojima K, Sato T, Uchino M, Yokoyama Y, Takagawa T, Ohda Y, Hida N, Watanabe K, Hori K, Miwa H, Ikeuchi H, Nakamura S, Shimizu M.	Clinical Characteristics and Risk Factors for Pneumocystis Jirovecii Pneumonia during Immunosuppressive Treatment in Patients with Ulcerative Colitis: A Retrospective Study.	J Gastrointestin Liver Dis.	29	167-173	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Watanabe K	Clinical management for small bowel lesions of Crohn's disease in the treat-to-target era: now is time to optimize treatment based on the dominant lesion	Intest Res.	18	347-354	2020
Watanabe K, Tanida S, Inoue N, Kunisaki R, Kobayashi K, Nagahori M, Arai K, Uchino M, Koganei K, Kobayashi T, Takeno M, Ueno F, Matsumoto T, Mizuki N, Suzuki Y, Hisamatsu T.	Evidence-based diagnosis and clinical practice guidelines for intestinal Behçet's disease 2020 edited by Intractable Diseases, the Health and Labour Sciences Research Grants.	J Gastroenterol	55	:679-700	2020
Miyazaki T, Watanabe K, Kojima K, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Hida N, Nakamura S.	Efficacies and Related Issues of Ustekinumab in Japanese Patients with Crohn's Disease: A Preliminary Study.	Digestion.	101	53-59.	2020
渡辺憲治、河合幹夫、横山陽子	腸管型ベーチェット病：疫学、診断から今後の課題まで	日本消化器病学会雑誌	119	217-226	2022
山本博徳、矢野智則、荒木昭博、江崎幹宏、大塚和朗、大宮直木、岡志郎、仲瀬裕志、馬場重樹、平井郁仁、細江直樹、松田知己、三井啓吾、渡辺憲治、緒方晴彦、勝木伸一、松本主之、藤城光弘、藤本一真、井上晴洋、久松理一、日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡学会ガイドライン委員会、ワーキング委員会、日本炎症性腸疾患学会、日本消化管学会、日本消化器病学会、日本小腸学会、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班	クローン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術ガイドライン(小腸内視鏡診療ガイドライン追補)	Gastroenterological Endoscopy	63	2253-2275	2021
渡辺 憲治、佐藤 寿行、上小鶴 孝二	全大腸 NBI 観察による潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡	Gastroenterological Endoscopy	62	2972-2979	2020
Okamoto R, Mizutani T, Shimizu H	Development and Application of Regenerative Medicine in Inflammatory Bowel Disease	Digestion	104(1)	24-29	2023
Watanabe S, Ogasawara N, Kobayashi S, Kirino S, Inoue M, Hiraguri Y, Nagata S, Shimizu H, Ito G, Mizutani T, Nemoto Y, Tsuchiya K, Okamoto R, Watanabe M, Yui S.	Organoids transplantation as a new modality to design epithelial signature to create a membrane-protective sulfomucin-enriched segment.	J Gastroenterol.	ahead of print.		2023
Yamada D, Kojima Y, Hosoya A, Suzuki M, Watabe T, Inoue T, Tsugawa N, Asakawa T, Yonemoto Y, Onizawa M, Nemoto Y, Oshima S, Shimonaka M, Kuba K, Ishida J, Fukamizu A, Penninger JM, Watanabe M, Okamoto R, Nagaishi T	Apelin expression is downregulated in T cells in a murine model of chronic colitis.	Iochem Biophys Res Commun.	5		2023
Takenaka K, Kitazume Y, Kawamoto A, Fujii T, Udagawa Y, Watanabe R, Shimizu H, Hibiya S, Nagahori M, Ohtsuka K, Sato H, Hirakawa A, Watanabe M, Okamoto R.	Serum Leucine-Rich α 2 Glycoprotein: A Novel Biomarker for Transmural Inflammation in Crohn's Disease.	Am J Gastroenterol.	Epub ahead of print		2023
Takenaka K, Kawamoto A, Kitazume Y, Fujii T, Udagawa Y, Shimizu H, Hibiya S, Nagahori M, Ohtsuka K, Watanabe M, Okamoto R	Transmural remission characterized by high biologic concentrations demonstrates better prognosis in Crohn's disease.	J Crohns Colitis.	Epub ahead of print		2022
Takahashi J, Mizutani T, Sugihara HY, Nagata S, Kato S, Hiraguri Y, Takeoka S, Tsuchiya M, Kuno R, Kakinuma S, Watanabe M, Okamoto R	Suspension culture in a rotating bioreactor for efficient generation of human intestinal organoids.	Cell Rep Methods.	2(11)	100337	2022

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kobayashi S, Ogasawara N, Watanabe S, Yoneyama Y, Kirino S, Hiraguri Y, Inoue M, Nagata S, Okamoto-Uchida Y, Kofuji S, Shimizu H, Ito G, Mizutani T, Yamauchi S, Kinugasa Y, Kano Y, Nemoto Y, Watanabe M, Tsuchiya K, Nishina H, <u>Okamoto R</u> , Yui S.	Collagen type I-mediated mechanotransduction controls epithelial cell fate conversion during intestinal inflammation.	Inflamm Regen.	42(1)	49	2022
Hibiya S, Ohtsuka K, Takenaka K, Kawamoto A, Matsuyama Y, Udagawa Y, Motobayashi M, Shimizu H, Fujii T, Saito E, Nagahori M, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M.	Mucosal healing of small intestinal stricture is associated with improved prognosis post-dilation in Crohn's disease.	BMC Gastroenterol.	22(1)	218	2022
Nagaishi T, Watabe T, Kotake K, Kumazawa T, Aida T, Tanaka K, Ono R, Ishino F, Usami T, Miura T, Hirakata S, Kawasaki H, Tsugawa N, Yamada D, Hirayama K, Yoshikawa S, Karasuyama H, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M, Blumberg RS, Adachi T.	Immunoglobulin A-specific deficiency induces spontaneous inflammation specifically in the ileum.	Gut	71(3)	487-496	2022
Takenaka K, Kawamoto A, Hibiya S, Suzuki K, Fujii T, Motobayashi M, Shimizu H, Nagahori M, Saito E, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M, Ohtsuka K.	Higher concentrations of cytokine blockers are needed to obtain small bowel mucosal healing during maintenance therapy in Crohn's disease.	Aliment Pharmacol Ther.	54(8)	1052-1060	2021
Minamidate A, Onizawa M, Saito C, Hikichi R, Mochimaru T, Murakami M, Sakuma C, Asakawa T, Hiraoka Y, Oshima S, Nagaishi T, Tsuchiya K, Ohira H, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M.	A potent endocytosis inhibitor Ikarugamycin up-regulates TNF production.	Biochem Biophys Rep	8;27	101065	2021
Watanabe S, Hibiya S, Katsukura N, Kitagawa S, Sato A, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M, Tsuchiya K.	Importance of telomere shortening in the pathogenesis of ulcerative colitis: A new treatment from the aspect of telomeres in intestinal epithelial cells.	J Crohns Colitis.	16(1)	109-121	2021
Asakawa T, Onizawa M, Saito C, Hikichi R, Yamada D, Minamidate A, Mochimaru T, Asahara SI, Kido Y, Oshima S, Nagaishi T, Tsuchiya K, Ohira H, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M.	Oral administration of D-serine prevents the onset and progression of colitis in mice.	J Gastroenterol.	56(8)	732-745	2021
Watanabe S, Hibiya S, Katsukura N, Kitagawa S, Sato A, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M, Tsuchiya K.	Influence of chronic inflammation on the malignant phenotypes and the plasticity of colorectal cancer cells.	Biochem Biophys Rep.	26	101031	2021
Tsugawa N, Yamada D, Watabe T, Onizawa M, Wang S, Nemoto Y, Oshima S, Tsubata T, Adachi T, Kawano Y, Watanabe M, Blumberg RS, <u>Okamoto R</u> , Nagaishi T.	Corrigendum to "CEACAM1 specifically suppresses B cell receptor signaling-mediated activation"	Biochem Biophys Res Commun	565	97	2021
Kaneshiro M, Takenaka K, Suzuki K, Fujii T, Hibiya S, Kawamoto A, Motobayashi M, Shimizu H, Nagahori M, Saito E, <u>Okamoto R</u> , Ohtsuka K, Watanabe M.	Pancolonic endoscopic and histologic evaluation for relapse prediction in patients with ulcerative colitis in clinical remission.	Aliment Pharmacol Ther.	53(8)	900-907	2021
Takenaka K, Ohtsuka K, Fujii T, Oshima S, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M.	Deep Neural Network Accurately Predicts Prognosis of Ulcerative Colitis Using Endoscopic Images.	Gastroenterology.	160(6)	2175-2177	2021
Hibiya S, Matsuyama Y, Fujii T, Maeyashiki C, Saito E, Ito K, Shimizu H, Kawamoto A, Motobayashi M, Takenaka K, Nagahori M, Kurosaki M, Yauchi T, Ohtsuka K, Fujiwara T, <u>Okamoto R</u> , Watanabe M.	5-aminosalicylate-intolerant patients are at increased risk of colectomy for ulcerative colitis.	Aliment Pharmacol Ther.	53(1)	103-113	2021

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Suzuki K, <u>Okamoto R.</u>	Fluidigm Based Single-cell Gene Expression Library Preparation from Patient-derived Small Intestinal Organoids.	Bio Protoc.	10(19)	e3775	2020
Sato T, Ishikawa S, Asano J, Yamamoto H, Fujii M, Sato T, Yamamoto K, Kitagaki K, Akashi T, <u>Okamoto R.</u> , Ohteki T.	Regulated IFN signalling preserves the stemness of intestinal stem cells by restricting differentiation into secretory-cell lineages.	Nat Cell Biol.	22(8)	919-926	2020
Anzai S, Kawamoto A, Nagata S, Takahashi J, Kawai M, Kuno R, Kobayashi S, Watanabe S, Suzuki K, Shimizu H, Hiraguri Y, Takeoka S, Sugihara HY, Yui S, Oshima S, Watanabe M, <u>Okamoto R.</u>	TGF- β promotes fetal gene expression and cell migration velocity in a wound repair model of untransformed intestinal epithelial cells.	Biochem Biophys Res Commun.	524(3)	533-541	2020
<u>Okamoto R.</u> , Shimizu H, Suzuki K, Kawamoto A, Takahashi J, Kawai M, Nagata S, Hiraguri Y, Takeoka S, Sugihara HY, Yui S, Watanabe M.	Organoid-based regenerative medicine for inflammatory bowel disease.	Regen Ther.	13	1-6	2020